

資料目次

総則編

- 第1図 排出油等防除計画の対象海域及び名称
- 第2図 オイルフェンス展張形態とその展張要領
- 第3図 外洋域におけるオイルフェンス展張例

(参考)

- 参考1 油等汚染事故への準備及び対応のための国家的な緊急時計画
(平成18年12月8日閣議決定)
- 参考2 油等汚染事故に関する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要領
(平成7年5月8日関係省庁申し合せ)

海域編

- 資料1 油等保管施設一覧
- 資料2 油等保管施設位置図
- 資料3 係留施設一覧
- 資料4 係留施設位置図
- 資料5 狭水道通航船舶の状況
- 資料6 特定港入港船舶状況表
- 資料7 要救助海難発生状況表
- 資料8 要救助海難発生状況図(部署別)
- 資料9 油等による海洋汚染発生状況表
- 資料10 油等による海洋汚染発生状況図(部署別)
- 資料11 過去の排出油事故の概要
- 資料12 気候表
- 資料13 潮流図
- 資料14 漁具定置箇所位置図
- 資料15 海域周辺環境図
- 資料16 風・海潮流による排出油の移動距離表
- 資料17 海洋汚染想定図
- 資料18 有害液体物質の挙動による分類
- 資料19 有害液体物質の分類、品目別取扱量
- 資料20 流出後の物質の分散経路
- 資料21 排出油等防除資材等保有状況
- 資料22 連絡系統図及び連絡先

資料 2 3 防災相互通信無線局保有状況

資料 2 4 海上災害防止センターの契約防除措置実施者一覧

資料 2 5 排出油等の防除に関する協議会一覧

(参考)

参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況

参考 2 海上保安庁以外の主な排出油等防除資材保有状況

参考 3 大型油回収船一覧

第 1 図 排出油等防除計画の対象海域及び名称

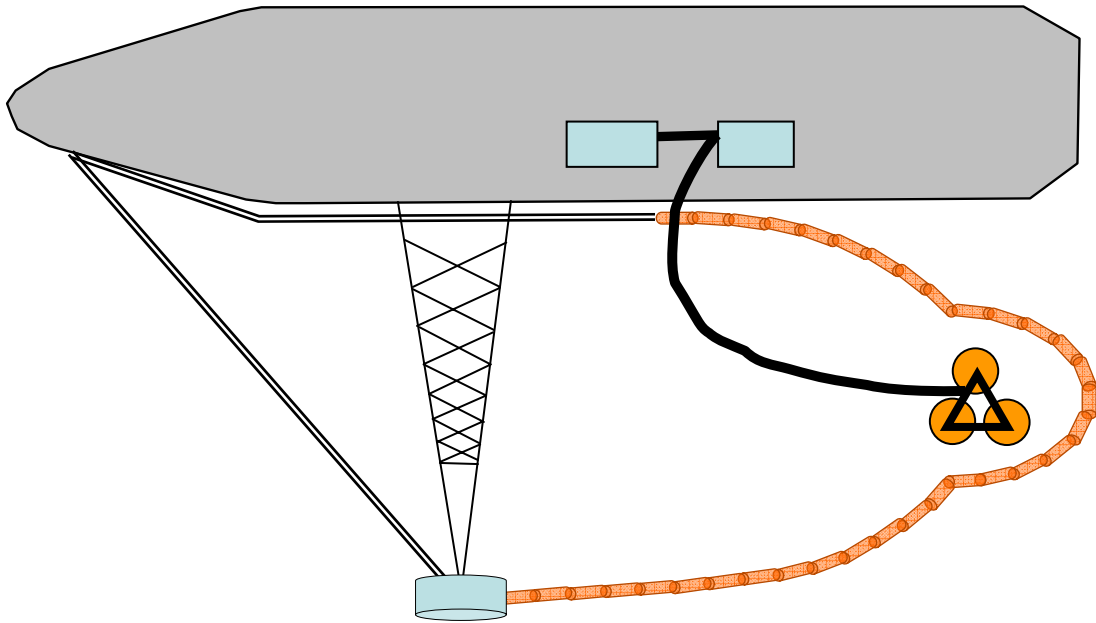


第2図 オイルフェンスの展張形態とその展張要領

区分	展張図	展張概要
A法 (包围)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 最も一般的な展張方法で、風潮流がいずれかの方向から来ても対応できるように排出源を包围する方法。 流出初期又は単時間当たりの流出量が多くなく、風や潮流の影響が少ない場合に用いる。 (2) 風及び潮流によりオイルフェンスから漏洩することがあるので、状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 必要に応じ作業艇、油回収艇等の出入りのため出入口を設ける。 (4) 陸上からの流出の場合は陸岸をオイルフェンスの一部として流出油を包围する。 (5) 流出量の少ない場合は流出源の船舶をオイルフェンスの一部として流出油を包围することも考えられる。
B法 (待受け)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 風潮流等が一定で、油の流行が安定している場合や、流出量が多く包围するためのオイルフェンスが不足する場合、あるいは風潮流の影響が大きく包围が困難な場合等に用いる。 (2) 流出源からある程度離れた位置で待受け捕捉する。 (3) 状況に応じ二重三重に展張する。 (4) 潮流の強い狭水道等で転流時が近い場合は、転流後を考え状況に応じ反対側にも展張する。
C法 (閉鎖)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 港内の狭い水路、運河等での流出油事故の場合に用い、水路等をオイルフェンスで閉鎖して油の拡散を防止する。 (2) 水の流れが強くオイルフェンスで閉鎖することが困難な場合、あるいは、船舶交通上、水路を閉鎖して展張することが困難な場合は、中央を空けて展張する。 (3) 潮汐の上下により、オイルフェンスと陸岸の接続箇所隙間が出来て油が漏洩するおそれがあるので注意を要する。 (4) オイルフェンスをくり抜けて漏洩する油を捕捉するため必要に応じ二重三重に展張する。
D法 (誘導)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 流出量が多く、かつ、風、潮流の影響が大きいため、流出油を現場で包围できないとき、海岸の保全、水産資源保護のため保護水面の前面にオイルフェンスを展張し、影響の少ない海面に誘導する場合、あるいは、地勢等により現場付近で回収作業が困難なとき、作業可能な海面まで誘導する場合等に用いる。 (2) 状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 風、潮流が強く錨によるオイルフェンスの係止が困難な場合はE法を併用する。
E法 (移動)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 水深が深く又は風潮流が強い等の理由で錨を使用出来ない場合、風又は潮流が強くて錨で係止できない場合、あるいは海面に広がっている浮流油を集油したり回収しやすい場所まで移動させる場合等に用いる。 (2) オイルフェンスの両端を2隻の作業船艇にて油が潜り抜けられない程度で曳航し、浮流する油を大まわしに囲む。 (3) 包围後、作業艇の代わりにシーアンカーやチェーン等の抵抗物を付けることも有効である。 (4) オイルフェンスを曳航する場合、水圧により過度の張力がかかり破損するおそれがあるので慎重に作業する必要がある。

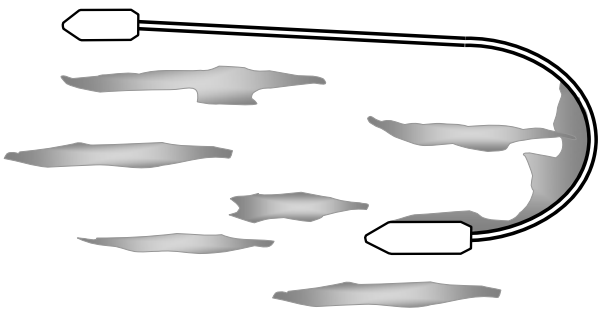
第3図 外洋におけるオイルフェンス展開例

a

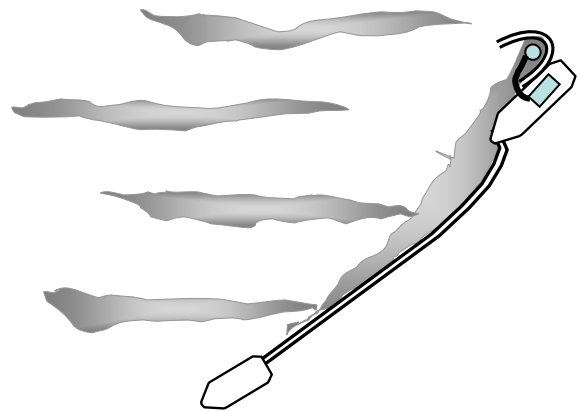


1船による油回収システムの例

a



b



2船による油回収システムの例

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画について

〔 平成 1 8 年 1 2 月 8 日
閣 議 決 定 〕

1 9 9 0 年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約（平成 7 年条約第 2 0 号）第 6 条及び 2 0 0 0 年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書第 4 条の規定に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画を別紙のとおり定める。

これに伴い、油汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画（平成 9 年 1 2 月 1 9 日閣議決定）は、廃止する。

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画

第1章 序説

第1節 計画の目的

四面を海に囲まれた我が国は、海洋を取り巻く多様な自然環境に恵まれるとともに、そこに存在する豊かな漁場等から多くの恩恵を受けるなど、海洋環境との密接な関係の中で国民生活が営まれている。このようなことから、我が国周辺海域において、万一、油、有害液体物質、危険物その他の物質（以下「油等」という。）による汚染事件（放射性物質による汚染事件については、原子力災害対策特別措置法等により国家的な体制が確立されていることから、本計画の対象としない。以下「油等汚染事件」という。）が発生した際には、その初期の段階から迅速かつ効果的な措置を講ずることが、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から必要不可欠である。また、我が国が世界有数の海運国でありエネルギー輸入国であることを考慮すると、我が国がこのような準備及び対応の体制を整備しておくことは極めて重要である。この場合、国、地方公共団体を始め、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界、漁業関係者その他の官民の関係者が一体となって取り組むことが重要である。

このような考え方を踏まえ、この計画は、「1990年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約」第6条(1)(b)及び「2000年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書」第4条(1)(b)に規定する「準備及び対応のための国家的な緊急時計画」として、油等による汚染に係る準備及び対応に関する我が国の体制を体系的に取りまとめたものであって、国際約束の的確な実施を確保するとともに、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護のため

油等汚染事件に我が国が迅速かつ効果的に対応することを目的として策定するものである。

第2節 他の計画との関係

この計画は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号。以下「災対法」という。）に基づく防災基本計画、防災業務計画及び地域防災計画、環境基本法（平成5年法律第91号）に基づく環境基本計画、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（昭和45年法律第136号。以下「海防法」という。）に基づく排出油等防除計画、石油コンビナート等災害防止法（昭和50年法律第84号。以下「石災法」という。）に基づく石油コンビナート等防災計画並びに緊急事態に対する政府の初動対処体制について（平成15年11月21日閣議決定）と調和を保ったものであり、これらと相まって油等汚染事件に迅速かつ的確に対応できるよう策定するものである。

第2章 油等汚染事件に対する準備に関する基本的事項

第1節 油等汚染事件に関する情報の総合的な整備

油等汚染事件への対応を総合的かつ効果的に実施するため、関係行政機関は、内外の関係情報を収集・整理し、適宜最新のものとして維持するとともに、関係行政機関で構成する「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議（以下「関係省庁連絡会議」という。）」等の場を通じて相互に交換する。

海上保安庁は、それぞれの関係行政機関が把握している国内の各種分野の専門家及び排出された油等（以下「排出油等」という。）の防除資機材に関する情報を、関係行政機関等の協力を得て一元化するとともに、油等汚染事件への準備及び対応に関する活動に活用しようとする関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制の確立に努める。

また、関係行政機関は、油等汚染事件による環境への影響を迅速に把握

・評価し、また、油等汚染事件に対応する措置を的確に講じ、被害の発生を最小限とするために参考とすべき、各海域ごとの自然的・社会的・経済的諸情報（水質、底質、漁場、養殖場、工業用水等の取水口、海水浴場、さんご礁、藻場、干潟、鳥類の渡来・繁殖地、史跡等に関する情報）を収集・整理し、適宜最新のものとして維持する。さらに、収集・整理した情報は、それぞれの行政に反映できるよう共有するとともに、情報図として整備する等その内容を充実し、関係行政機関、地方公共団体等において有効に活用できる体制の確立に努める。

さらに、地方公共団体が地域の実情に応じて行う油等汚染事件への準備及び対応に関する活動の促進を図るため、関係行政機関は、地方公共団体の要請に応じて適切に関係情報を提供するよう努める。

第2節 対応体制の整備

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の整備を図る。この場合、関係行政機関は、関係省庁連絡会議の場等を通じ、油等汚染事件に対する協力体制について必要な調整を行う。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、海防法に基づき排出油等防除計画を作成するとともに、海上における特殊な災害に対応する特殊救難隊及び機動防除隊の育成強化を図り、船艇・航空機による24時間の出動体制を確保する。また、独立行政法人海上災害防止センター（以下「海上災害防止センター」という。）における防除措置の実施に関する対応能力の一層の確保に努める。

また、海防法に基づき、管区海上保安本部長、タンカーの船舶所有者等は、官民合同の組織として排出油等の防除に関する訓練の実施、重要事項の協議等を行う排出油等の防除に関する協議会を、関係地方行政機関、地方公共団体等と連携し、必要に応じて組織し、対象海域の広域化、それぞれの機関の防除の実施に関する役割分担の明確化等に努める。

水産庁及び環境省等は、油等汚染事件発生時における環境影響調査、野生生物の保護、漁場等の保全等の対応措置が迅速かつ的確に行われるよう、各行政分野における体制の整備に努めるとともに、地方公共団体、関係団体等との連携協力体制の一層の確保に努める。

第3節 通報・連絡体制の整備

船舶の船長、施設（陸地にあるものを含む。）の管理者等は、当該船舶又は施設から海洋への大量の油等の排出があった場合及び排出のおそれのある場合には、海防法に基づき、電話、電信その他のなるべく早く到達するような手段により、直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

また、石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩その他の異常な現象が発生した場合には、石炭法に基づき直ちに消防署等に通報する。

さらに、鉱業権者は、自らが管理する鉱山施設等において大量の油等の海洋への排出があった場合及びそのおそれがある場合には、鉱山保安法（昭和24年法律第70号）に基づき直ちに産業保安監督部等に通報する。

海面に大量の油等が広がっていることを発見した者その他海上における異常な現象を発見した者においても同様に直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

海上保安部署等、消防署、警察署等においては、24時間の情報収集体制を確保する。

関係行政機関、地方公共団体等は、内部の若しくは相互の連絡体制が確保されるよう、又は関係団体等との連携協力の下に必要な対策が適切に実施されるよう、それぞれの機関内部及び機関相互間における夜間、休日の場合等を含めた連絡体制の整備を図るとともに、防災行政無線の活用等により通信手段の確保を図るよう努める。

第4節 関係資機材等の整備

船舶所有者等は、海防法に基づき、排出油等の防除措置を実施するため必要な資機材等を備え付けるとともに、当該資機材等を適切に使用することができるよう、その備付け場所、管理、設備等に関し、必要な措置を講じておくものとする。また、海上災害防止センターは、同法に基づき、海上保安庁長官の指示若しくは船舶所有者等の委託により防除措置を実施するため、又は船舶所有者等の利用に供するために必要な資機材等を保有する。

また、鉱業権者は、鉱山保安法に基づき、排出油等の防除措置を実施するために必要な資機材を備える。

石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩に備え、石災法に基づく資機材を備え付ける。

港湾管理者は、港湾法（昭和25年法律第218号）に基づき、港湾区域内に流出した油等の防除に必要な資機材を備える。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、船艇、航空機、情報通信施設、排出油等の防除資機材等の整備を推進する。

経済産業省は、関係者の利用に供するため、石油事業者団体等が行う排出油等の防除資機材の整備事業及び当該事業の普及・啓蒙を推進する。

水産庁は、油等汚染事件による漁場等の汚染の防止又は軽減を図るための資機材の整備を推進する。

環境省は、野生生物の保護を行うに当たって必要な資機材が適切に整備されるよう措置する。

関係行政機関は、各行政分野において、油等汚染事件への対応のため必要な資機材の整備に努める。

地方公共団体は、必要に応じ、油等汚染事件への対応のため必要な排出油等の防除資機材等の整備に努める。

また、必要な排出油等の防除資機材が、現場に迅速に配置され、活用できるよう日頃から官民の連携の確保に努める。

第5節 訓練等

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、事件の形態・規模、気象・海象、油等の性状等様々な条件設定の下でのシミュレーション訓練手法を導入するなど工夫した関係機関相互の有機的連携に重点を置いた総合的かつ実践的な訓練を、排出油等の防除に関する協議会等を活用して行う。訓練後には、その評価を行い、課題等を明らかにし、必要に応じ、それぞれの機関の対応体制等の改善を行う。

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、海上災害防止センターの海上防災のための措置に関する訓練事業を活用するなどして、人材の育成に努める。

環境省は、野生生物の保護等を実施する上で必要な知識及び技術の修得に関する地方公共団体、関係団体等に対する研修等を行う。

また、海上災害防止センターは、海防法に基づき、よりの確な防除技術を普及するため、海上防災のための措置に関する訓練事業を行うとともに、自らの防災措置に関する技術の向上に努める。

これらの訓練等の実施に当たっては、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から適切に実施されるよう配慮するものとする。

関係行政機関は、関係者に対し講習会、訪船指導等を通じ、油等汚染事件発生の防止及び当該事件発生の際の対応に関する指導を行い、これを通じて海洋環境の保全に係る思想及び技術の普及・啓蒙を図る。

民間事業者は、油等汚染事件発生の際に迅速かつ的確に対応できるよう、積極的に訓練等を行うとともに、人材の育成に努める。

第6節 近隣諸国等との協力体制

外務省は、国土交通省及び海上保安庁と協力しつつ、近隣諸国等との油等汚染事件発生時の連絡体制の強化や要請に応じた資機材の提供等、海洋汚染に関する協力体制の一層の強化に努める。

第3章 油等汚染事件に対する対応に関する基本的事項

第1節 保護対象についての基本的な考え方

油等汚染事件に対しては、海洋環境の保全の観点並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点の両面に配慮して適切な対応方策を講ずるものとする。この場合、第2章第1節の各海域ごとの情報等も踏まえて、被害の発生が最小限となるように措置を講ずるものとする。

第2節 対応体制の確立

油等汚染事件が発生した場合、関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の確立に努める。

海上保安庁長官、管区海上保安本部長又は都道府県知事は、自衛隊の派遣要請の必要性を油等汚染事件の規模及び収集した被害情報から判断し、必要な場合には、自衛隊法（昭和29年法律第165号）の災害派遣の規定に基づき、直ちに要請するものとする。また、事態の推移に応じ、要請しないと決定した場合は、直ちにその旨を連絡するものとする。

自衛隊は、当該要請を受けたときは、要請の内容及び自ら収集した情報に基づいて部隊等の派遣の必要の有無を判断し、部隊等を派遣する等適切な措置を行う。

関係行政機関は、大規模な油等汚染事件が発生した場合には、事件及び被害の第一次情報についての確認及び共有化、応急対策の調整等を行うため、必要に応じて、関係省庁連絡会議を開催する。

内閣危機管理監は、大規模な油等汚染事件が発生した場合又はそのおそれがある場合であって、情報の集約、内閣総理大臣等への報告、関係省庁との連絡調整を集中的に行う必要がある場合は、事態に応じ、緊急参集チームを官邸危機管理センターに緊急参集させ、政府としての初動措置に関

する情報の集約等を行うとともに、官邸危機管理センターに官邸対策室を設置する。

国は、油等汚染事件が発生した場合において、収集された情報により、事件の規模、被害の広域性等から、応急対策の調整等を強力に推進するために特に必要があるときは、内閣総理大臣に報告の上、海上保安庁長官を本部長とする警戒本部を設置する。この場合、警戒本部及びその事務局の設置場所は、原則海上保安庁内とする。また、警戒本部が設置された場合は、現地の状況を把握し、応急対策の迅速かつ的確な実施に資するため、現地に管区海上保安本部長を本部長とする連絡調整本部を設置する。この場合、連絡調整本部及びその事務局の設置場所は、原則管区海上保安本部内とする。

国は、収集された情報により大規模な被害が発生していると認められたときは、直ちに原則国土交通大臣（石災法に基づく石油コンビナート等特別防災区域（以下「石油コンビナート等特別防災区域」という。）からの油等汚染事件については総務大臣）を本部長とする災対法に基づく非常災害対策本部を設置する。非常災害対策本部の設置方針が決定されたときは、内閣府は、速やかに所要の手続きを行い、非常災害対策本部の設置等を行う。この場合、非常災害対策本部及びその事務局の設置場所は、原則国土交通省内（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については消防庁内）とする。また、非常災害対策本部は、関係地方行政機関、関係地方公共団体等のそれぞれの機関が実施する応急対策の総合調整に関する事務のうち、現地において機動的かつ迅速に処理する必要があるときは、原則国土交通副大臣（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については総務副大臣）を本部長とする非常災害現地対策本部を設置する。

なお、警戒本部又は非常災害対策本部（以下「非常災害対策本部等」という。）は、官邸対策室と緊密に連携を図るものとする。

関係行政機関又は非常災害対策本部は、現地の状況を把握し、迅速かつ

的確な対策の実施等に資するよう、必要に応じ、調査団を現地に派遣する。

地方公共団体は、必要に応じ、災対法に基づく災害対策本部等を、又は石災法に基づく石油コンビナート等防災本部の現地防災本部を設置する。

関係行政機関、地方公共団体等は、これら本部が設置された場合には、職員を派遣するなどして、これら本部との間における情報の交換を促進し、油等汚染事件への的確な対応体制を確保する。

国と地方公共団体等との情報の交換には、連絡調整本部又は非常災害現地対策本部を活用する。

第3節 油等汚染事件に関する情報の連絡

油等汚染事件の発生又は発生するおそれについて連絡を受けた海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、あらかじめ定められた連絡網に従い、官邸、他の関係行政機関、地方公共団体等に、入手した情報、対応に必要な情報を提供する。

関係行政機関、地方公共団体等は、被害情報、対策実施情報等を、官邸対策室又は非常災害対策本部等（設置された場合に限る。以下同じ。）に連絡（地方公共団体等は、関係行政機関又は連絡調整本部若しくは非常災害現地対策本部を介して連絡）し、当該連絡を受けた官邸対策室又は非常災害対策本部等は、必要に応じ、内閣総理大臣に報告するとともに、関係機関に連絡する。

関係行政機関、地方公共団体等は、当該油等汚染事件に対し迅速かつ適切に対応する観点から、事件の収束に至るまで、必要に応じ、相互に緊密な情報の交換を行う。

第4節 油等汚染事件の評価

海上保安庁は、油等汚染事件発生 の情報を入手したときは、更に詳細な情報を得るよう努め、船艇、航空機を油等汚染事件発生場所に急行させるほか、必要に応じ、派遣された自衛隊機等の協力を得て、当該事件の調

査を行う。事件の調査結果に基づき、その規模及び態様を分析し、第2章第1節の情報を踏まえ、気象・海象の状況、船舶交通の状況等を考慮して、当該事件の影響を評価し、対策の実施に資するよう、これを官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

また、水産庁及び環境省は、海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等からの情報に基づき、当該油等汚染事件が野生生物及び漁業資源に及ぼす影響の評価を行い、これを、野生生物の保護、漁場等の保全等の対策の決定に反映させるとともに、その他の対策の実施に資するよう、速やかに官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

第5節 油等防除対策の実施

- 1 油等汚染事件が発生した場合、海防法に基づき応急措置を講ずべき船長等及び防除措置を講ずべき船舶所有者等の関係者による措置が実施されることになるが、海上保安庁はこれらの措置義務者の措置の実施状況等を総合的に把握し、措置義務者に対する指導、援助・協力者に対する指導を行う。防除措置義務者が措置を講じていないと認められる場合は、海上保安庁はこれらの者に対し、防除措置を命ずる。

緊急に防除措置を講ずる必要がある場合、海上保安庁は、自ら防除措置を実施し、又は海上災害防止センターに対して防除措置を講ずべきことを指示する。

- 2 油等汚染事件が発生した場合の排出油等の防除には、例えば、次のような措置があるが、排出油等の種類及び性状、排出油等の拡散状況、気象・海象の状況その他の種々の条件によってその手法が異なるので、防除作業を行うに当たっては、まず、排出油等の拡散、性状の変化及び化学変化の状況について確実な把握に努め、第4節の評価の結果を踏まえて、状況に応じた適切な防除方針を速やかに決定するとともに、関係行政機関、地方公共団体等が協力して、初動段階において有効な防除勢力の先制集中を図り、もって迅速かつ効果的に排出油等の拡散の防止、回

収、処理等を実施する。この場合において、海上保安庁その他の関係行政機関等は、他の関係行政機関、地方公共団体等に対し、防除措置の実施に必要な資機材の確保・運搬及び防除措置の実施について協力要請できるものとし、当該要請を受けた関係行政機関、地方公共団体等は、当該協力の必要の有無等を判断し、必要な協力を行う。

自衛隊は、防除措置の実施に必要な資機材の輸送について、関係行政機関又は地方公共団体から依頼があった場合、輸送の必要の有無等を判断し、航空機、艦船等の輸送手段を使用して必要な支援を行う。

(1) 排出防止措置

引き続き油等の排出を防止するためにガス抜きパイプの閉鎖、船体の傾斜調整等による措置を行うほか、破損タンク内の油等を他船又は他の施設へ移送するいわゆる瀬取りを行う。

(2) 拡散防止措置

排出油等は、風や潮流の影響を受けて、通常急速に拡散し、海洋汚染の範囲が拡大するものもあるため、油等汚染事件が発生した場合には、必要に応じ、直ちに排出源付近の海域にオイルフェンスを展開して排出油等を包囲し、拡散を局限する。

また、揮発性を有する油等の防除に当たっては、排出油等の性状等に応じ、周囲の状況等を勘案して薬剤等の使用により蒸発ガスの発生を抑制する措置を講ずるものとする。

(3) 回収措置

排出油等の回収方法としては、回収船、回収装置等を使用して回収する機械的回収、吸着材、ゲル化剤等の資機材を使用して回収する物理的回収、その他ひしゃく、バケツ等を使用して回収する応急的・補助的な回収があり、状況に応じてこれらの回収方法のうち最も効果的な方法を用いるものとする。

(4) 分散処理等

放水装置による放水若しくは船舶の航走により油等を攪拌し、又

は処理剤等を使用して油等の分散を促し、大気若しくは海中へ分散させ、生物・自然分解を促進させる処理がある。これは、回収措置の実施、気象・海象、周囲の自然環境、漁場又は養殖場の分布等の状況を勘案して、(3)に掲げる回収方法のみによることが困難な場合において実施するものとする。

3 防除措置を実施するに当たっては、第2章第1節の情報図などを参考にし、それぞれの手法の特質と海洋環境への影響を総合的に考慮して実施すること、できる限り海上での回収に努めること、また、海岸等に漂着させざるを得ない場合においてもその後の回収作業や、影響を受けた環境の修復が比較的容易と想定される場所に誘導すること等に注意を払う必要がある。

4 排出油等が海岸等に漂着した場合、船舶所有者等の関係者により漂着した排出油等の除去のための措置が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該除去のための措置の実施状況等を把握するとともに、迅速かつ効果的な防除作業が実施されるよう、関係機関の出動可能勢力、当該防除作業への支援体制等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うよう努める。

関係行政機関、地方公共団体並びに港湾、漁港、河川及び海岸の管理者等は、必要に応じ、協力して、漂着した排出油等の除去のための措置を実施する。この場合において、必要な措置を、地元住民、ボランティア等の協力を得て実施する機関等は、第7節の健康安全管理のための体制整備のほか、円滑な防除作業が実施されるよう必要な支援体制の整備に努める。

5 回収した油等(油等によって汚染されたものを含む。以下同じ。)は、船舶所有者等の関係者による処理が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該回収した油等の量、処理作業の状況等を把握するとともに、適正かつ円滑な処理が実施されるよう、関係業界団体等の協力を得て、回収した油等の貯留・搬送に従事可能な貨物船・タ

ンカー等、回収した油等の処理施設・当該受入可能量等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うなど、必要な支援体制の整備に努める。

関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、回収した油等の処理を実施する。

6 油等のうち、引火性や毒性を有するものが排出された場合には、特に以下の点に留意し、防除措置等を実施するものとする。

(1) 火災・爆発、ガス中毒等の二次災害を防止するため、検知器具を用いて危険範囲の確認、火気の使用制限等の危険防止措置を講ずるものとする。

(2) 排出された物質の特性に応じた保護具を装着させる等防除作業に従事する者の安全確保に努めるものとする。

(3) 海上保安庁は、排出された物質の種類及び性状、影響を及ぼす範囲等に関する情報の把握に努め、入手した情報を関係行政機関、関係地方公共団体等に速やかに提供するものとする。

(4) 沿岸域において大規模な汚染事件が発生した場合には、関係行政機関、地方公共団体等は、付近住民の生命及び身体を保護するため、必要に応じ、災対法に定めるところに従い、住民の避難等所要の措置を講ずるものとする。

第6節 資機材等に関する情報の提供等

海上保安庁は、第2章第1節の分野別専門家及び排出油等の防除資機材に関する情報を、関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制を確保する。

経済産業省は、第2章第4節の石油事業者団体等が行う整備事業において、船舶所有者等の関係者等からの要請に応じて排出油等の防除資機材に関する情報の提供及び排出油等の防除資機材等の貸出しを行い得る体制を確保する。

総務省は、通信機器を、関係業界団体の協力を得る等により、必要に応じて又は関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて供給し得る体制を確保する。

第7節 防除作業実施者の健康安全管理

厚生労働省及び環境省は、防除作業が実施される場合には、油等の成分、漂着状況等を踏まえ、防除作業における健康又は安全上の配慮事項について検討し、防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等に対し適切に情報を提供する。

防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等は、防除作業を実施する者の健康及び安全上の配慮事項について関係者等及び作業現場への周知を図るなど、健康安全管理のための体制整備に努める。

第8節 野生生物の救護の実施

環境省は、油等汚染事件により野生生物に被害が発生した場合には、排出油等が付着した野生生物の洗浄、排出油等付着に伴う疾病の予防、回復までの飼育等野生生物の救護が、獣医師、関係団体等の協力を得て円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第9節 漁場保全対策等の実施

水産庁は、油等汚染事件により漁場等に汚染が生ずるおそれがある場合、又は生じた場合には、必要に応じて排出油等の回収等の保全、修復対策が円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第10節 海上交通安全の確保及び危険防止措置

油等汚染事件の発生により航路筋が閉そくされる等により現場周辺の海域において船舶交通が混雑し、新たな海難が発生する危険が生じ、あるいは、防除作業の円滑な実施の妨げとなる場合には、海上保安庁は、必要に

応じ、海防法等に基づき、船舶の退去、航行制限等の措置を講ずる。

第11節 広報等

船舶交通の安全の確保、付近住民の安全確保、防除作業の円滑な実施等を図るため、関係行政機関、地方公共団体等は、それぞれ必要に応じ、他の関係行政機関、地方公共団体等と連絡調整を図り、迅速かつ的確な広報を行うものとする。

油等汚染事件が発生した場合には、同様の事件の発生の防止及び一般的な油等汚染事件発生時の対応に関する知識の充実に資するため、関係行政機関、地方公共団体等は、当該事件の原因、汚染の状況、講じた対策等についての状況を記録する。

第12節 事後の監視等の実施

関係行政機関、地方公共団体等は、前節までに定める措置が終了した後においても、必要に応じ、相互の連携の下、環境影響調査、財産の被害の調査等を実施する。特に、油等汚染事件による沿岸域の生態系等環境への影響は、回復に長期間を要することがあることから、水質、底質、野生生物等への影響の調査を段階的・継続的に実施し、講じた措置の効果を検証する。また、関係行政機関、地方公共団体等は、この結果を踏まえ、必要に応じて補完的な対策を実施する。

第4章 関係行政機関等の相互の連携等

第1節 国家的な連携

関係行政機関は、所掌事務及び関係法令に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のため必要な施策の総合的な企画及び推進、関係法令の整備、調査研究の推進等を積極的に実施する。この場合において、関係行政機関は、関係省庁連絡会議等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努め

る。

また、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界その他の関係業界団体は、その能力を活用し、油等汚染事件への準備及び対応に関し、積極的に取り組むことが期待され、国は、これら関係者を積極的に支援するとともに、これら関係者との連携の確保に努める。さらに、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第2節 地域的な連携

関係地方行政機関等は、所掌事務及び関係法令に基づき、第1節の国家的な連携の下に推進される施策と密接な連携の下に、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を推進する。

また、地方公共団体等、民間事業者その他の関係者は、関係法令に基づく責務に応じ、又は自発的に、その能力を活用し、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を積極的に推進することが期待される。

この場合において、関係者は、排出油等の防除に関する協議会等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努める。また、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第5章 その他の事項

第1節 調査研究、技術開発の推進

関係行政機関は、油等汚染事件の防止並びに当該事件による排出油等の防除及び海洋環境への影響の防止に関する調査研究、技術開発を、必要に応じ、民間との連携を図りながら推進する。

第2節 計画の見直し

国は、この計画の見直しについて随時検討し、必要があると認めるときは、見直しを行うものとする。

油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要綱

平成 7 年 5 月 8 日

関係省庁申合せ

(最終改正 平成19年 4 月 1 日)

1. 「油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画」（平成18年12月 8 日閣議決定。以下「国家的緊急時計画」という。）及び災害対策基本法（昭和36年法律第233号）に基づく防災基本計画を踏まえ、関係省庁相互の密接な連携と協力の下に、油等汚染事件への準備及び対応を迅速かつ効果的に実施するため、「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議」（以下「連絡会議」という。）を設置する。
2. 連絡会議は、別記の職にある者をもって構成する。ただし、必要に応じて構成員以外の者を連絡会議に参加させることができる。
3. 連絡会議の事務局は、関係省庁の協力の下、海上保安庁が担当するものとする。ただし、石油コンビナート等特別防災区域から油等汚染事件が発生した場合は、消防庁が担当するものとする。
4. 連絡会議開催の発議については、構成員は事務局と緊密な連絡をとって行うものとする。
5. 前各号に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は、連絡会議において定める。
6. 連絡会議においては、油等汚染事件への準備及び対応に関し必要な連絡、調整等を行うものとする。特に、大規模な油等汚染事件発生時には、事件及び被害の第 1 次情報に対しての確認及び共有化、応急対策の調整等を行うものとする。
また、国家的緊急時計画の見直し作業についても行うものとする。

別 記

内閣官房 内閣参事官

内閣府 政策統括官付参事官（災害応急対策担当）

警察庁 生活安全局地域課長

総務省 大臣官房総務課長

消防庁 予防課特殊災害室長

法務省 入国管理局入国在留課長

外務省 国際協力局専門機関課長

文部科学省 大臣官房文教施設企画部施設企画課長

研究開発局海洋地球課長

厚生労働省 労働基準局安全衛生部計画課長

水産庁 増殖推進部漁場資源課長

経済産業省 産業技術環境局環境指導室長

製造産業局化学課長

資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課長

原子力安全・保安院鉱山保安課長

国土交通省 総合政策局環境・海洋課海洋室長

総合政策局技術安全課長

河川局砂防部保全課海岸室長

海事局総務課海事保安・事故保障対策室長

港湾局総務課危機管理室長

港湾局国際・環境課長

気象庁 総務部企画課長

海上保安庁 警備救難部環境防災課長

海洋情報部環境調査課長

海洋情報部海洋情報課長

環境省 地球環境局環境保全対策課長

防衛省 大臣官房文書課環境対策室長

運用企画局事態対処課長

資料1-1 油等保管施設一覧(500kl以上の油保管施設を有する事業所)

平成19年10月1日現在

区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kl)	油保管施設 総容量(kl)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	1	西部石油(株)山口製油所	小野田市西沖5	133	140,000	3,707,100	原油、A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	2	中国電力(株)新小野田発電所	小野田市新沖 2-1-1	2	12,000	24,000	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	3	西部特アス(株)	小野田市小野田港 7524-1	2	800	1,550	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	4	戸田工業(株)小野田事業所	小野田市新沖 1-1	0	495	993	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	5	日興石油(株)沖ノ山油槽所	宇部市大字小串字沖 の山1988-11	2	1,433	3,700	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	6	宇部興産(株)宇部ケミカル工場	宇部市大字小串 1978-11、1978-4	3	1,875	4,727	C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	7	宇部興産(株)宇部セメント工場	宇部市大字小串 1978-2	1	990	1,079	C重油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	8	協和発酵工業(株)宇部工場	宇部市大字藤曲2548	2	980	2,810	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	9	セントラル硝子(株)宇部工場	宇部市大字沖宇部 5253	4	2,000	4,850	C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	10	宇部アノモイ工業(有)	宇部市大字藤曲2575	1	1,850	1,964	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	11	UMG ABS(株)宇部工場	宇部市大字小串字沖 の山525-14	1	500	800	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		宇部・小野田	12	チタン工業(株)宇部工場	宇部市大字小串 1978-25	1	500	700	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		六連島	13	日新 tanker(株)六連島油槽所	下関市六連島郷之浦	5	7,844	17,345	A、C重油、軽油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	14	東西オイルターミナル(株)小倉油槽所	北九州市小倉北区末 広2-2-3	2	2,810	5,084	A重油、潤滑油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	15	ジャパノイルネットワーク(株)小倉油槽所	北九州市小倉北区西 港町97-1	3	2,330	4,890	A重油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	16	三井物産エネルギー・物流(株)小倉油槽所	北九州市小倉北区西 港町97-2	7	995	7,375	A、C重油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	17	東西オイルターミナル(株)北九州油槽所	北九州市小倉北区西 港町95-2	6	22,240	32,969	A、C重油、灯油、軽油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	18	兼松油槽(株)小倉油槽所	北九州市小倉北区末 広2-2-4	14	7,180	59,910	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	19	(株)住友金属小倉	北九州市小倉北区許 斐町1	4	4,500	14,636	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	20	北九州エル・エヌ・ジー(株)	北九州市戸畑区中原	2	1,400	2,819	C重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	21	新日本製鐵(株)八幡製鉄所 高炉工場	北九州市戸畑区中原	1	865	865	C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	22	三菱化学(株)黒崎事業所	北九州市八幡西区黒 崎城石	3	3,980	11,830	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		北九州	23	三菱マテリアル(株)九州工場黒崎地区	北九州市八幡西区洞 南町	1	2,410	2,520	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		豊前	24	九州電力(株)豊前発電所	福岡県豊前市大字八 屋2463-9	5	35,000	160,000	原油、A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		大分	25	九州石油(株)大分油槽所	大分市一の洲	106	100,000	1,347,109	原油、A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		大分	26	新日本製鐵(株)大分製鐵所	大分市西の洲	2	17,000	26,500	重油	

区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500kL以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kL)	油保管施設 総容量(kL)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域		大分	27	日本エラストマー(株)大分工場	大分市中の洲	0	300	600	重油	
石油コンビナート等特別防災区域		大分	28	昭和電工(株)大分コンビナート	大分市中の洲	5	4,690	11,205	重油類、軽油、ナフサ	
石油コンビナート等特別防災区域		大分	29	王子板紙(株)大分工場	大分市子中島	1	980	1,463	C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		大分	30	住友化学(株)大分工場	大分市鶴崎2200	1	890	1,870	C重油	
その他		北九州	31	出光興産(株)門司油槽所	北九州市門司区 新門司2-8-1	12	1,990	15,952	A重油、潤滑油	
その他		北九州	32	丸紅エネックス(株)門司ターミナル	北九州市門司区瀬戸 町1	1	5,090	5,090	重油	
その他		北九州	33	三菱マテリアル(株)九州工場	福岡県京都郡苅田町 松原町12	2	4,500	6,611	重油	
その他		北九州	34	麻生ラファージュメント(株)苅田工場	福岡県京都郡苅田町 長浜町10	2	1,565	3,130	C重油	
その他		北九州	35	宇部興産(株)建設資材カンパニー 生産・技術苅田セメント工場	福岡県京都郡苅田町 長浜町7	2	2,800	5,770	A、C重油	
その他		北九州	36	九州電力(株)苅田発電所	福岡県京都郡苅田町 長浜町1-1	1	30,000	30,000	C重油	
その他		北九州	37	東京製鐵(株)九州工場	北九州市若松区南二 島	1	970	1,225	重油	
その他		北九州	38	(株)トカイ	北九州市若松区安瀬	2	700	1,850	A重油、灯油	
その他		北九州	39	関門海運(株)戸畑油槽所	北九州市戸畑区川代	1	510	1,160	A、C重油	
その他		下関	40	林兼石油(株)下関支店彦島油槽所	下関市彦島海士郷町	1	850	1,170	A重油、灯油	
その他		下関	41	中国電力(株)下関発電所	下関市長府港町9-1	3	19,525	54,644	C重油、軽油	
その他		下関	42	下関三井化学(株)	下関市彦島迫町7-1- 1	1	980	1,380	C重油	
その他		下関	43	日本グリース(株)下関工場	下関市彦島弟子侍町 1-8-1	0	300	741	重油	
その他		大分	44	大分エル・エヌ・ジー(株)	大分市大字青島	1	950	969	A、C重油	
その他		大分	45	大分共同火力(株)大分共同発電所	大分市西ノ洲 (新日鐵構内)	1	17,000	17,520	C重油、軽油	
その他		大分	46	エチレキ(株)大分営業所	大分市豊海2-1-1	0	495	1,695	重油	
その他		大分	47	日鉱製錬(株)佐賀製錬所	大分県北海部郡 佐賀関町	3	1,500	3,000	重油	
その他		大分	48	太平洋セメント(株)津久見工場	大分県津久見市	6	3,900	16,600	A、C重油	
その他		大分	49	松井アルファス(株)鯛網代油槽所	大分県津久見市 津久見浦	1	500	640	重油	
その他		大分	50	大分県漁業協同組合保戸島支店	大分県津久見市 保戸島	5	960	3,880	重油	
その他		佐伯	51	興人(株)佐伯工場	佐伯市東浜1-6	3	850	2,550	重油	
その他		佐伯	52	太平洋セメント(株)大分工場(佐伯)	佐伯市戸穴337-1	1	2,000	2,000	重油	
その他		佐伯	53	(株)山作	佐伯市葛港17-3	1	500	1,700	A重油、軽油、灯油、ガソリン	

区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kl)	油保管施設 総容量(kl)	取扱油種	備考
その他		佐伯	54	興国物産運送株式会社	佐伯市東浜1-6	1	600	1,040	重油	

資料1-2 油等保管施設一覧(500kl以上の有害液体物質保管施設を有する事業所)

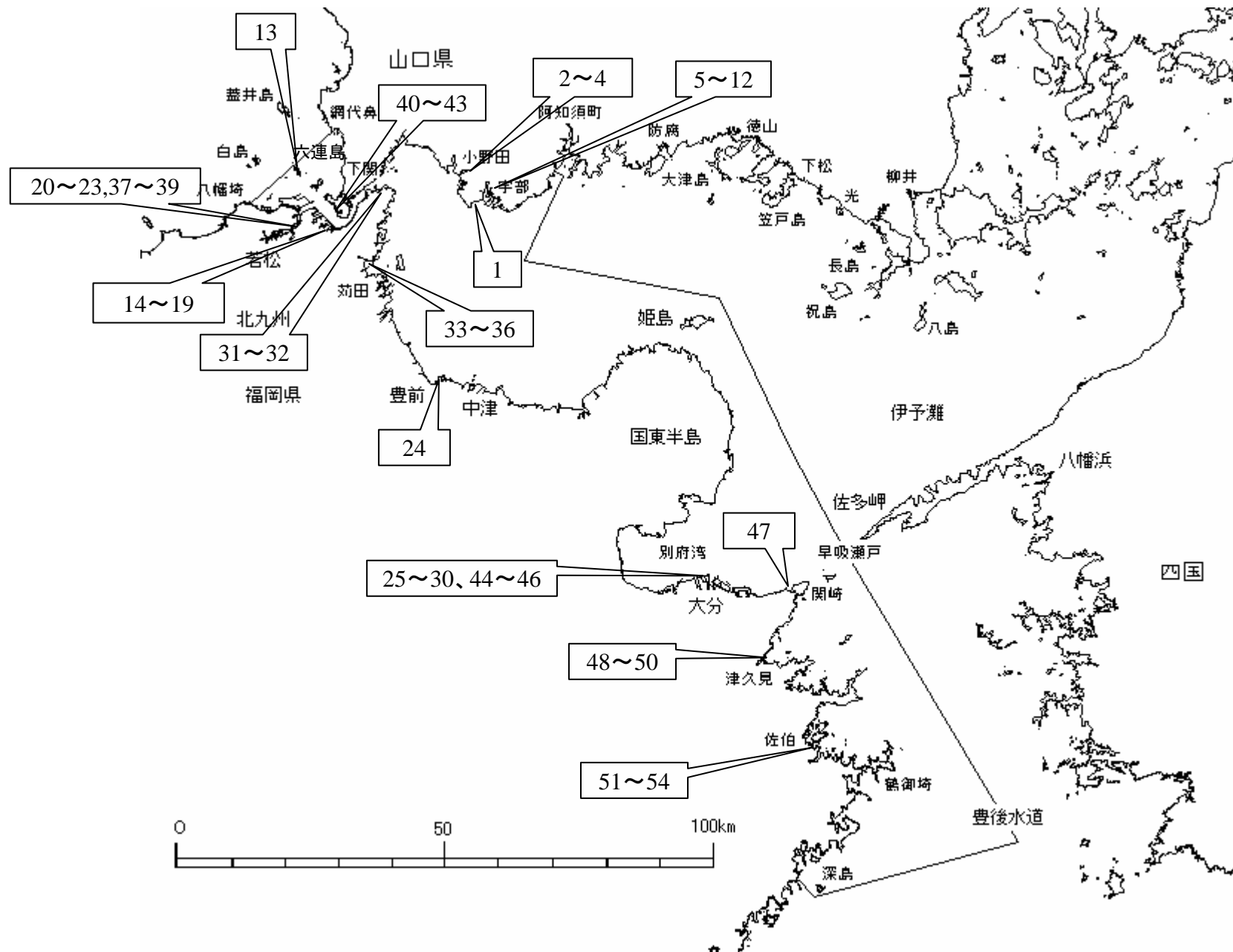
平成19年10月1日現在

区分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の油保管施設基数	最大油保管施設容量(kl)	油保管施設総容量(kl)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	1	チタン工業株式会社	宇部市大字小串1978-25	0	290	900	水酸化ナトリウム溶液(Y)、硫酸(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	2	宇部興産株式会社 西沖工場	宇部市大字西沖ノ山	4	4950	19,700	ベンゼン(Y)、スチレンモノマー(Y)、トルエン(Y)	トルエン(Y)は太陽石油㈱から配管による。
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	3	ユーエムジー・エービーエス株式会社	宇部市大字沖宇部525-14	4	2,320	6,202	アクリロニトリル,スチレン,アルファメチルスチレン	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	4	宇部マテリアルズ(株)宇部工場第一工場	宇部市大字小串1985	48	29,328	207,047	水酸化マグネシウム	シクナー内の液体(海水又は工水)を含む。
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	5	太陽石油株式会社山口営業所	宇部市大字沖の山	1	571	571	トルエン	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	6	宇部ケミラ株式会社宇部工場	宇部市大字藤曲	0	480	2110	過酸化水素(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	7	宇部ケミラ株式会社 宇部興産宇部ケミカル工場内タンク	宇部市大字小串	1	700	700	過酸化水素(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	8	宇部興産(株)宇部ケミカル工場東地区	宇部市大字小串1978番地の10,11	7	1,234.6	7,743	硝酸(Y)、硫酸(Y)、水酸化ナトリウム溶液(Y)、フェノール(Y)、硫酸(Z)、硝酸ソーダ(Z)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	9	宇部興産(株)宇部ケミカル工場西地区	宇部市大字小串1978番地の4,6	4	4,300	11,940	シクロヘキサノン(Z)、シクロヘキサン(Y)、水酸化ナトリウム溶液(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	10	明和化学(株)	宇部市小串1988の20	1	800	1500	フェノール(Y)、オルソクレゾール(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	11	セントラル硝子(株)宇部工場	宇部市大字沖宇部	5	2842	10,129	硫酸、水酸化ナトリウム溶液、磷酸	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	12	西部石油(株)山口製油所	山陽小野田市	6	5,000	13,400	オクテン、キシレン、硫酸	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	13	戸田工業(株)小野田事業所	山陽小野田市新沖	4	1000	2500	苛性ソーダ、濃硫酸	
石油コンビナート等特別防災区域	宇部・小野田	14	小野田化学工業(株)小野田工場	山陽小野田市 大字小野田6276番地	0	300	740	硫酸(Y)、リン酸(Z)	
その他	下関	15	下関三井化学(株)	下関市彦島迫町	3	2,500	7,190	硫酸(Y)、メタノール(Y)、苛性ソーダ(Y)、ホルマリン(Y)、磷酸(Z)	
その他	下関	16	(株)辰巳商会彦島出張所	下関市彦島西山町	1	500	500	過酸化水素(Y)	
その他	下関	17	キャボットジャパン(株)下関工場	下関市彦島迫町	3	2,000	4,950	クレオソート油、エチレンボトム油、コールター油	
その他	門司	18	中国精油(株)新門司工場	北九州市門司区新門司2-1	0	400	2,900	フタル酸ジエチルヘキシル、ヘキサン、エピクロロヒドリン、ポリプロピレングリコール、トルエン、メチルアルコール、アセトン	
その他	門司	19	日本アルコール販売(株)福岡支店門司事業所	北九州市門司区新門司3-36	1	510	1,285	エチルアルコール	
その他	門司	20	小野田化学工業(株)門司工場	北九州市門司区田野浦海岸11-1	0	350	750	水酸化ナトリウム溶液、磷酸	
その他	門司	21	三井物産エネルギー物流(株)門司油槽所	北九州市門司区瀬戸町2-1	2	700	2,240	水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、ジエチレングリコール	
その他	門司	22	ニッカウキスキー(株)門司工場	北九州市門司区大里元町2-1	2	850	1,610	エチルアルコール、焼酎蒸留廃液	

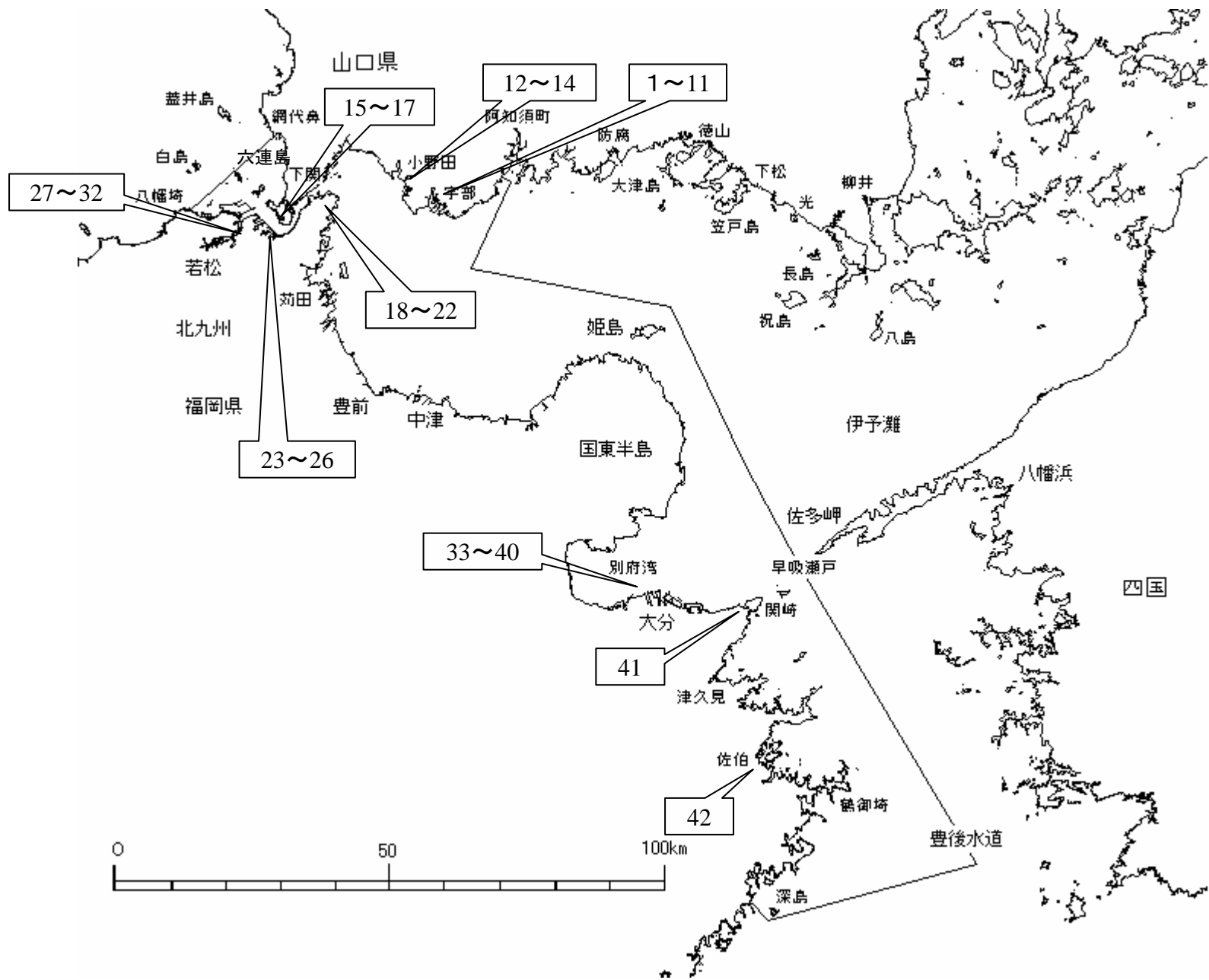
区分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kl)	油保管施設 総容量(kl)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	23	三井物産エネルギー物流(株)小倉油槽所	北九州市小倉北区西 港町97-2	1	995	995	1・3ジクロロプロペン	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	24	新日鐵化学(株)九州製造所	北九州市戸畑区中原 先の浜46-80	27	7,640	85,000	クレオソート(洗浄油)、コールタール、 コールタール(ロードタール)、ナフタレン (95%ナフタリン)、クレオソート(フлак クオイル)、クレオソート(LOコーカー 油)、クレオソート(低BPクレオソート 油)、ナフタレン(AMO)、ナフタレン (ANO)、ナフタレン(RO1含晶残 油)、ベンゼン、フェノール、無水フタ ル酸、キシレン、トルエン、メチルアルコ ール(メタノール)、ベンゼン(粗製軽 油)、コールタールナフサソルベント (CSN1)、コールタールナフサソルベント (RW高沸点油)、アセトン	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	25	光和精鉱(株)戸畑製造所	北九州市戸畑区中原 46-93	5	1,500	5,850	硫酸	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	26	新日本製鐵(株)八幡製鐵所	北九州市戸畑区飛幡 町1-1	0	300	635	パーム油	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	27	三井鉱山(株)北九州事業所	北九州市若松区響町 1-3	2	4,740	6,185	タール、粗軽油	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	28	(株)サニックスひびき工場	北九州市若松区響町 4-1-1-8	6	800	4,800	廃液	
その他	若松	29	日華油脂(株)若松工場	北九州市若松区北浜 1-8-1	6	840	5,191	パーム油、大豆油、菜種油	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	30	三菱化学(株)黒崎事業所	北九州市八幡西区黒 崎城石1-1	19	4,340	39,087	シクロヘキサノール、シクロヘキサノールと シクロヘキサノの混合物、シクロヘキ サン、水酸化カリウム溶液、水酸化 ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノ ール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロ ラクタム	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	31	ダイヤニトリックス(株)黒崎工場	北九州市八幡西区黒 崎城石1-1	2	1,500	3,740	アクリロニトリル、メチルアルコール	
石油コンビナート等特別防災 区域	北九州	32	日本化成(株)黒崎工場	北九州市八幡西区黒 崎城石1-1	0	300	625	硝酸	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	33	九州石油(株)大分油槽所	大分市大字一の洲1 番地	6	20,000	56,669	キシレン(Y)、硫黄(Z)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	34	新日本製鐵(株)大分製鐵所	大分市大字西ノ洲1 番地	5	6,000	15,450	濃硫酸(Y)、粗製軽油(ベンゼ ン)(Y)、タール留出油(シフェ ル)(X)、タール(ナフタレン)(X)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	35	日本エラストマー(株)大分工場	大分市大字中ノ洲2 番地	2	850	2,200	シロヘキサン(Y)、ヘキサン(Y)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	36	昭和電工(株)大分コンビナート	大分市大字中ノ洲2 番地	14	2,700	18,814	アリルアルコール(Y)、酢酸ビニル(Y)、 酢酸(Z)、酢酸エチル(Z)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	37	住友化学(株)大分工場	大分市鶴崎	8	1,800	12,697	クレゾール(Y)、苛性ソーダ(Y)、アセトン (Z)、廃硫酸(Y)、硝酸(Y)、メタノール (Y)、硫酸(Y)、リン酸(Z)、塩酸(Z)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	38	大分ケミカル(株)大分工場	大分市大字中ノ洲2 番地	5	945	5,165	アクリル酸(Y)、メチルアルコール(Y)	
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	39	日本硫炭工業(株)大分工場	大分市中ノ洲2番地	6	1,300	6,240	二硫化炭素(Y)、硫酸(Z)	

区 分	地区名	番号	事 業 所 名	所 在	容量500kl以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kl)	油保管施設 総容量(kl)	取 扱 油 種	備 考
石油コンビナート等特別防災 区域	大分	40	新日鐵化学(株)大分製造所	大分市中ノ洲3番地	20	8,000	75,000	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)、 エチルベンゼン(Y)、スチレンモノマー (Y)、WR:高沸点油(施行令別表 第一、一X分類、ニに該当(ナフタ レン50%(X))、RCN:粗軽油(施行 令別表第一、一X分類、ニに該 当(ベンゼン70%(Y))、エソール(施 行令別表第一、一X分類、ニに 該当(キシレン50%(Y)))	
その他	大分	41	日鉱製錬(株)佐賀製錬所	大分市大字佐賀関	11	11,111	49,914	水酸化ナトリウム溶液(Y)、発煙硫 酸(Y)、硫酸(Y)、硫化水素ナトリウ ム(Z)	硫化水素ナトリウ ムについては現 状はローリー受入 だが、将来、船 舶陸揚げの可 能性有り。
その他	佐伯	42	太平洋セメント(株)大分工場(佐伯)	佐伯市戸穴337-1	1	2,000	2,000	写真現像廃液(水酸化ナトリウム (Y)、炭酸ナトリウム(Z)、硫酸ナトリウム (Z)、等)	

資料 2 - 1 油等保管施設位置図 (油)



資料 2 - 2 油等保管施設位置図 (有害液体物質)



資料3-1 係留施設一覧（150総トン以上のタンカー（油）を係留する施設）

平成19年10月1日現在

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
宇部港	1	西部石油(株)山口製油所シーバース	宇部港	285,000DWT	原油、A、C重油	
宇部港	2	日興石油(株)沖ノ山油槽所棧橋	宇部市小串	199	重油	
宇部港	3	(株)宇部ケミカル工場 東地区 西海岸	宇部市小串	999	C重油	
宇部港	4	(株)宇部ケミカル工場 西地区専用原料棧橋	宇部市小串	998	C重油	
宇部港	5	宇部興産(株)メント西岸壁	宇部市小串	495	C重油、灯油	
宇部港	6	宇部港栄川運河協和発酵護岸	宇部市藤曲	499	重油	
宇部港	7	セントラル硝子(株)セントラル2号岸壁	宇部市沖宇部	3,000	C重油	
宇部港	8	宇部アノモア(株)栄川岸壁	宇部市藤曲	749	重油	
宇部港	9	チタン工業(株)チタン岸壁	宇部市小串	500	C重油	
宇部港	10	UMG ABS(株)ドルフィン	宇部市沖の山	566	A、C重油	
宇部港	11	宇部港公共岸壁	宇部市港町1-5-7	683	A、C重油	
小野田港	12	中国電力(株)新小野田発電所荷役棧橋	小野田市新沖	499	重油	
小野田港	13	西部特アス(株)大浜C団地岸壁	小野田市港	699	重油	
小野田港	14	戸田工業棧橋	小野田市新沖	495	重油	
下関港	15	日新タンカー(株)六連島油槽所 1号・2号・3号棧橋	下関市六連島	95,000DWT	A、C重油、軽油、灯油	
下関港	16	下関三井化学(株)2号バース	下関市彦島西山	563	C重油	
下関港	17	中国電力(株)下関発電所専用岸壁	下関市長府港町	1,600	A、C重油	
下関港	18	林兼石油(株)彦島海士郷岸壁	下関市彦島海士郷町	199	A重油、灯油	
下関港	19	日本ガラス(株)下関工場棧橋	下関市彦島弟子町	251	重油	
下関港	20	下関漁港岸壁	下関市大和町	500	A、C重油	
関門港	21	出光興産(株)門司油槽所第一・第二・第三棧橋	北九州市門司区	699	A重油、潤滑油	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着岸船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
関門港	22	三井物産・丸紅大久保大型栈橋	北九州市門司区	20,000	重油	
関門港	23	兼松油槽(株)専用栈橋	北九州市小倉北区	2,995	A、C重油	
関門港	24	シヤハ [®] オイルネットワーク(株)小倉油槽所A栈橋	北九州市小倉北区	1,600	A重油	
関門港	25	(株)住友金属西1号岸壁	北九州市小倉北区	1,700	重油	
関門港	26	東西オイルターミナル(株)北九州油槽所	北九州市小倉北区	4,286	A、C重油	
関門港	27	三井物産エネルギー(株)小倉油槽所栈橋HE	北九州市小倉北区	499	A、C重油、灯油	
関門港	28	東西オイルターミナル(株)KSC54C栈橋	北九州市小倉北区	5,281	A重油、潤滑油	
関門港	29	北九州エル・エヌ・シー(株)栈橋	北九州市戸畑区	996	C重油、軽油	
関門港	30	新日本製鐵(株)八幡製鉄所戸畑共同火力栈橋	北九州市戸畑区	3,000	C重油	
関門港	31	戸畑2号物揚場	北九州市戸畑区	199	A、C重油	
関門港	32	三菱化学(株)黒崎事業所合成3号栈橋	北九州市八幡西区	1,880	重油	
関門港	33	三菱化学(株)黒崎事業所重油栈橋	北九州市八幡西区	1,880	C重油	
関門港	34	三菱マテリアル(株)九州工場黒崎地区重油荷役栈橋	北九州市八幡西区	693	C重油	
関門港	35	東京製鐵(株)九州工場岸壁	北九州市若松区	700	A、C重油	
関門港	36	(株)トカイ岸壁	北九州市若松区	379	A重油、灯油	
苅田港	37	麻生ラファージメント(株)苅田工場専用岸壁	福岡県京都郡苅田町	499	C重油	
苅田港	38	宇部興産(株)建設資材カハ [®] ニー生産技術本部 苅田セメント工場荷揚栈橋	福岡県京都郡苅田町	999	A、C重油	
苅田港	39	九州電力(株)苅田発電所岸壁	福岡県京都郡苅田町	2,000	C重油	
苅田港	40	三菱マテリアル(株)九州工場1・2号岸壁	福岡県京都郡苅田町	991	重油	
豊前港	41	九州電力(株)豊前発電所揚油栈橋	福岡県豊前市	3,700	原油、A、C重油	
大分港	42	新日本製鐵(株)化成品ハース	大分市西の洲	749	A、C重油	
大分港	43	新日本製鐵(株)大分製鉄所重油ハース	大分市西の洲	1,681	A、C重油	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
大分港	44	大分共同火力(株)重油バース	大分市西の洲	5,000	A、C重油	
大分港	45	昭和電工(株)2号ドック	大分市中の洲2番地	500	重油	
大分港	46	昭和電工(株)12号バース	大分市中の洲2番地	4,200	A、C重油	
大分港	47	九州石油(株)1号ドック	大分市一の洲	300,155DWT	原油、A、C重油	
大分港	48	住吉3号岸壁	大分市豊海2	1,000	A、C重油	
大分港	49	ー7.5m岸壁	大分市日吉原	2,000	重油	
大分港	50	住友化学(株)大分工場	大分市鶴崎	499	重油	
大分港	51	大分LNGバース	大分市青崎	499	重油	
大分港	52	王子板紙(株)大分工場専用岸壁	大分市小中島江道	229	C重油	
大分港	53	日鉱製錬(株)佐賀製錬所ドック	大分市佐賀関	499	重油	
大分港	54	太平洋セメント(株)大分工場津久見 Cバース	津久見市合ノ元町	999	重油	
大分港	55	太平洋セメント(株)大分工場津久見 ー6mバース	津久見市合ノ元町	999	重油	
佐伯	56	太平洋セメント(株)大分工場(佐伯)海崎 (太平洋セメント専用ドック)	佐伯市戸穴337-1	499	重油	
佐伯	57	(株)興人1号岸壁	佐伯市東浜1-6	699	C重油	
佐伯	58	(株)興人2号岸壁	佐伯市東浜1-6	499	C重油	
佐伯	59	(株)山作専用岸壁	佐伯市葛港17-3	199	重油	

資料3-2 係留施設一覧（150総トン以上のタンカー（有害液体物質）を係留する施設）

平成19年10月1日現在

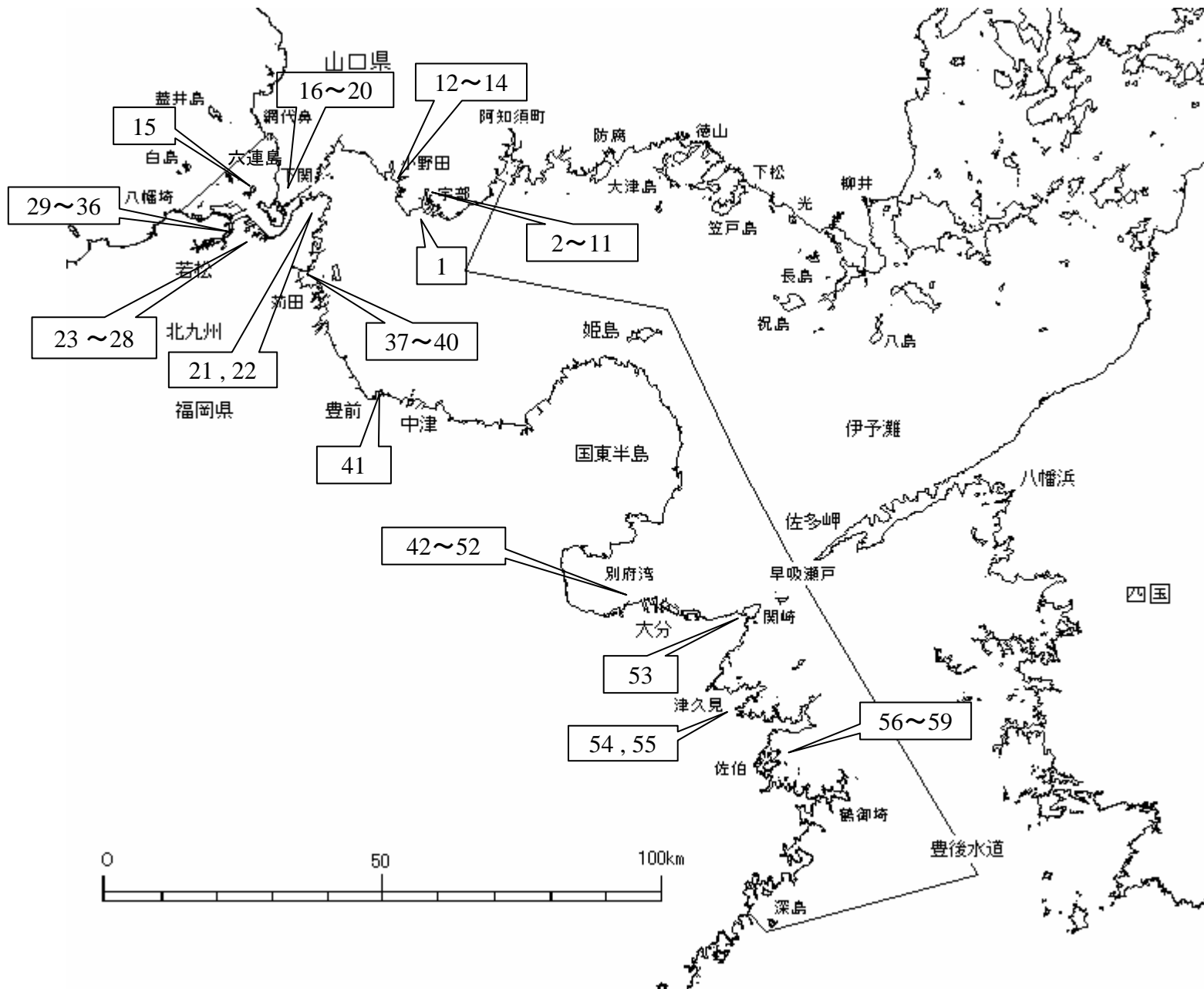
海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
宇部港	1	チタン工業株式会社チタン岸壁	宇部市大字小串1978-25	600	水酸化ナトリウム溶液(Y)、硫酸(Y)	
宇部港	2	宇部興産西沖の山栈橋No.1バース	宇部市大字西沖ノ山字西 沖13番地1地先	2,000	ベンゼン、スチレンモノマー	
宇部港	3	宇部興産西沖の山栈橋No.2バース	宇部市大字西沖ノ山字西 沖13番地1地先	4,000	ベンゼン、スチレンモノマー、トルエン	
宇部港	4	UMG ABS専用岸壁US01	宇部市大字沖宇部525-14	566	アクリロニトリル、スチレン、アルファメチル スチレン	
宇部港	5	協和発酵工業(株) 宇部工場 No.1栈橋	宇部市大字藤曲2548	365	塩酸(Z)	
宇部港	6	宇部マテリアルズ(株)宇部第二工場	宇部市大字小串1992	915	水酸化マグネシウム	
宇部港	7	宇部アンモニア工業(有)栄川岸壁	宇部市大字藤曲	432	過酸化水素	
宇部港	8	宇部興産2号岸壁	宇部市大字小串	432	過酸化水素	
宇部港	9	宇部興産(株)宇部ケミカル工場東地区東岸壁	宇部市大字小串1978番地 の10	334	硝酸、苛性ソーダ、硝酸ナトリウム(水溶液)	
宇部港	10	宇部興産(株)宇部ケミカル工場東地区西岸壁	宇部市大字小串1978番地 の11	697	硫酸、フェノール、硫黄	
宇部港	11	宇部興産(株)宇部ケミカル工場西地区専用栈 橋	宇部市大字小串1978番地 の6	499	シクロヘキサノン、シクロヘキサン	
宇部港	12	宇部興産(株)宇部ケミカル工場西地区ラクタム 岸壁	宇部市大字小串1978番地 の6	199	水酸化ナトリウム溶液	
宇部港	13	明和化学(株)	宇部市小串1988の20		フェノール(Y)、オルソクレゾール(Y)	
宇部港	14	セントラル硝子2号岸壁	宇部市大字沖宇部	2362	硫酸、水酸化ナトリウム溶液	
小野田港	15	西部石油(株)山口製油所1号栈橋	山陽小野田市	500	硫黄	
小野田港	16	西部石油(株)山口製油所8号栈橋	山陽小野田市	3,000	キシレン	
小野田港	17	西部石油(株)山口製油所3号栈橋	山陽小野田市	1,000	オクテン	
小野田港	18	戸田工業栈橋	山陽小野田市新沖	495	苛性ソーダ、濃硫酸	
小野田港	19	小野田化学工業(株)小野田工場 横栈橋	山陽小野田市大字小野田 6276番地	499	硫酸、リン酸	
関門港	20	下関三井化学(株)1号バース	下関市彦島迫町	1,200	硫酸	キャボットシヤパンも使用
関門港	21	下関三井化学(株)2号バース	下関市彦島迫町	563	メタノール、ホルマリン、リン酸	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
関門港	22	下関三井化学(株)3号ハース	下関市彦島迫町	550	燐酸	
関門港	23	下関三井化学(株)4号ハース	下関市彦島迫町	600	苛性ソーダ	
関門港	24	彦島製錬(株)中央岸壁	下関市彦島西山町	500	過酸化水素	辰巳商会在使用
関門港	25	新門司1号岸壁	北九州市門司区新門司2-1	1,000 G/T	フタル酸ジエチルヘキシル、ヘキサン、エピクロロヒドリン、ポリプロピレングリコール、トルエン、メチルアルコール、アセトン	中国精油(株)が専用的に使用
関門港	26	日本アルコール販売(株)福岡支店門司事業所 棧橋	北九州市門司区新門司3-36	900 G/T	エチルアルコール	
関門港	27	小野田化学工業(株)門司工場専用岸壁	北九州市門司区田野浦海岸11-1	199 G/T	水酸化ナトリウム溶液、燐酸	
関門港	28	三井物産エネルギー物流・丸紅大久保棧橋 (T・B)	北九州市門司区瀬戸町2-1	20,000 G/T	水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、ジエチレングリコール	
関門港	29	三井物産エネルギー物流大久保棧橋(T・A)	北九州市門司区瀬戸町2-1	500 G/T	水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、ジエチレングリコール	
関門港	30	ニッカウキスキー(株)門司工場棧橋	北九州市門司区大里元町2-1	450 G/T	エチルアルコール、焼酎蒸留廃液	
関門港	31	日明1号物揚場	北九州市小倉北区西港町	199 G/T	苛性カリ	ダイソー(株)が専用的に使用
関門港	32	三井物産エネルギー物流(株)小倉油槽所棧橋 HE	北九州市小倉北区西港町97-2	499 G/T	1・3ジクロロプロペン	
関門港	33	新日鐵化学(株)化製品専用棧橋(RK00C)	北九州市戸畑区中原先の 浜46-80	1,525 G/T	トルエン、クレオソート(ブラックオイル)、クレオソート(洗浄油)、クレオソート(LOコーカー油)、ナフタレン(AMO)、ナフタレン(ANO)、ナフタレン(RO1含晶残油)、コールター	
関門港	34	新日鐵化学(株)戸畑1号棧橋(RK01C)	北九州市戸畑区中原先の 浜46-80	4,405 G/T	無水フタル酸、ナフタレン(95%ナフタリン)、ナフタレン(AMO)、ナフタレン(ANO)、ナフタレン(RO1含晶残油)、コールター(ロードタール)、コールター、トルエン、フェノール、アセトン、ベンゼン(粗製軽油)、コールターナフサソルベント(RW高沸点油)、コールターナフサソルベント(CSN1)、クレオソート(低BPクレオソート油)、クレオソート(洗浄油)、クレオソート(ブラックオイル)、クレオソート(LOコーカー油)	
関門港	35	新日鐵化学(株)製品払出岸壁(RK02C)	北九州市戸畑区中原先の 浜46-80	699 G/T	ベンゼン、メチルアルコール(メタノール)、アセトン、ベンゼン(粗製軽油)、コールターナフサソルベント(RW高沸点油)、コールターナフサソルベント(CSN1)、クレオソート(ブラックオイル)、クレオソート(洗浄油)	
関門港	36	光和精鉱(株)岸壁	北九州市戸畑区中原46-93	1,300 G/T	硫酸	

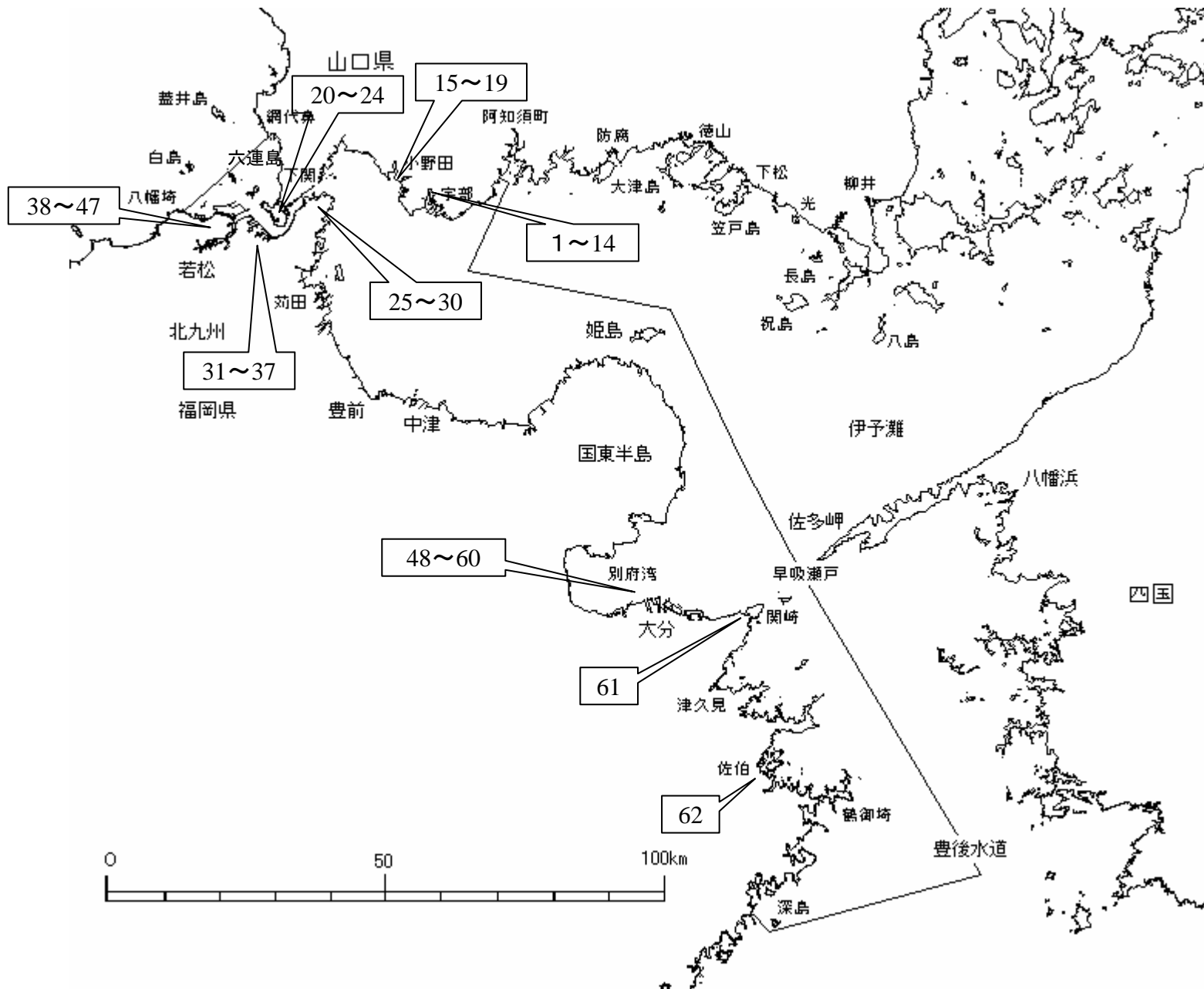
海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
関門港	37	新日本製鐵(株)岸壁	北九州市戸畑区飛幡町1-1	3,000 G/T	パーム油	
関門港	38	(株)サンニクスひびき工場A5バース	北九州市若松区響町4-1-1-8	3,000 G/T	廃液	
関門港	39	三井鉱山(株)安瀬第3号岸壁	北九州市若松区響町1-3	10,000 G/T	タール、粗軽油	
関門港	40	日華油脂(株)若松工場棧橋	北九州市若松区北浜1-8-1	299 G/T	パーム油、大豆油、菜種油	
関門港	41	三菱化学(株)黒崎事業所有機1号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	42	三菱化学(株)黒崎事業所硝酸1号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	43	三菱化学(株)黒崎事業所硫酸1号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	44	三菱化学(株)黒崎事業所合成1号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	45	三菱化学(株)黒崎事業所合成2号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	46	三菱化学(株)黒崎事業所合成3号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用
関門港	47	三菱化学(株)黒崎事業所合成4号棧橋	北九州市八幡西区黒崎城石1-1	1,880 G/T	アクリロニトリル、シクロヘキサノール、シクロヘキサノールとシクロヘキサンの混合物、シクロヘキサン、硝酸、水酸化カリウム溶液、水酸化ナトリウム溶液、発煙硫酸、フェノール、メチルアルコール、濃硫酸、アセトン、硫黄、カプロラクタム	ダイイニトリックス(株)、日本化成(株)も使用

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
大分港	48	九州石油㈱1、3、4、5、8、10号出荷岸壁	大分市大字一の洲1番地1	9,998	キシレン(Y)、硫黄(Z)	
大分港	49	新日本製鐵㈱大分製鐵所化成品バース	大分市大字西ノ洲1番地	2,000	濃硫酸(Y)、粗製軽油(ベンゼン(Y))、タール留 出油(シフェニル(X))、タール(ナフタレン(X))	
大分港	50	昭和電工㈱大分コンビナート2号ドルフィン	大分市大字中ノ洲2番地	1,999	アリアルアルコール(Y)、酢酸ビニル(Y)、酢酸(Z)、酢 酸エチル(Z)	日本エラストマー㈱と共用。
大分港	51	昭和電工㈱大分コンビナート12号バース	大分市大字中ノ洲2番地	5,346	アリアルアルコール(Y)、酢酸ビニル(Y)、酢酸(Z)、酢 酸エチル(Z)	
大分港	52	住友化学㈱大分工場第1バース	大分市鶴崎	540	硫酸(Y)、硝酸(Y)、廃硫酸(Y)、リン酸(Z)	
大分港	53	住友化学㈱大分工場第2バース	大分市鶴崎	699	苛性ソーダ(Y)、クレゾール(Y)、メタノール(Y)、アエリン (Y)	
大分港	54	住友化学㈱大分工場第3バース	大分市鶴崎	980	アセトン(Z)	
大分港	55	住友化学㈱大分工場第4バース	大分市鶴崎	1,100	塩酸(Z)	
大分港	56	乙津公共埠頭	大分市大字中ノ洲2-63	1,000	アクリル酸(Y)、メチルアルコール(Y)	大分ケミカル㈱の貨物
大分港	57	大分石油コンビナート3号ドルフィン	大分市大字中ノ洲2番地	1,500	二硫化炭素(Y)、硫酸(Z)	
大分港	58	新日鐵化学㈱1号ドルフィン	大分市大字中ノ洲3番地	3,000	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)、エチルベンゼ ン(Y)、スチレンモノマー(Y)、WR:高沸点油(施行 令別表第一、一X分類、ニに該当(ナフタレン 50%(X))、RCN:粗軽油(施行令別表第一、一 X分類、ニに該当(ベンゼン70%(Y))、ユニゾール (施行令別表第一、一X分類、ニに該当(キシ レン50%(Y)))	
大分港	59	新日鐵化学㈱2号ドルフィン	大分市大字中ノ洲3番地	3,555	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、スチレンモノマー(Y)、 RCN:粗軽油(施行令別表第一、一X分類、 ニに該当(ベンゼン70%(Y))、ユニゾール(施行 令別表第一、一X分類、ニに該当(キシレン 50%(Y)))	
大分港	60	新日鐵化学㈱3号ドルフィン	大分市大字中ノ洲3番地	1,999	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)、スチレンモノマー (Y)、RCN:粗軽油(施行令別表第一、一X分 類、ニに該当(ベンゼン70%(Y))、ユニゾール(施行 令別表第一、一X分類、ニに該当(キシレン 50%(Y)))	
大分港	61	佐賀製錬所(ドルフィン棧橋、C号バース)	大分市大字佐賀関	28,000	水酸化ナトリウム溶液(Y)、発煙硫酸(Y)、硫酸 (Y)、硫化水素ナトリウム(Z)	
佐伯港	62	太平洋セメント㈱大分工場(佐伯)	佐伯市戸穴337-1	499	写真現像廃液(水酸化ナトリウム(Y)、炭酸ナト リウム(Z)、硫酸ナトリウム(Z)、等)	

資料4-1 係留施設位置図(油)



資料4-2 係留施設位置図 (有害液体物質)



資料5 通航船舶の状況

(1) 速吸瀬戸(平成18年調査)

①ルート別・船種別・大きさ別隻数(3日間)

(1/2)

船種	貨物船								タンカー								旅客船(カーフェリー、水中翼船、エアクッション船を除く)								水エアクッション船				漁船			
	100トン未満	100~500	500~1千	1千~3千	3千~1万	1万~2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100~500	500~1千	1千~3千	3千~1万	1万~2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100~500	500~1千	1千~3千	3千~1万	1万~2万	2万トン以上	小計	中翼船	100トン未満	100~500	500トン以上	小計			
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
南航船	0	27	32	39	44	28	27	197	0	3	4	8	8	0	4	27	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5	1	6			
北航船	0	28	19	51	38	25	19	180	0	1	6	2	4	1	8	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	11			
小計	0	55	51	90	82	53	46	377	0	4	10	10	12	1	12	49	0	0	1	0	0	0	0	1	0	15	1	17				
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
南航船	1	29	9	5	1	0	0	45	1	6	3	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	0	0	73			
北航船	0	12	16	4	1	0	0	33	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151	0	0	151			
小計	1	41	25	9	2	0	0	78	1	6	4	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	224	0	0	224			
総計	1	96	76	99	84	53	46	455	1	10	14	10	12	1	12	60	0	0	1	0	0	0	0	1	0	239	1	1	241			

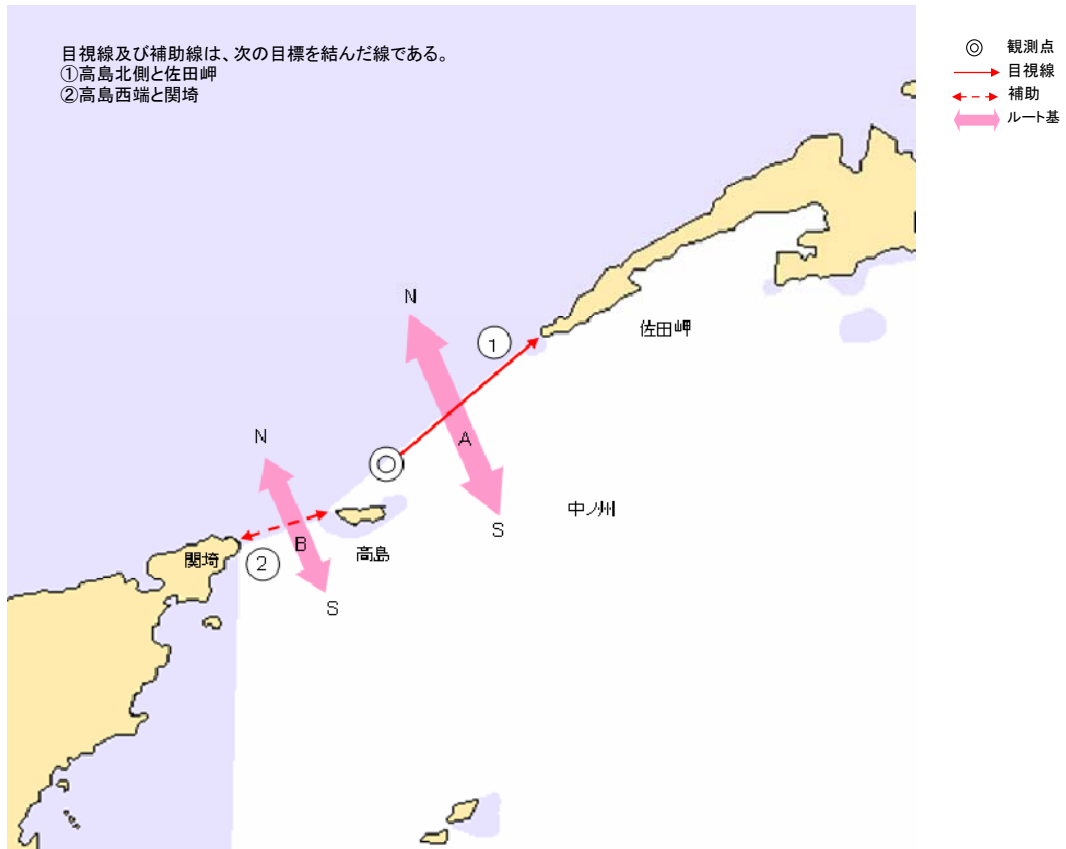
(2/2)

船種	カーフェリー								えい航船				押航船				その他(巡視船、自衛艦、独航えい・押航船等をいう。)								合計			
	100トン未満	100~500	500~1千	1千~3千	3千~1万	1万~2万	2万トン以上	小計	100m未満	100~200	200~300	300m以上	小計	50m未満	50~100	100~150	150m以上	小計	100トン未満	100~500	500~1千	1千~3千	3千~1万	1万~2万		2万トン以上	小計	
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南航船	0	0	60	10	0	0	0	70	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	303	
北航船	0	0	57	6	3	2	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	283	
小計	0	0	117	16	3	2	0	138	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	3	586	
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南航船	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	0	2	0	3	17	3	0	0	0	0	0	20	154	
北航船	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	1	8	5	0	0	0	0	0	0	13	201	
小計	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	0	4	1	1	2	0	4	25	8	0	0	0	0	0	33	355	
総計	0	0	118	16	3	2	0	139	1	2	1	0	4	2	1	2	0	5	26	8	0	0	2	0	0	36	941	

②ルート別・時刻別隻数(3日間)

時刻	ルート																											
	00~01	01~02	02~03	03~04	04~05	05~06	06~07	07~08	08~09	09~10	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	22~23	23~24	小計			
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
南航船	12	12	8	10	5	2	5	7	7	15	13	12	7	10	20	17	8	15	19	17	22	19	21	20	303			
北航船	13	15	11	9	8	9	15	14	19	18	11	14	8	9	11	11	7	14	11	12	13	12	7	12	283			
小計	25	27	19	19	13	11	20	21	26	33	24	26	15	19	31	28	15	29	30	29	35	31	28	32	586			
東航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
西航船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
南航船	5	2	1	2	3	15	18	12	1	2	8	13	19	9	7	11	9	2	8	2	1	0	2	2	154			
北航船	1	0	1	12	70	48	10	4	1	1	7	5	10	5	0	6	5	1	1	3	3	4	0	3	201			
小計	6	2	2	14	73	63	28	16	2	3	15	18	29	14	7	17	14	3	9	5	4	4	2	5	355			
総計	31	29	21	33	86	74	48	37	28	36	39	44	44	33	38	45	29	32	39	34	39	35	30	37	941			

③ルート基線図



資料6 特定港入港船舶状況表

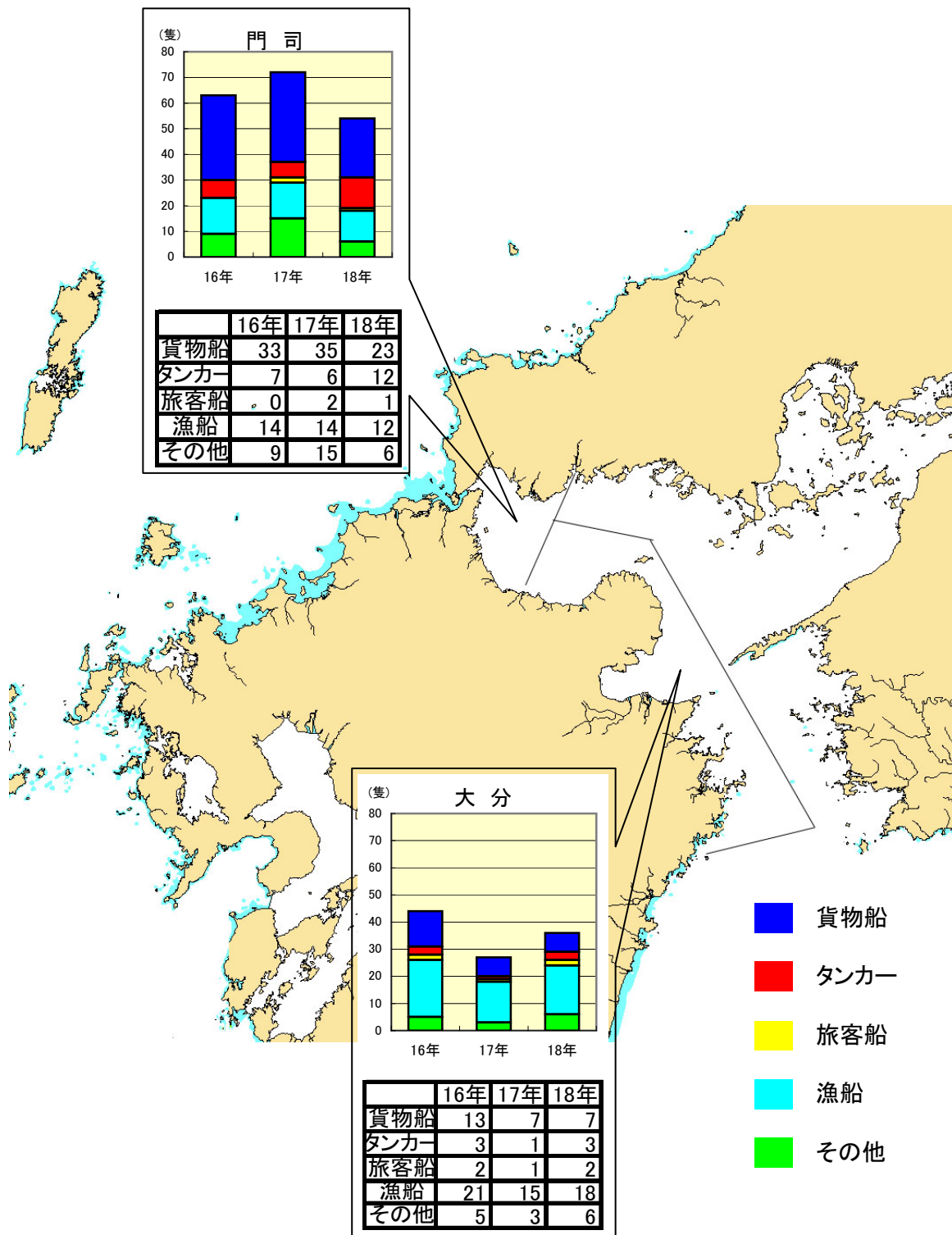
(単位:隻数)

事項別 特定港別	年	トン数階層								合計
		20トン以上 ～ 100トン未満	100トン ～ 500トン	500トン ～ 1,000トン	1,000トン ～ 3,000トン	3,000トン ～ 10,000トン	10,000トン ～ 20,000トン	20,000トン ～ 100,000トン	100,000トン 以上	
関門 (若松区を除く)	16	3,809	11,336	3,268	2,048	4,016	2,045	274	-	26,796
	17	3,978	11,016	3,523	2,053	4,398	2,011	305	38	27,322
	18	4,080	10,458	3,491	1,906	4,005	2,125	320	-	26,385
関門 (若松区)	16	327	11,101	1,418	1,028	776	158	287	18	15,113
	17	100	10,791	1,829	1,004	830	138	255	26	14,973
	18	37	10,204	2,197	1,045	908	126	267	21	14,805
宇部	16	942	8,777	2,456	826	721	252	113	-	14,087
	17	955	8,554	2,830	789	833	247	116	-	14,324
	18	1,078	8,409	3,012	861	831	264	113	-	14,568
大分	16	6,239	13,818	4,497	1,294	2,618	412	330	85	29,293
	17	6,444	13,335	4,661	1,195	2,074	537	323	85	28,654
	18	6,469	12,473	4,411	1,348	2,151	544	327	81	27,804

資料7 要救助海難発生状況表

用途	海難の種類	衝突	乗揚	転覆	浸水	推進器障害	舵故障	機関故障	火災	爆発	行方不明	運航阻害	安全阻害	計
	年													
貨物船	16	27	5	0	1	1	1	4	1	0	0	1	5	46
	17	30	3	0	0	0	1	6	2	0	0	0	0	42
	18	20	1	0	1	1	2	3	0	0	0	0	1	29
タンカー	16	7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	10
	17	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7
	18	10	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	15
旅客船	16	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	17	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
漁船	16	20	2	0	1	1	0	2	2	0	0	4	0	32
	17	14	3	2	1	0	0	0	4	0	0	5	0	29
	18	16	0	0	1	0	0	3	0	0	0	8	0	28
その他	16	13	4	2	1	4	1	7	5	0	0	4	2	43
	17	17	0	3	4	7	0	9	2	0	0	5	1	48
	18	10	2	2	2	1	1	8	2	0	0	5	1	34
計	16	68	11	2	3	7	2	15	8	0	0	9	8	133
	17	67	7	5	5	7	2	16	8	0	0	10	2	129
	18	58	5	2	5	2	3	15	2	0	0	14	2	108

資料 8 要救助海難発生状況図（部署別）

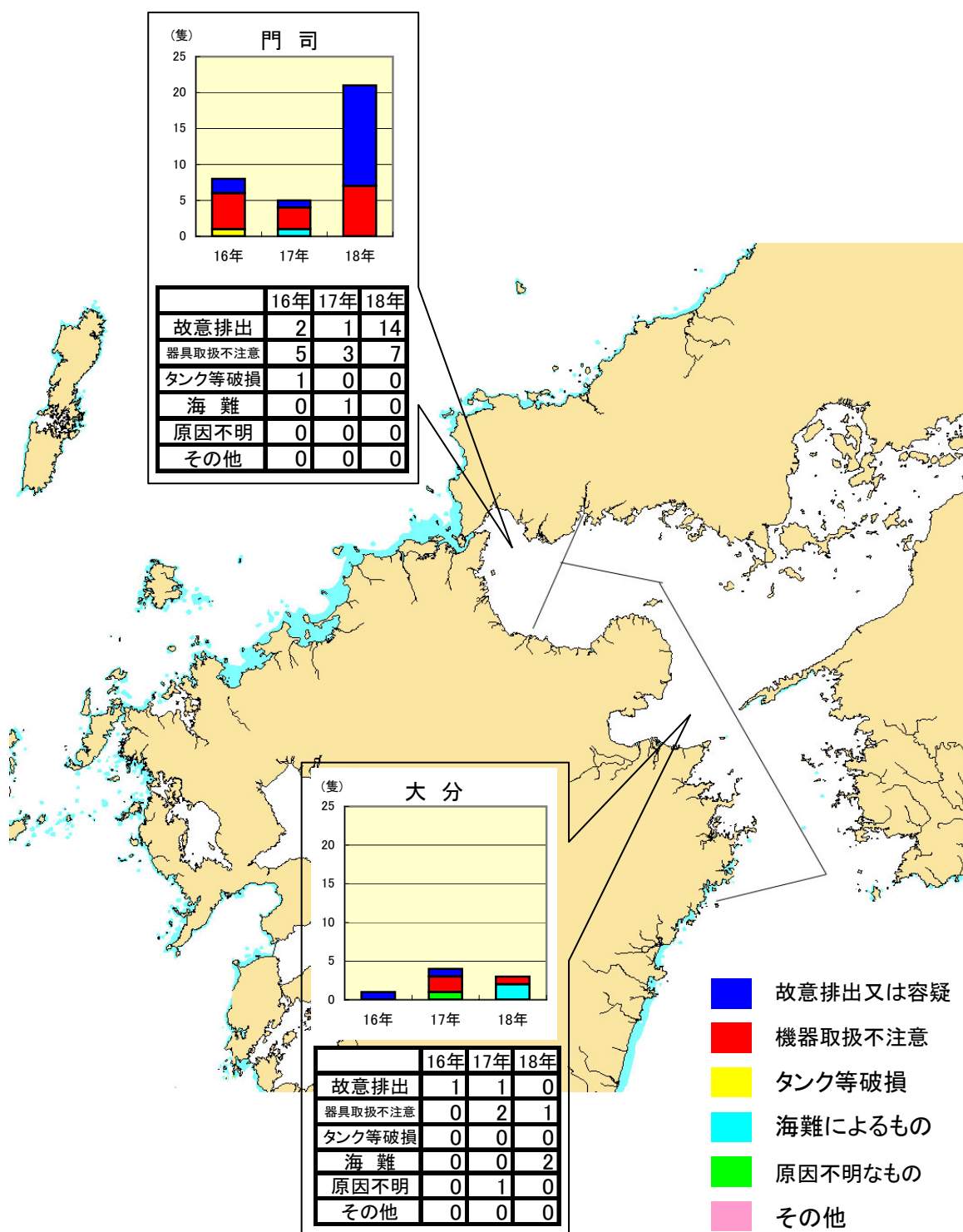


資料9 油等による海洋汚染発生状況表

平成18年12月31日現在

排出源	原因	故意排出又は 容疑のあるもの	器機取扱い不 注意によるもの	タンク等の破 損によるもの	海難によるもの	原因不明なもの	その他	計
	年							
船 舶	16	1	5	0	0	0	0	6
	17	1	4	0	1	0	0	6
	18	2	7	0	2	0	0	11
陸 上	16	1	1	1	0	0	0	3
	17	1	1	0	0	0	0	2
	18	12	0	0	0	0	0	12
不 明	16	0	0	0	0	0	0	0
	17	0	0	0	0	1	0	1
	18	0	0	0	0	0	0	0
計	16	2	6	1	0	6	0	9
	17	2	5	0	1	1	0	9
	18	14	7	0	2	0	0	23

資料10 油等による海洋汚染発生状況図（部署別）



資料 1 1 過去の油等排出事故の概要

発生年月日	発生場所	排出源	油種等	概要	防除措置
平成7年9月3日	大分県西国東郡香々地町所在香々地灯台から324度約9.1海里	油タンカー 宣洋丸 総トン数 895トン	貨物油 (C重油)	該船は、平成7年9月3日1442頃、発生場所付近海域において、フィリピン籍貨物船 BATIS(23,277トン)と衝突、貨物タンクに損傷を生じ、貨物油(C重油)約94KLが流出したものの。	事故発生後19日までの間、海上災害防止センターが2号業務を発動、作業船(漁船を含む)延べ261隻、PI手配の航空機延べ5機、巡視船艇延べ70隻、海保航空機延べ14機により、オイルフェンス2,100m、油処理剤2,892缶、油吸着マット883箱を使用して防除作業を実施
平成17年7月9日	山口県宇部市大字小串字沖の山所在、宇部港西防波堤灯台から229度約6500メートルの海上	液化ガスタンカー 第二昭鶴丸 総トン数 1557トン 53	燃料油 (C重油) 積荷 (液化エレン)	該船は、平成17年7月9日同日2335頃、発生場所付近海域において、貨物船永田丸(499トン)と衝突、衝突により燃料タンクに損傷を生じ、燃料油(C重油)約36KLが流出するとともに、積荷の液化エレンの再液化装置が使用不能となり、タンク内圧力が上昇したことから、タンク破損を防止するため、エレン約29トンを大気放出したものの。	事故発生後、該船を中心に半径2000mの範囲を航泊禁止とし、当庁巡視船艇により警戒を実施し、船主手配の業者により再液化装置の仮復旧を実施し、11日に仮復旧したことから、大気放出を終了した。 また、事故後、災害防止センターと2号業務を契約したことから、15日までの間、海上災害防止センター契約業者及び当庁巡視船艇・航空機により防除作業を実施した。

資料1 2 気候表

(1) 下関

北緯33度56.7分 東経130度55.7分 標高3.3m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1021.4	6.6	9.2	4.2	63	72.3	7.5				9.3	7.8	0.2	0.5
2月	1020.2	6.6	9.4	4.0	64	79.9	7.3				8.9	6.6	0.4	0.6
3月	1018.6	9.3	12.6	6.5	67	124.2	6.7				10.8	2.0	0.9	0.8
4月	1015.4	14.0	17.6	11.0	70	155.2	6.3				10.2	0.1	1.4	1.3
5月	1012.2	18.2	21.7	15.3	72	158.3	6.5				9.0	0.0	1.0	1.0
6月	1008.5	21.8	25.0	19.3	79	290.4	7.7				12.0	0.0	1.1	1.7
7月	1008.0	25.9	29.0	23.6	80	262.9	7.0				10.5	0.0	0.7	4.1
8月	1008.5	27.1	30.3	24.8	77	157.2	6.2				8.7	0.0	0.0	3.6
9月	1012.1	23.7	26.9	21.2	75	172.6	6.7				9.3	0.0	0.1	2.4
10月	1017.5	18.8	22.0	15.9	69	84.2	5.6				6.8	0.0	0.1	0.5
11月	1021.0	13.7	16.8	11.0	67	75.9	6.1				8.2	0.3	0.2	0.8
12月	1022.2	9.0	11.9	6.4	64	52.0	6.6				7.9	4.2	0.3	0.6
年	1015.5	16.2	19.4	13.6	71	1684.9	6.7				111.8	20.9	6.5	17.9
統計年数	30	30	30	30	30	30	30				30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000				1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(2) 大分

北緯33度13.9分 東経131度37.2分 標高4.6m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1021.3	6.0	10.3	1.9	64	47.3	5.5	S 17	3.0	0.5	5.3	3.7	0.4	0.1
2月	1020.0	6.3	10.6	2.1	64	68.6	5.9	S 16	2.9	0.4	6.2	3.8	0.6	0.2
3月	1018.4	9.3	13.6	4.8	68	114.7	6.2	NNW 16	2.7	0.3	9.8	0.9	1.0	0.4
4月	1015.3	14.2	19.0	9.5	69	130.2	6.3	S 16	2.5	0.5	9.6	0.0	1.5	1.0
5月	1012.2	18.4	23.1	13.9	72	142.7	6.6	S 18	2.3	0.1	9.6	0.0	1.1	1.4
6月	1008.5	22.1	26.1	18.5	79	294.2	7.8	S 15	2.1	0.1	12.8	0.0	1.4	2.1
7月	1008.1	26.2	30.4	22.8	79	237.3	6.7	S 14	2.2	0.3	10.9	0.0	1.1	5.2
8月	1008.6	26.8	31.2	23.2	78	185.4	6.1	S 18	2.4	0.5	9.4	0.0	0.0	4.9
9月	1012.0	23.3	27.4	19.7	77	238.0	6.8	S 18	2.4	0.7	10.3	0.0	0.2	2.8
10月	1017.3	18.1	22.5	13.9	73	129.3	5.6	S 22	2.5	0.3	6.6	0.0	0.2	0.3
11月	1020.8	13.1	17.6	8.6	70	61.9	5.4	S 23	2.7	0.3	4.9	0.1	0.4	0.2
12月	1022.2	8.2	12.8	3.6	66	28.1	4.9	S 23	2.9	0.3	3.7	1.8	0.3	0.1
年	1015.4	16.0	20.4	11.9	71	1677.8	6.2	S 18	2.6	4.3	99.0	10.3	8.1	18.6
統計年数	30	30	30	30	30	30	30	30	26	26	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1975-2000	1975-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

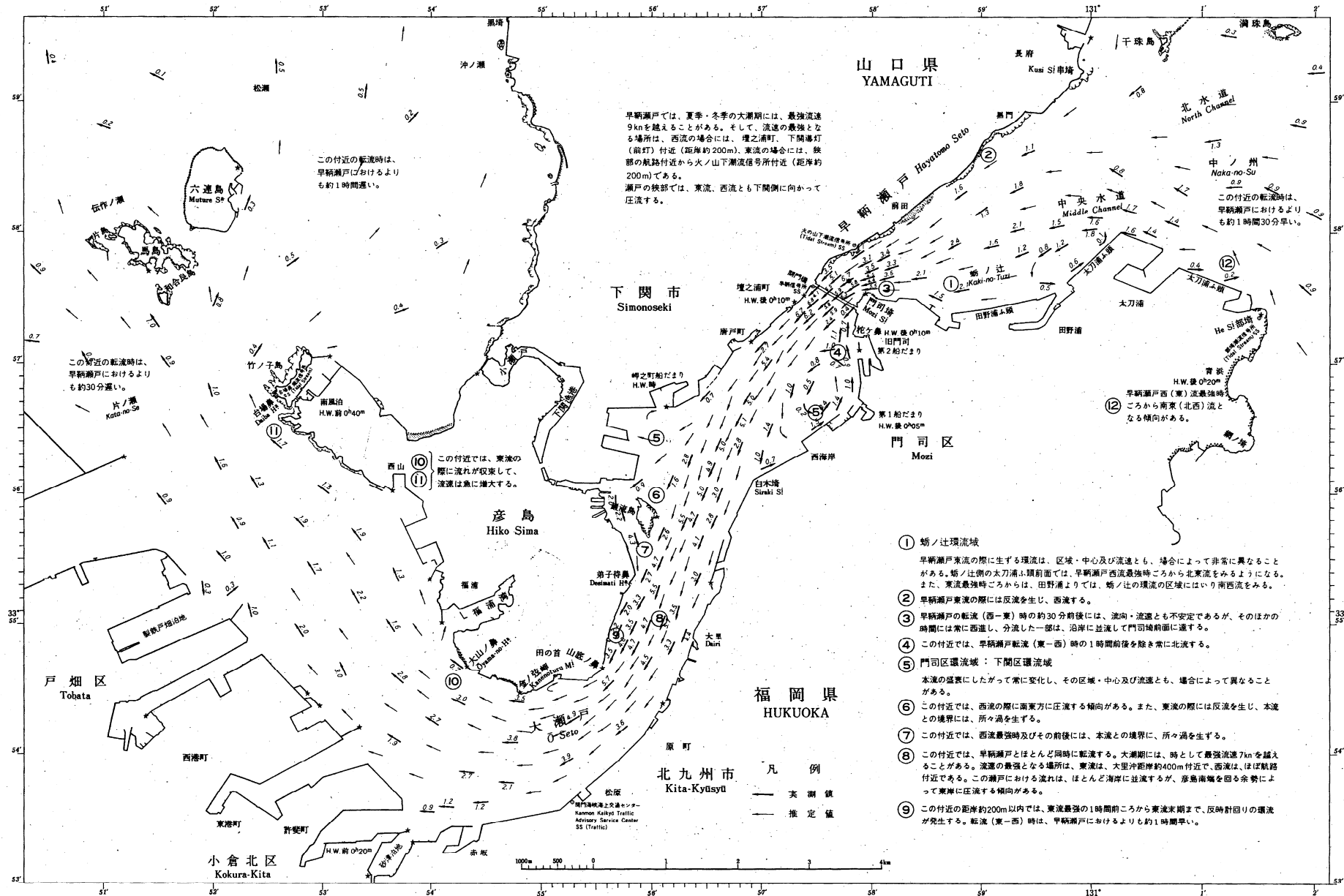
(3) 宇和島

北緯33度13.4分 東経132度33.3分 標高2.4m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1020.6	6.7	11.0	2.5	63	60.9	6.8				8.9	5.7	0.2	0.3
2月	1019.3	6.9	11.5	2.6	65	72.5	6.7	NW 15	3.8	10.3	8.3	5.0	0.4	0.2
3月	1017.8	10.0	14.7	5.4	68	108.5	6.4	WNW 15	3.2	7.3	11.3	1.1	0.5	0.6
4月	1015.1	15.0	20.0	10.1	68	125.9	6.3	WNW 17	2.9	5.3	10.2	0.0	1.0	1.0
5月	1012.1	18.8	23.5	14.3	71	145.0	6.9	WNW 17	2.5	2.1	9.9	0.0	0.6	1.2
6月	1008.6	22.6	26.6	18.9	76	281.6	7.9	WNW 17	2.4	1.3	12.8	0.0	0.8	1.7
7月	1008.4	26.3	30.4	22.9	75	221.9	6.8	WNW 16	2.4	1.3	11.1	0.0	0.2	3.1
8月	1008.8	27.1	31.5	23.7	75	186.0	6.2	WNW 16	2.4	0.9	9.4	0.0	0.0	3.3
9月	1011.7	23.9	28.3	20.3	78	212.7	6.7	WNW 13	2.3	2.0	10.2	0.0	0.0	2.1
10月	1016.8	18.5	23.6	14.2	72	110.7	5.6	SE 18	2.4	2.3	7.6	0.0	0.1	0.6
11月	1020.3	13.8	18.7	9.4	70	75.7	5.7	SE 17	2.7	4.5	6.9	0.1	0.2	0.4
12月	1021.6	8.7	13.6	4.4	68	52.9	5.9	SE 16	3.2	8.0	7.6	2.8	0.3	0.3
年	1015.1	16.5	21.1	12.4	71	1654.2	6.5				114.2	14.8	4.3	14.7
統計年数	30	30	30	30	30	30	30	8	8	8	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1993-2000	1993-2000	1993-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

資料 13-1-1 関門海峡潮流図 (西流最強時)



早瀬瀬戸では、夏季・冬季の大満期には、最強流速9knを超えることがある。そして、流速の急強となる場所は、西流の場合には、理之浦町、下関導灯(前灯)付近(距離約200m)、東流の場合には、狭部の航路付近から大ノ山下潮流儀所付近(距離約200m)である。
瀬戸の狭部では、東流、西流とも下関側に向かって圧流する。

この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間遅い。

この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約30分遅い。

この付近では、東流の際に流れが収束して、流速は急に増大する。

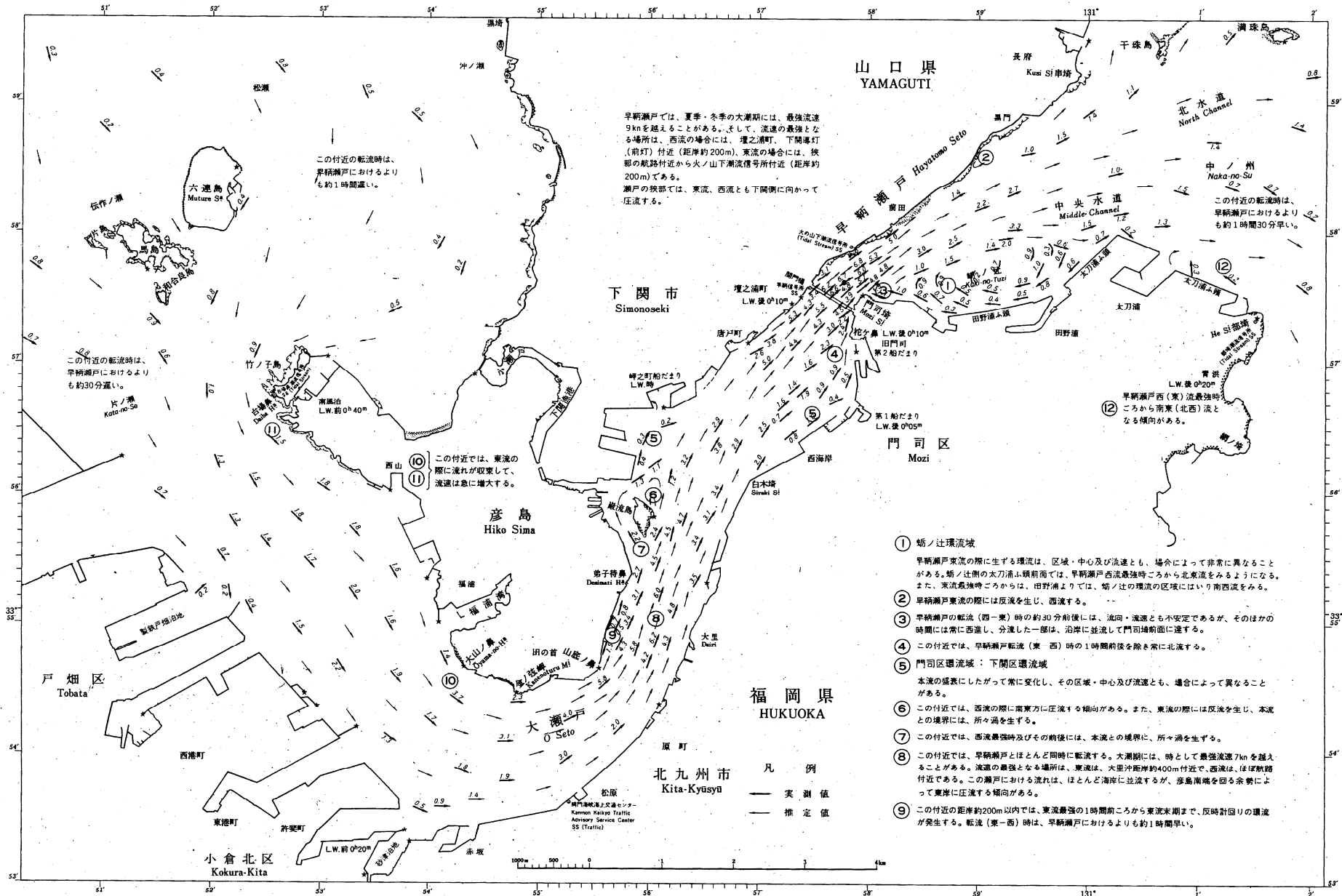
この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間30分早い。

早瀬瀬戸西(東)流最強時
ころから南東(北西)流と
なる傾向がある。

- ① 蛸ノ辻環流域
早瀬瀬戸東流の際に生ずる環流は、区域・中心及び流速とも、場合によって非常に異なることがある。蛸ノ辻側の太刀浦小頭前面では、早瀬瀬戸西流最強時ころから北東流をみるようになる。また、東流最強時ころからは、田野浦よりは、蛸ノ辻の環流の区域にはいり南西流をみる。
- ② 早瀬瀬戸東流の際には反流を生じ、西流する。
- ③ 早瀬瀬戸の転流(西-東)時の約30分前後には、流向・流速とも不安定であるが、そのほかの時間には常に西進し、分流した一部は、沿岸に並流して門司導灯前面に達する。
- ④ この付近では、早瀬瀬戸転流(東-西)時の1時間前後を除き常に北流する。
- ⑤ 門司区環流域：下関区環流域
本流の盛衰にしたがって常に変化し、その区域・中心及び流速とも、場合によって異なることがある。
- ⑥ この付近では、西流の際に南東方に圧流する傾向がある。また、東流の際には反流を生じ、本流との境界には、所々渦を生ずる。
- ⑦ この付近では、西流最強時及びその前後には、本流との境界に、所々渦を生ずる。
- ⑧ この付近では、早瀬瀬戸とほとんど同時に転流する。大潮期には、時として最強流速7knを超えることがある。流速の急強となる場所は、東流は、大里沖距離約400m付近で、西流は、ほぼ航路付近である。この瀬戸における流れは、ほとんど海洋に並流するが、彦島南端を回る余勢によって東岸に圧流する傾向がある。
- ⑨ この付近の距離約200m以内では、東流最強の1時間前ころから東流末期まで、反時計回りの環流が発生する。転流(東-西)時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間早い。

凡例
— 実測値
— 推定値

資料13-1-2 関門海峡潮流図（東流最強時）



早瀬瀬戸では、夏季・冬季の大満期には、最強流速9knを超えることがある。そして、流速の最強となる場所は、西流の場合には、埋之浦町、下関導灯（前灯）付近（距岸約200m）、東流の場合には、狭部の航路付近から火ノ山下潮流番号所付近（距岸約200m）である。
瀬戸の狭部では、東流、西流とも下関側に向かって圧流する。

この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間遅い。

この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約30分早い。

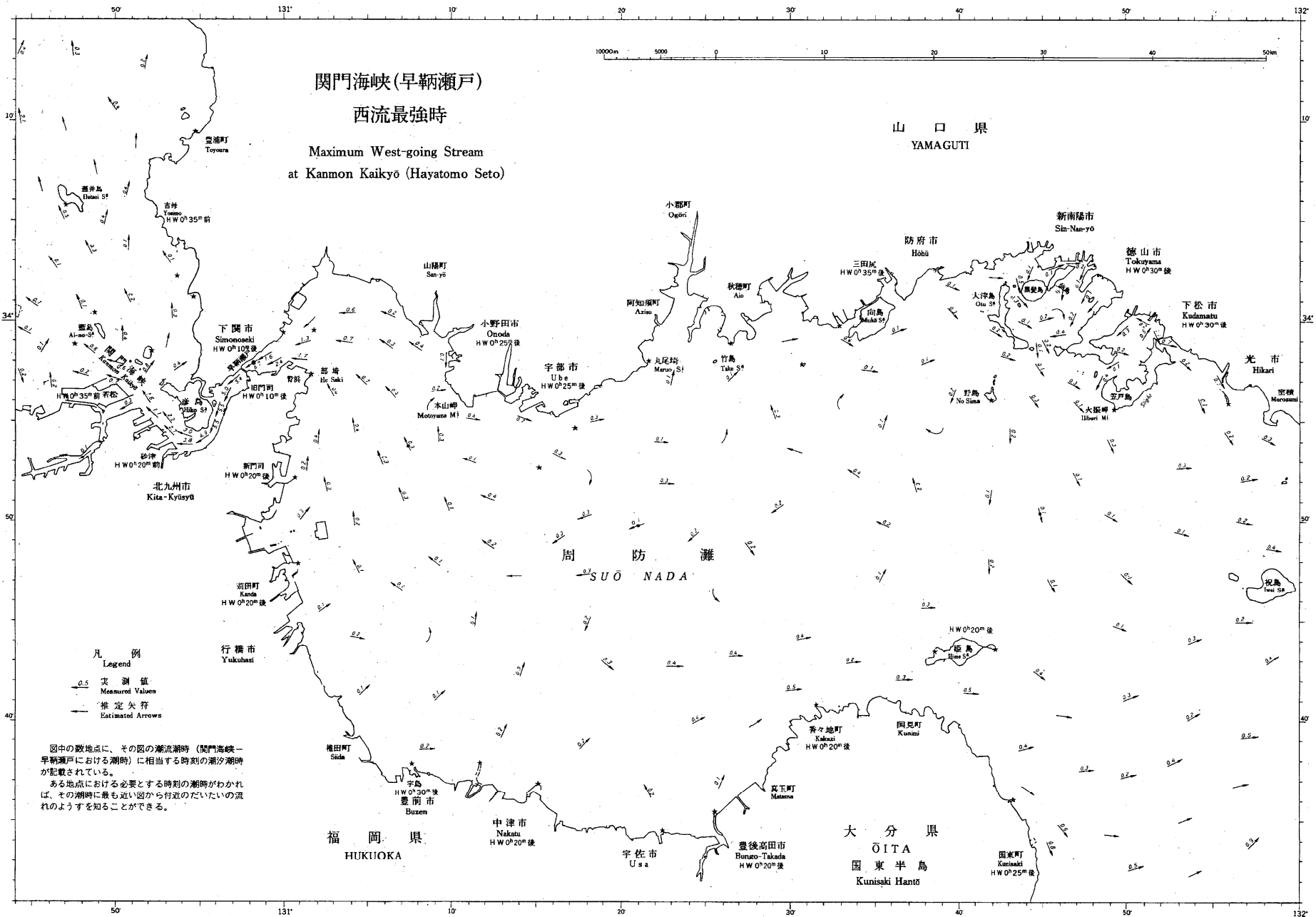
この付近では、東流の際に流れが収束して、流速は急に増大する。

この付近の転流時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間30分早い。

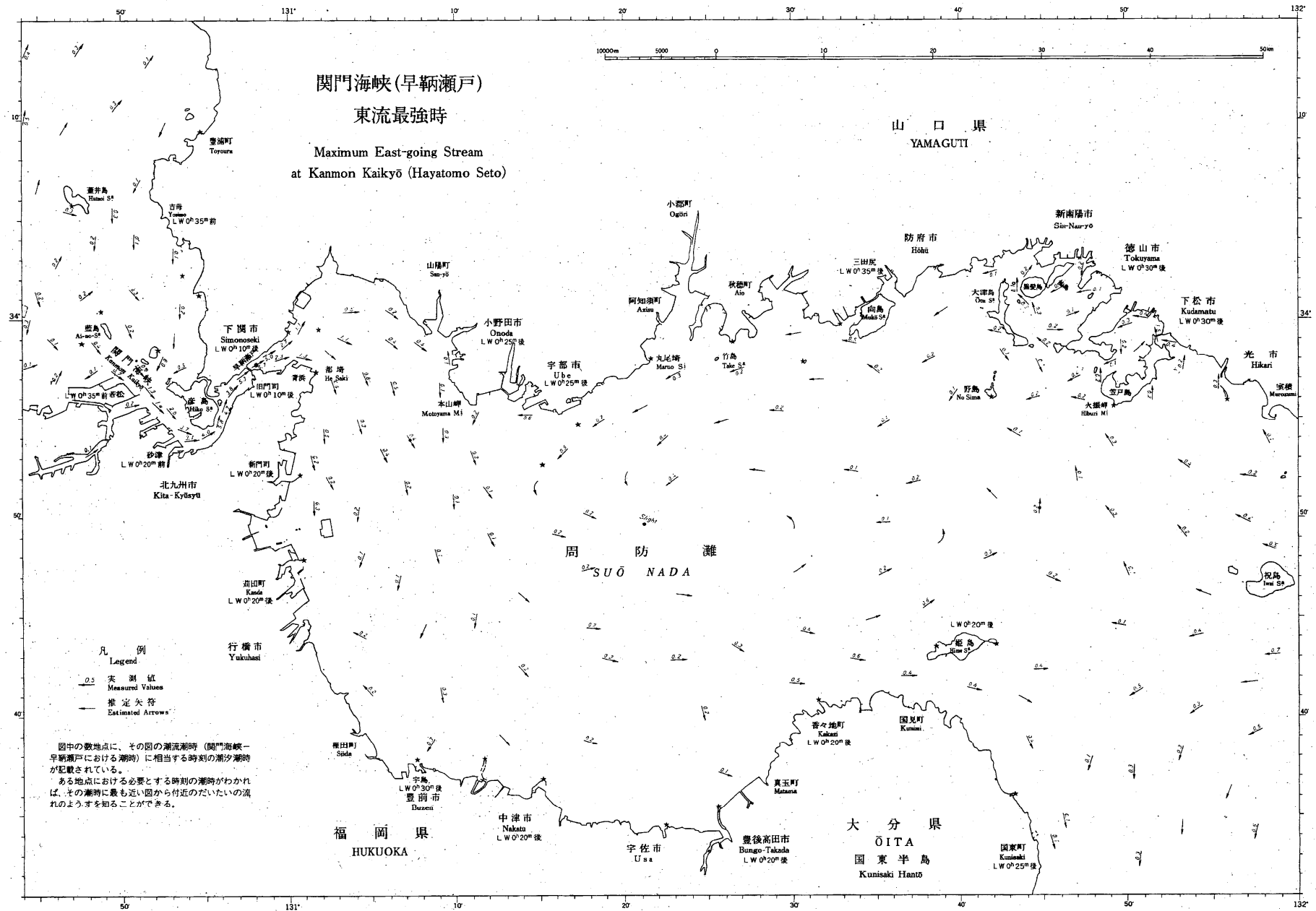
- ① 蛸ノ辻環流域
早瀬瀬戸東流の際に生ずる環流は、区域・中心及び流速とも、場合によって非常に異なることがある。蛸ノ辻側の太刀浦ふ頭前までは、早瀬瀬戸西流最強時ころから北東流をみるようになる。また、東流最強時ころからは、田野浦よりでは、蛸ノ辻の環流の区域にはいり南西流をみる。
- ② 早瀬瀬戸東流の際には反流を生じ、西流する。
- ③ 早瀬瀬戸の転流（西→東）時の約30分前後には、流向・流速とも不安定であるが、そのほかの時間には常に西進し、分流した一部は、沿岸に並流して門司埠頭前に達する。
- ④ この付近では、早瀬瀬戸転流（東→西）時の1時間前後を除き常に北流する。
- ⑤ 門司区環流域：下関区環流域
本流の盛衰にしたがって変化し、その区域・中心及び流速とも、場合によって異なることがある。
- ⑥ この付近では、西流の際に南東方に圧流する傾向がある。また、東流の際には反流を生じ、本流との境界には、所々渦を生ずる。
- ⑦ この付近では、西流最強時及びその後には、本流との境界に、所々渦を生ずる。
- ⑧ この付近では、早瀬瀬戸とほとんど同時に転流する。大潮期には、時として最強流速7knを超えることがある。流速の最強となる場所は、東流は、大里沖能率約400m付近で、西流は、ほぼ航路付近である。この瀬戸における流れは、ほとんど海岸に並流するが、彦島南端を回る余勢によって東岸に圧流する傾向がある。
- ⑨ この付近の距岸約200m以内では、東流最強の1時間前ころから東流末期まで、反時計回りの環流が発生する。転流（東→西）時は、早瀬瀬戸におけるよりも約1時間早い。

凡例
— 実測値
— 推定値

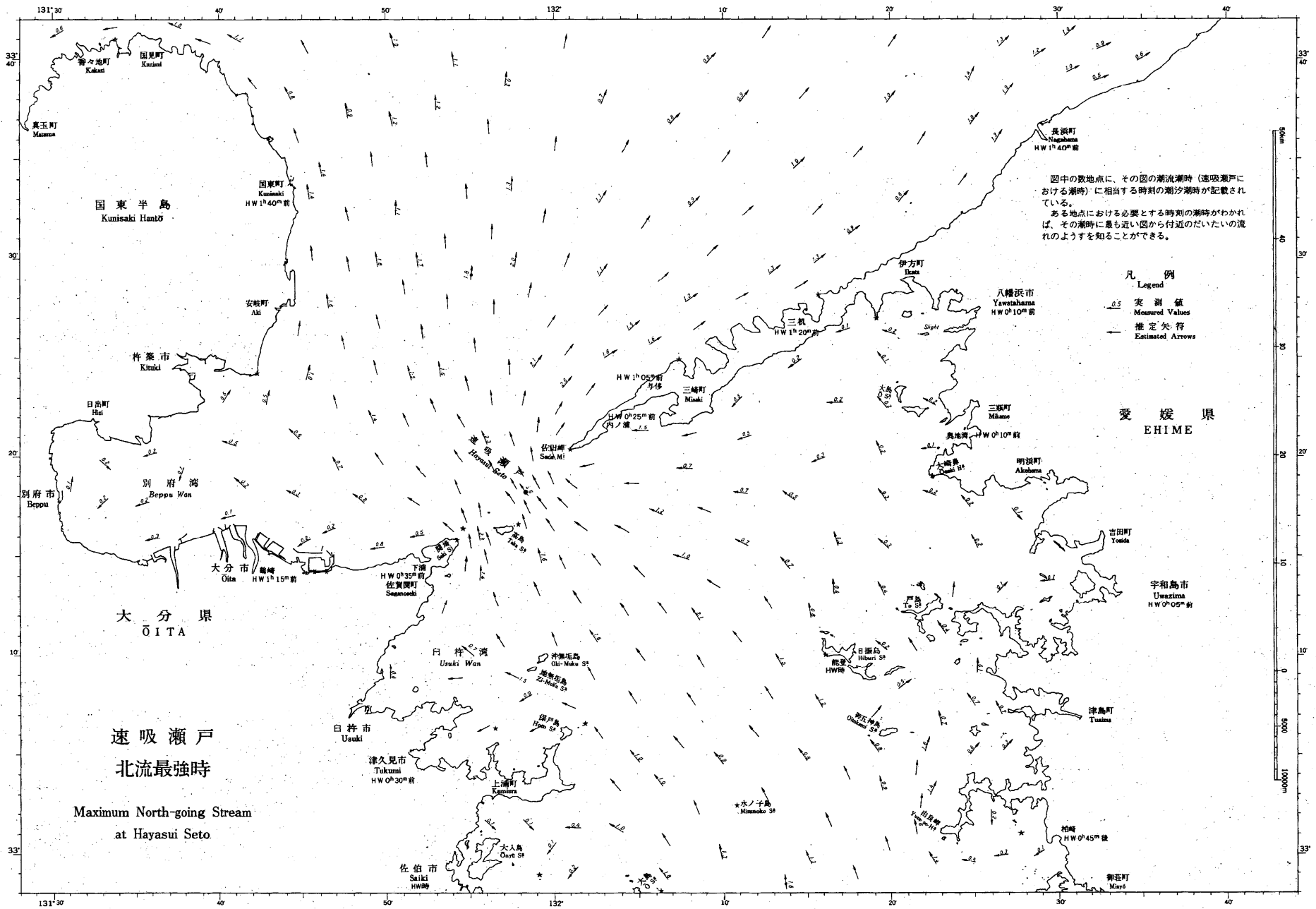
資料 13-2-1 周防灘潮流図 (関門海峡西流最強時)



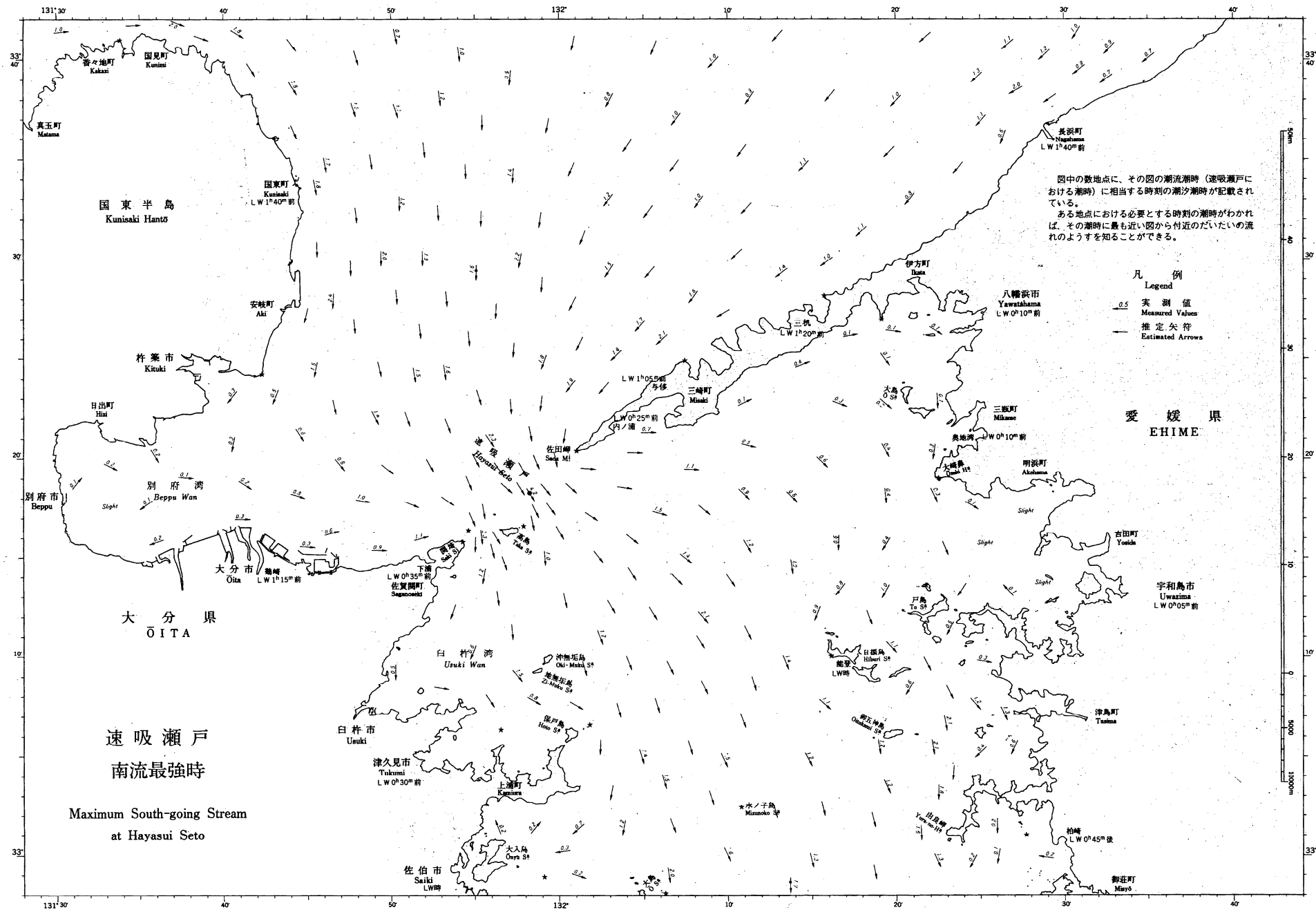
資料 13-2-2 周防灘潮流図（関門海峡東流最強時）



資料 13-3-1 速吸瀬戸潮流図 (北流最強時)

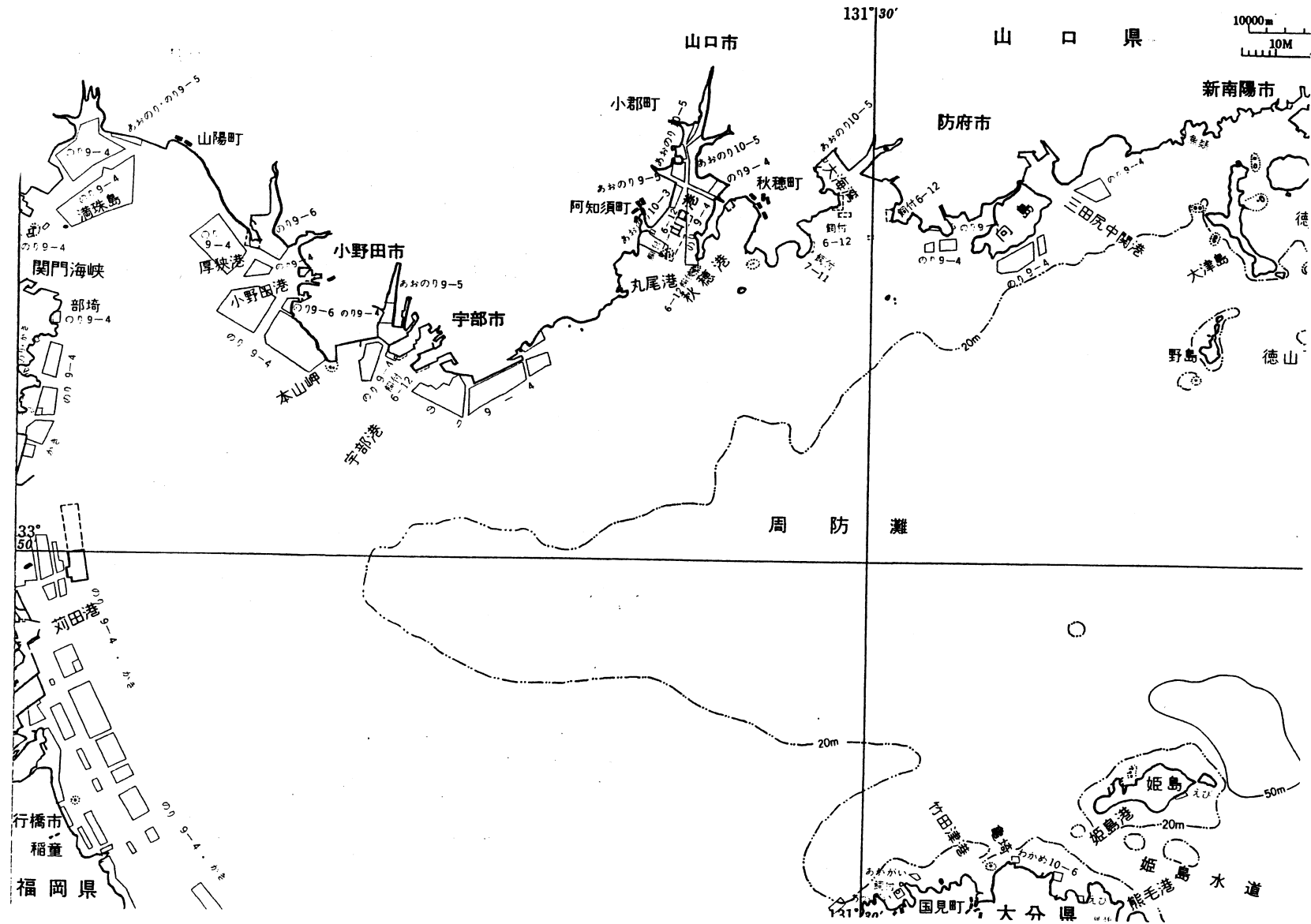


資料 1 3 - 3 - 2 速吸瀬戸潮流図 (南流最強時)



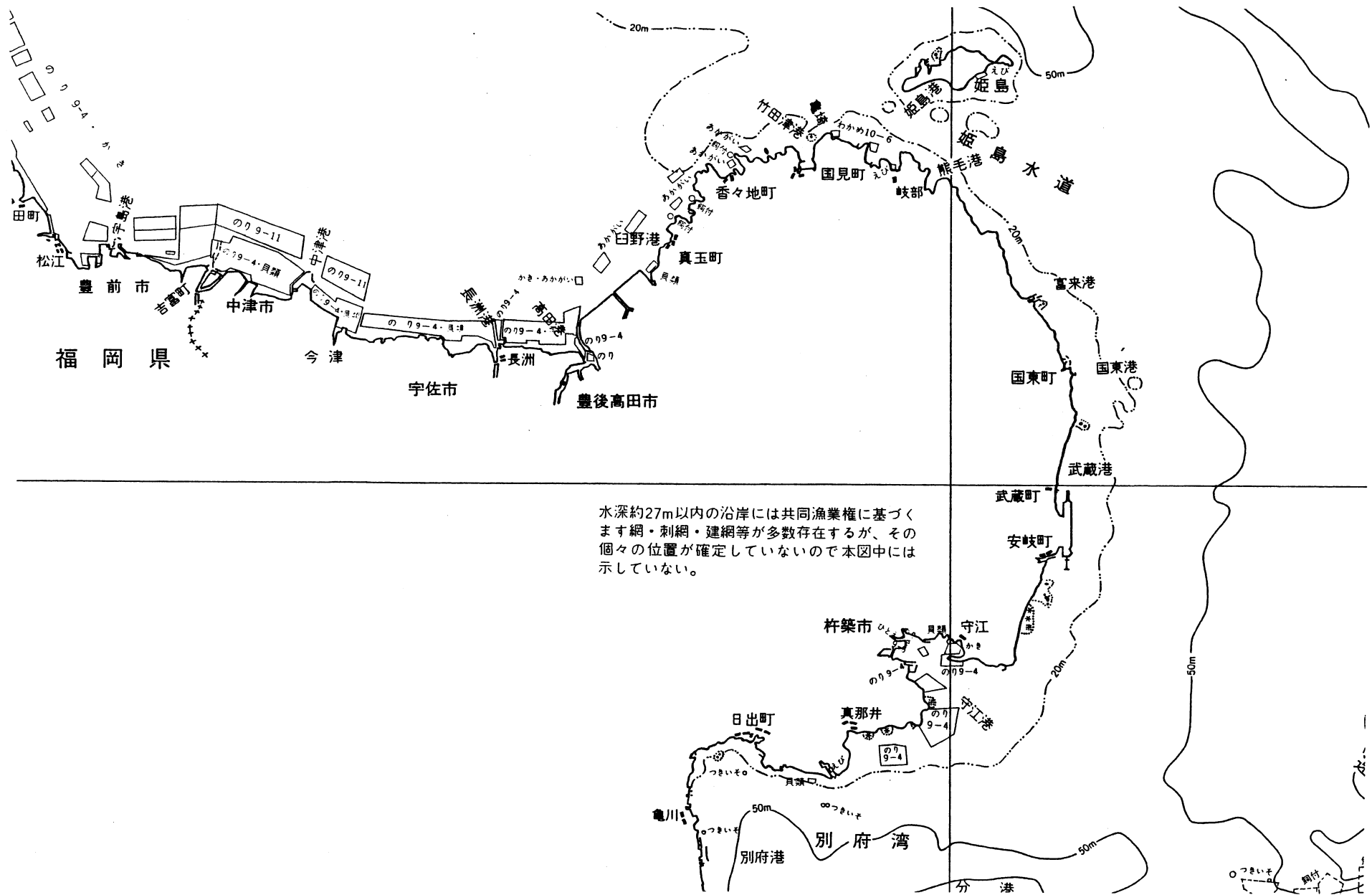
資料14 漁具定置箇所位置図

(1) 宇部～防府付近海域



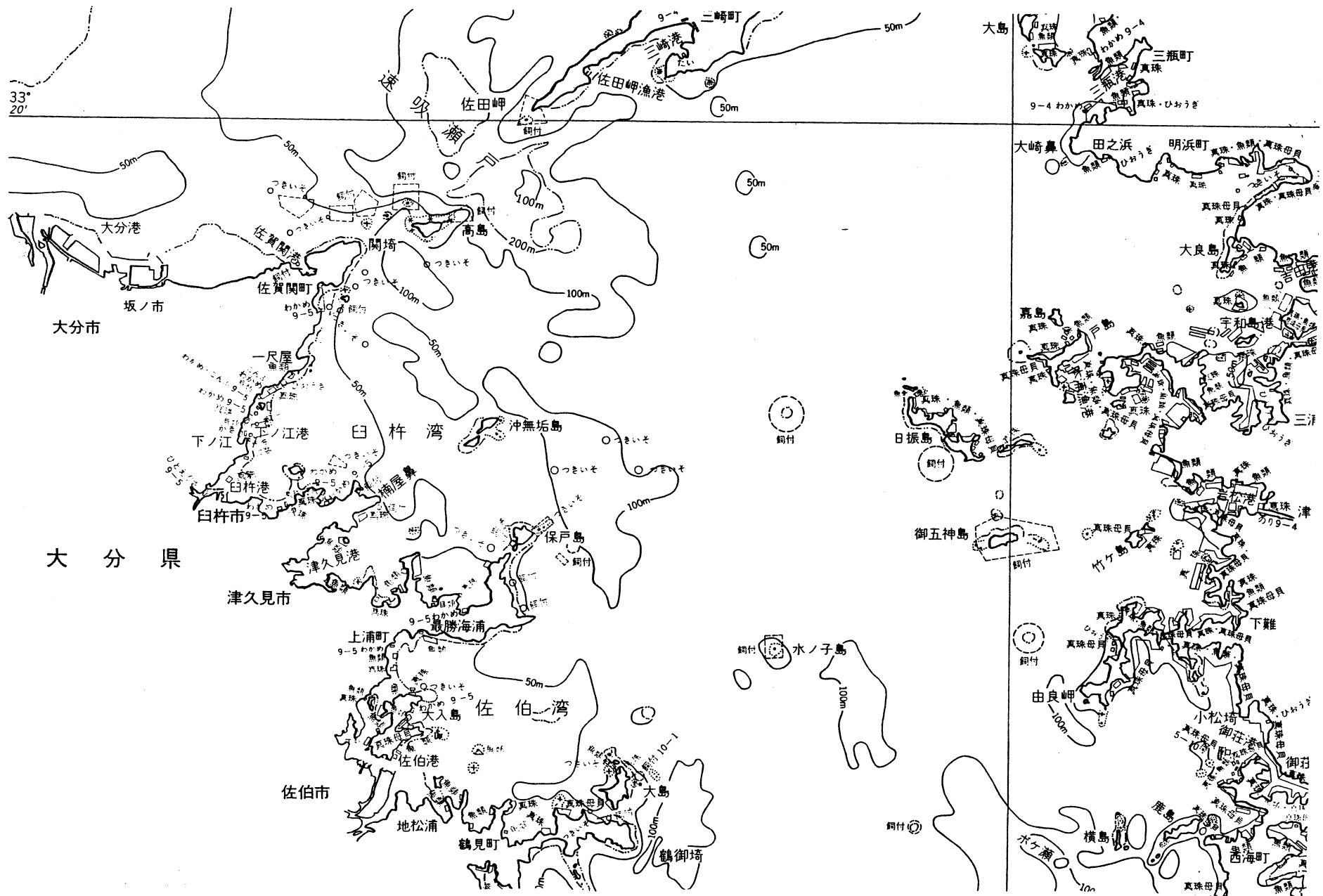
資料14 漁具定置箇所位置図

(2) 豊前～杵築付近海域



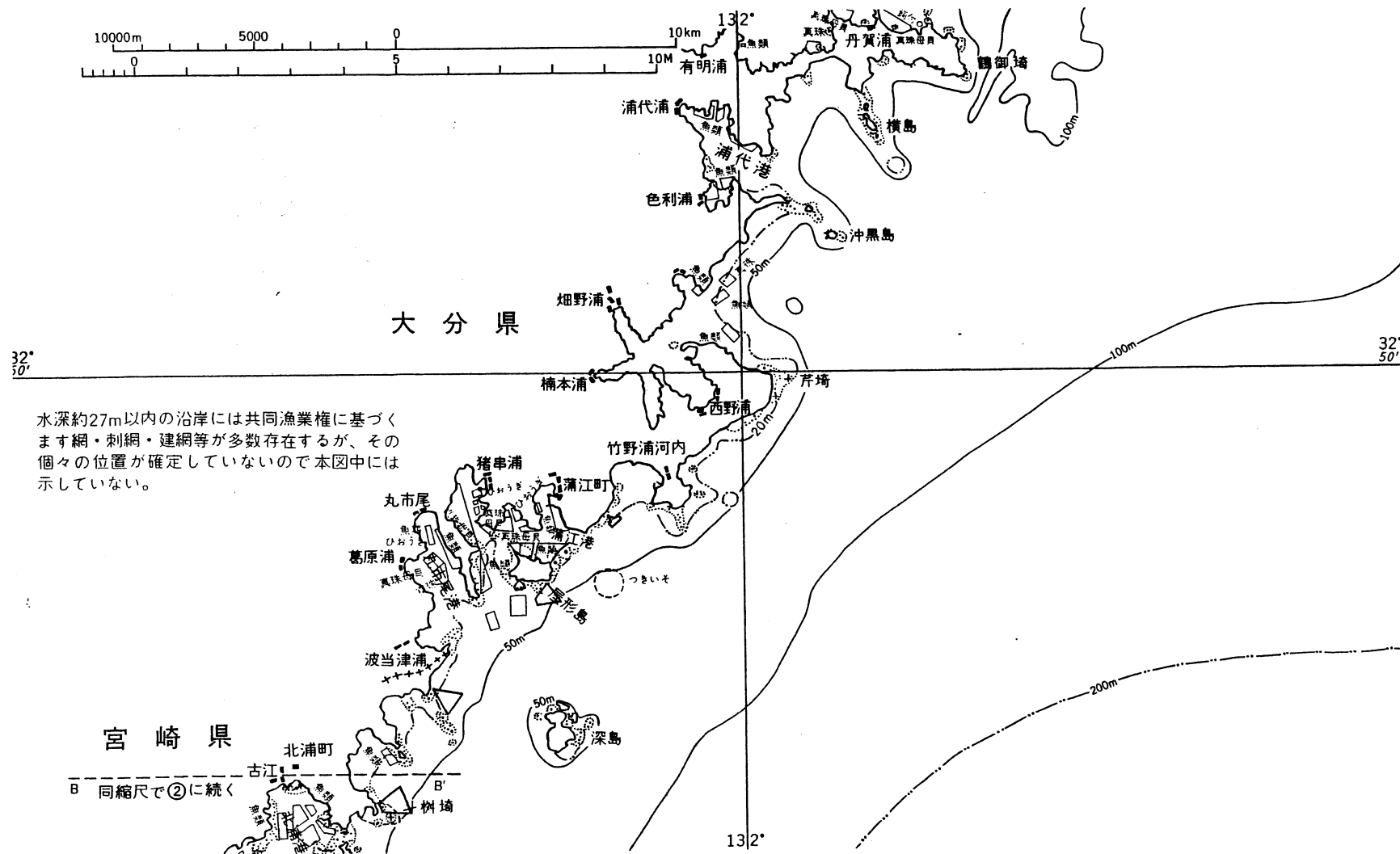
資料14 漁具定置箇所位置図

(3)大分～佐伯付近海域



資料14 漁具定置箇所位置図

(4) 鶴御埼付近海域



資料 1 5 海域周辺環境図



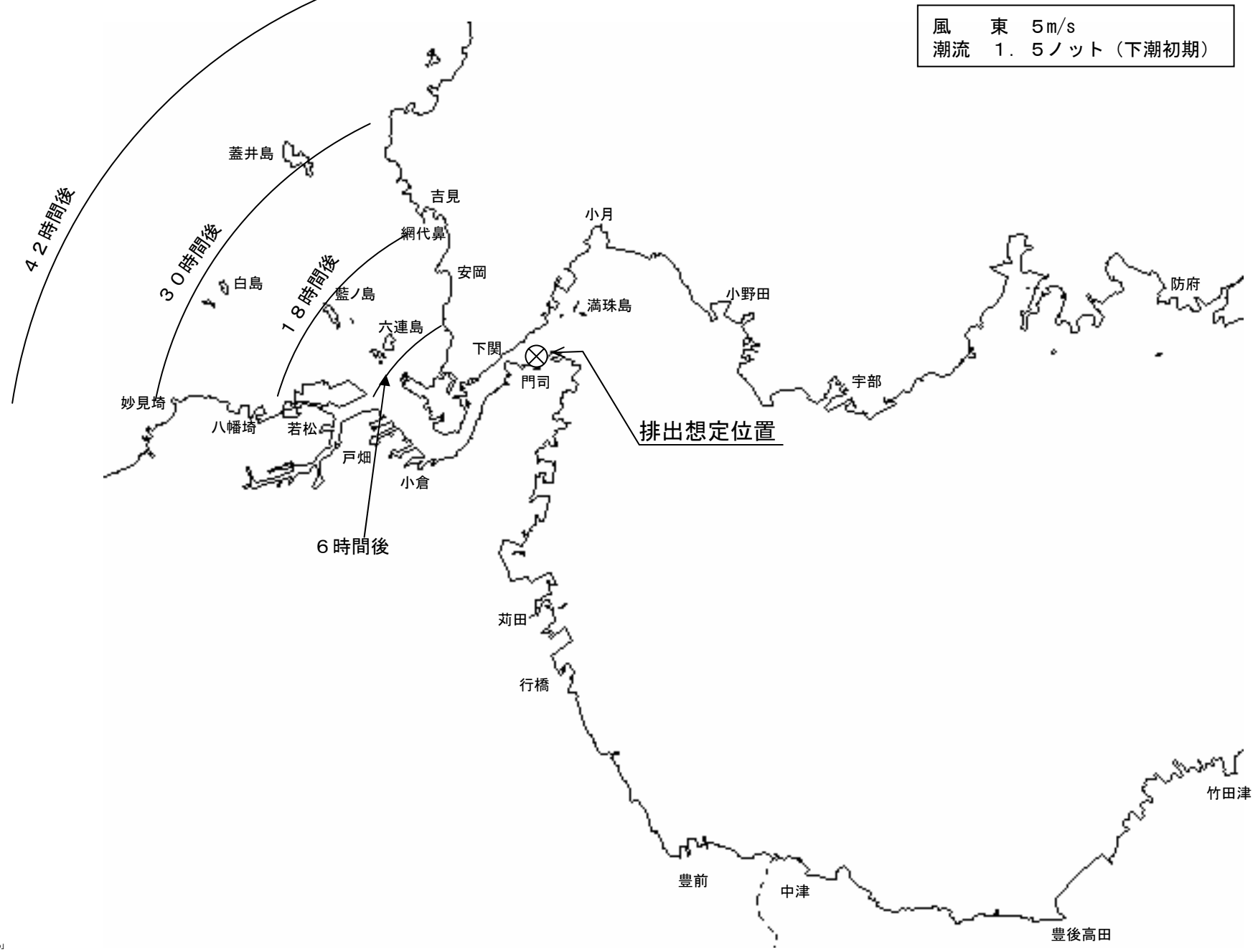
資料16-1 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定1）

パターン	経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6 時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	6 時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	
A 風 5m/s 東 潮流 1.5ノット 下げ潮初期	6	西 4,320	西 4,320	西 11,668	西 11,668	西 11,988
	12	〃 〃	〃 8,640	東 〃	〃 0	〃 5,640
	18	〃 〃	〃 12,960	西 〃	西 11,668	〃 24,628
	24	〃 〃	〃 17,280	東 〃	〃 0	〃 17,280
	30	〃 〃	〃 21,600	西 〃	西 11,668	〃 33,268
	36	〃 〃	〃 25,920	東 〃	〃 0	〃 25,920
	42	〃 〃	〃 30,240	西 〃	西 11,668	〃 41,908
	48	〃 〃	〃 34,560	東 〃	〃 0	〃 34,560
B 風 5m/s 西 潮流 1.5ノット 上げ潮初期	6	東 4,320	東 4,320	東 11,668	東 11,668	東 15,988
	12	〃 〃	〃 8,640	西 〃	〃 0	〃 8,640
	18	〃 〃	〃 12,960	東 〃	東 11,668	〃 24,628
	24	〃 〃	〃 17,280	西 〃	〃 0	西 17,280
	30	〃 〃	〃 21,600	東 〃	東 11,668	〃 33,268
	36	〃 〃	〃 25,920	西 〃	〃 0	〃 25,920
	42	〃 〃	〃 30,240	東 〃	東 11,668	〃 41,908
	48	〃 〃	〃 34,560	西 〃	〃 0	〃 34,560
C 風 5m/s 東 潮流 1.5ノット 下げ潮初期	6	東 4,320	東 4,320	西 11,668	西 11,668	西 7,348
	12	〃 〃	〃 8,640	東 〃	〃 0	東 8,640
	18	〃 〃	〃 12,960	西 〃	西 11,668	〃 1,292
	24	〃 〃	〃 17,280	東 〃	〃 0	〃 17,280
	30	〃 〃	〃 21,600	西 〃	西 11,668	〃 9,932
	36	〃 〃	〃 25,920	東 〃	〃 0	〃 25,920
	42	〃 〃	〃 30,240	西 〃	西 11,668	〃 18,572
	48	〃 〃	〃 34,560	東 〃	〃 0	〃 34,560
D 風 5m/s 西 潮流 1.5ノット 上げ潮初期	6	西 4,320	西 4,320	東 11,668	東 11,668	東 7,348
	12	〃 〃	〃 8,640	西 〃	〃 0	西 8,640
	18	〃 〃	〃 12,960	東 〃	東 11,668	〃 1,292
	24	〃 〃	〃 17,280	西 〃	〃 0	〃 17,280
	30	〃 〃	〃 21,600	東 〃	東 11,668	〃 9,932
	36	〃 〃	〃 25,920	西 〃	〃 0	〃 25,920
	42	〃 〃	〃 30,240	東 〃	東 11,668	〃 18,572
	48	〃 〃	〃 34,560	西 〃	〃 0	〃 34,560

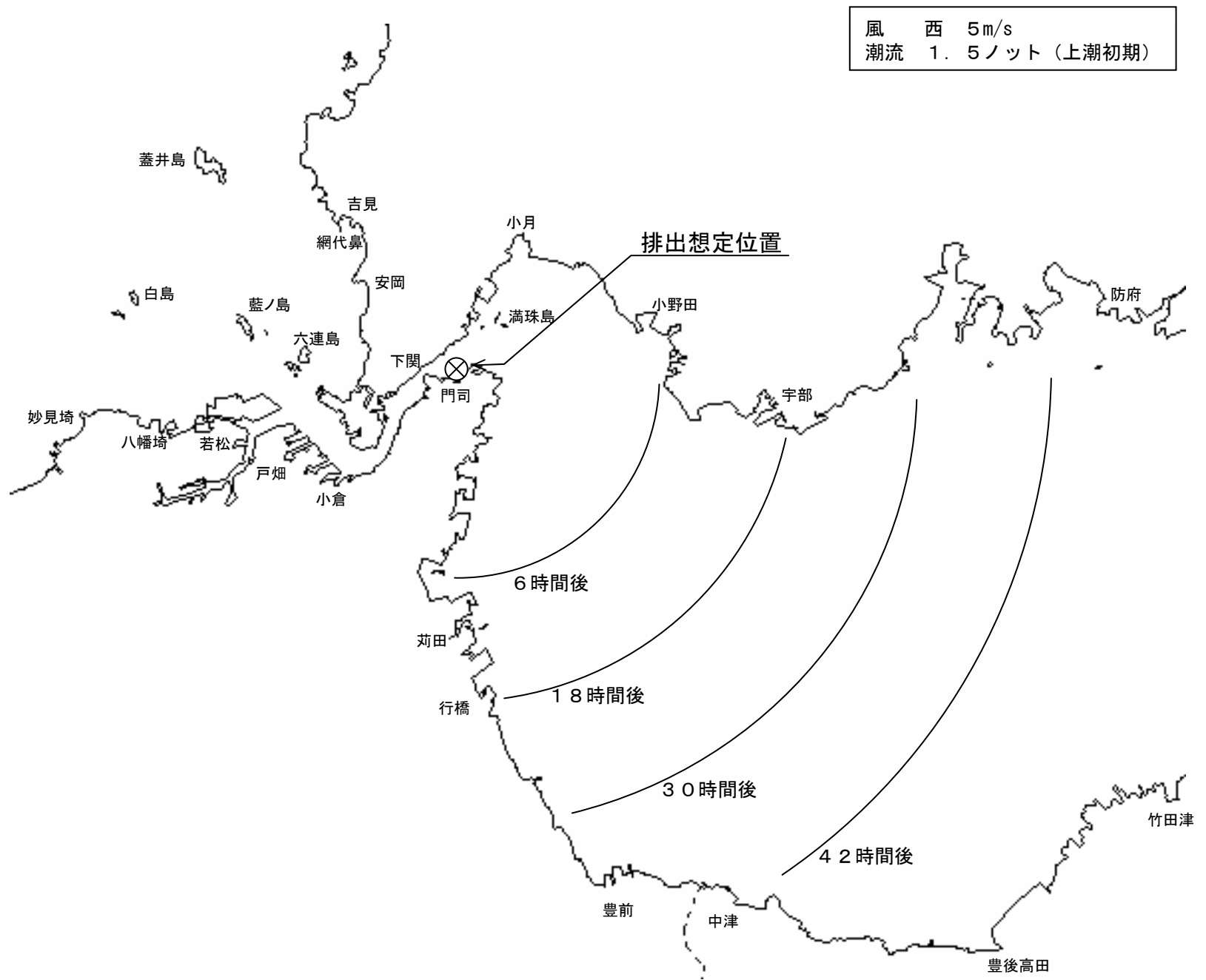
資料16-2 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定2）

パターン	経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	
A 風 5m/s 南 港内潮流1ノット 港外潮流2ノット 下げ潮初期	6			東 7,778	東 7,778	東 7,778
	12			〃 〃	〃 15,556	〃 15,556
	18			〃 〃	〃 23,334	〃 23,334
	24	北 4,320	北 4,320	北 15,557	北 15,557	北 19,877
	30	〃 〃	〃 8,640	南 〃	〃 0	〃 8,640
	36	〃 〃	〃 12,960	北 〃	北 15,557	〃 28,517
	42	〃 〃	〃 17,280	南 〃	〃 0	〃 17,280
	48	〃 〃	〃 21,600	北 〃	北 15,557	〃 37,157
B 風 5m/s 北 港内潮流1ノット 港外潮流2ノット 上げ潮初期	6			東 7,778	東 7,778	東 7,778
	12			〃 〃	〃 15,556	〃 15,556
	18			〃 〃	〃 23,334	〃 23,334
	24	南 4,320	南 4,320	南 15,557	南 15,557	南 19,877
	30	〃 〃	〃 8,640	北 〃	〃 0	〃 8,640
	36	〃 〃	〃 12,960	南 〃	南 15,557	〃 28,517
	42	〃 〃	〃 17,280	北 〃	〃 0	〃 17,280
	48	〃 〃	〃 21,600	南 〃	南 15,557	〃 37,157
C 風 5m/s 北 港内潮流1ノット 港外潮流2ノット 下げ潮初期	6			東 7,778	東 7,778	東 7,778
	12			〃 〃	〃 15,556	〃 15,556
	18			〃 〃	〃 23,334	〃 23,334
	24	南 4,320	南 4,320	北 15,557	北 15,557	北 11,237
	30	〃 〃	〃 8,640	南 〃	〃 0	南 8,640
	36	〃 〃	〃 12,960	北 〃	北 15,557	北 2,597
	42	〃 〃	〃 17,280	南 〃	〃 0	南 17,280
	48	〃 〃	〃 21,600	北 〃	北 15,557	〃 6,043
D 風 5m/s 南 港内潮流1ノット 港外潮流2ノット 上げ潮初期	6			東 7,778	東 7,778	東 7,778
	12			〃 〃	〃 15,556	〃 15,556
	18			〃 〃	〃 23,334	〃 23,334
	24	北 4,320	北 4,320	南 15,557	南 15,557	南 11,237
	30	〃 〃	〃 8,640	北 〃	〃 0	北 8,640
	36	〃 〃	〃 12,960	南 〃	南 15,557	南 2,597
	42	〃 〃	〃 17,280	北 〃	〃 0	北 17,280
	48	〃 〃	〃 21,600	南 〃	南 15,557	〃 6,043

資料17-1-1 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定1 パターンA)



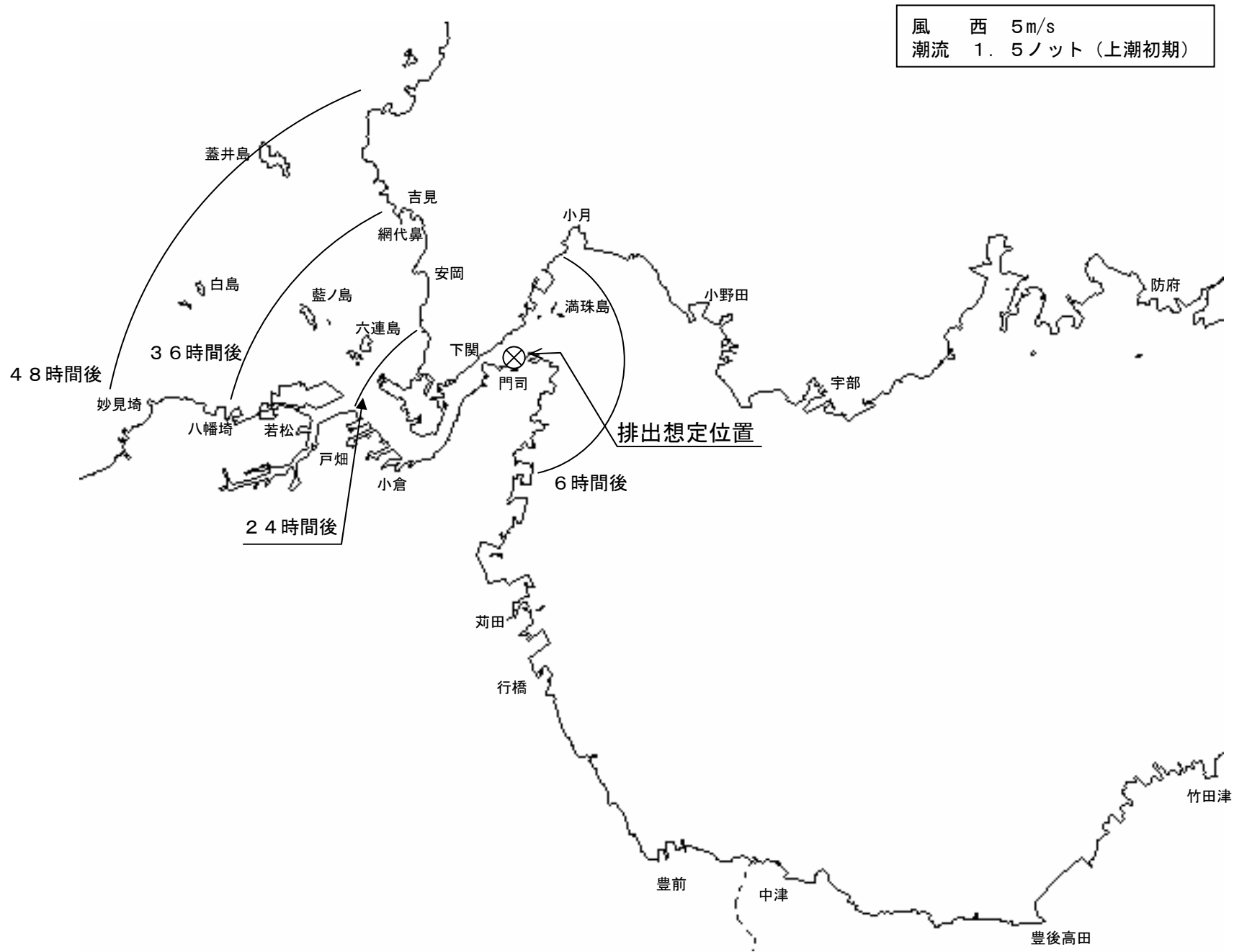
資料17-1-2 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定1 パターンB)



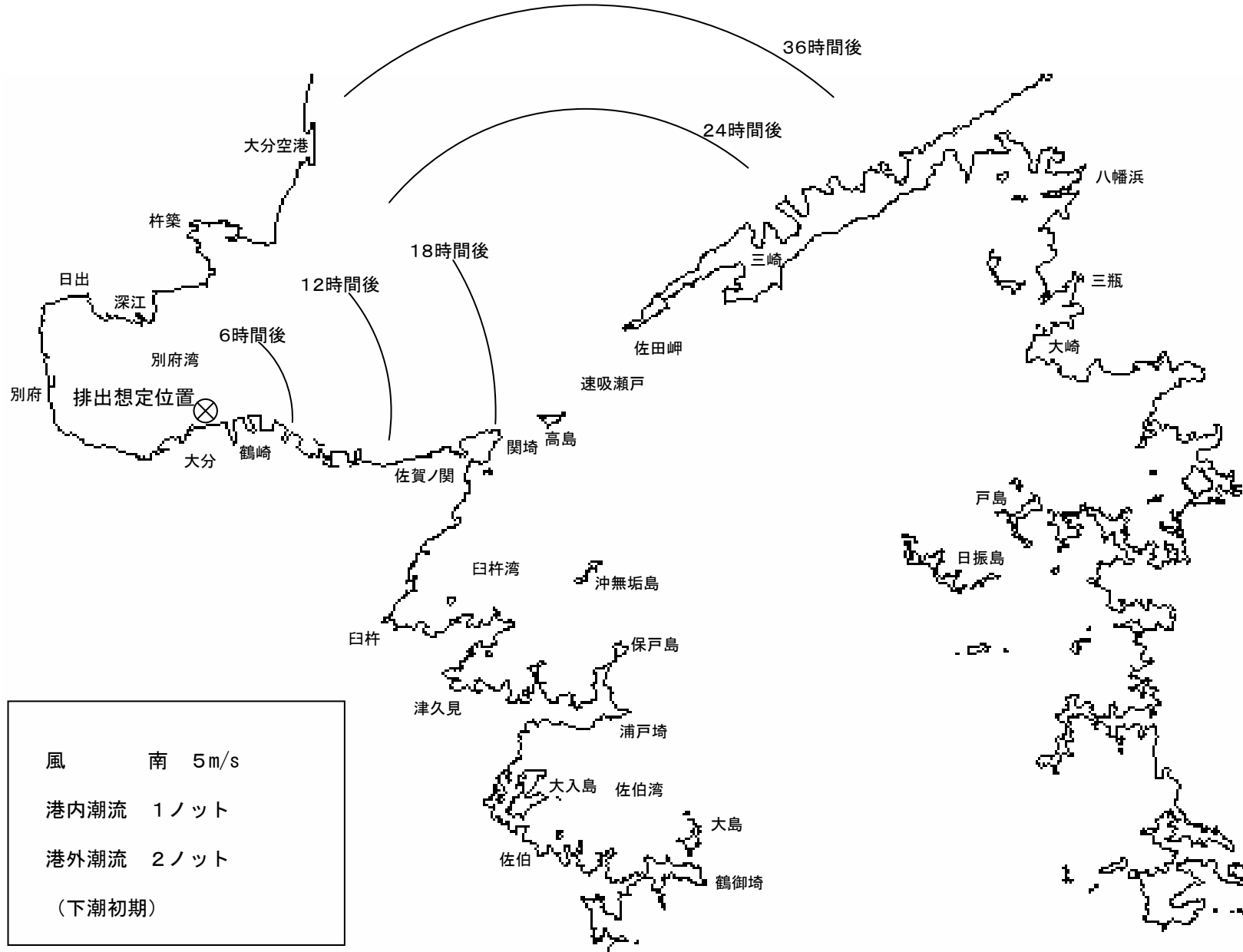
資料17-1-3 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定1 パターンC)



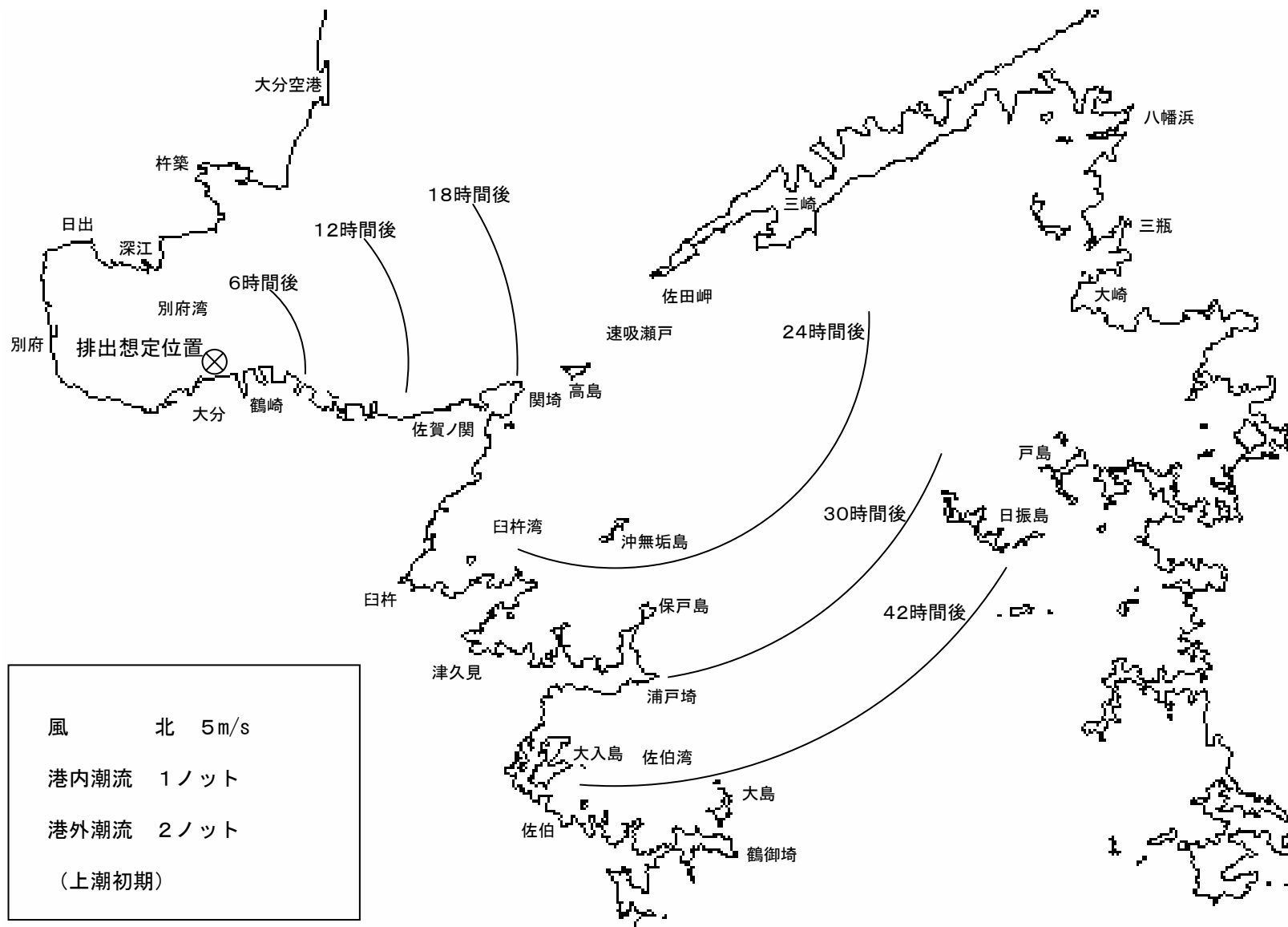
資料17-1-4 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定1 パターンD)



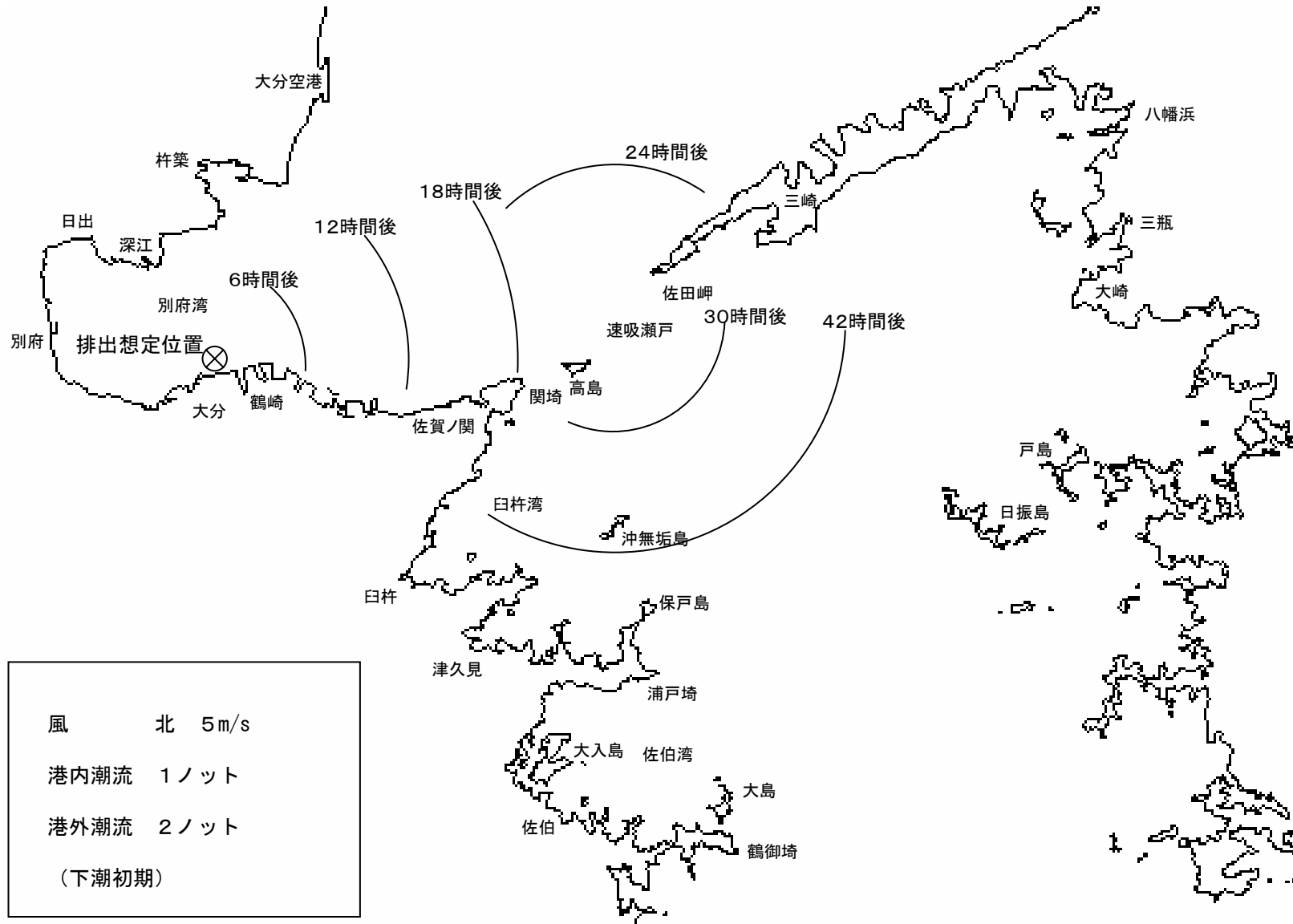
資料17-2-1 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定2 パターンA)



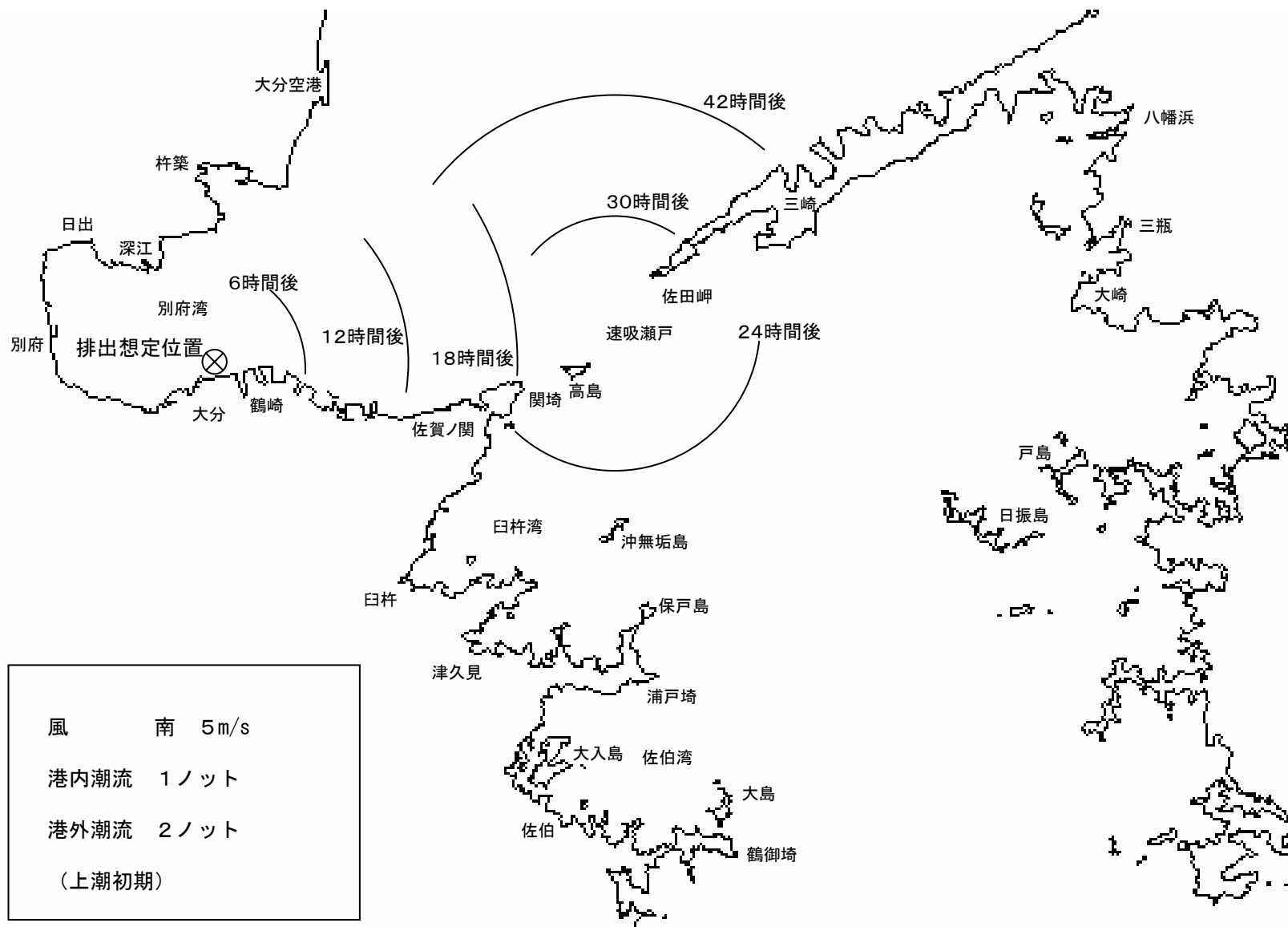
資料17-2-2 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定2 パターンB)



資料17-2-3 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定2 パターンC)



資料17-2-4 風・潮流による海洋汚染想定図 (想定2 パターンD)



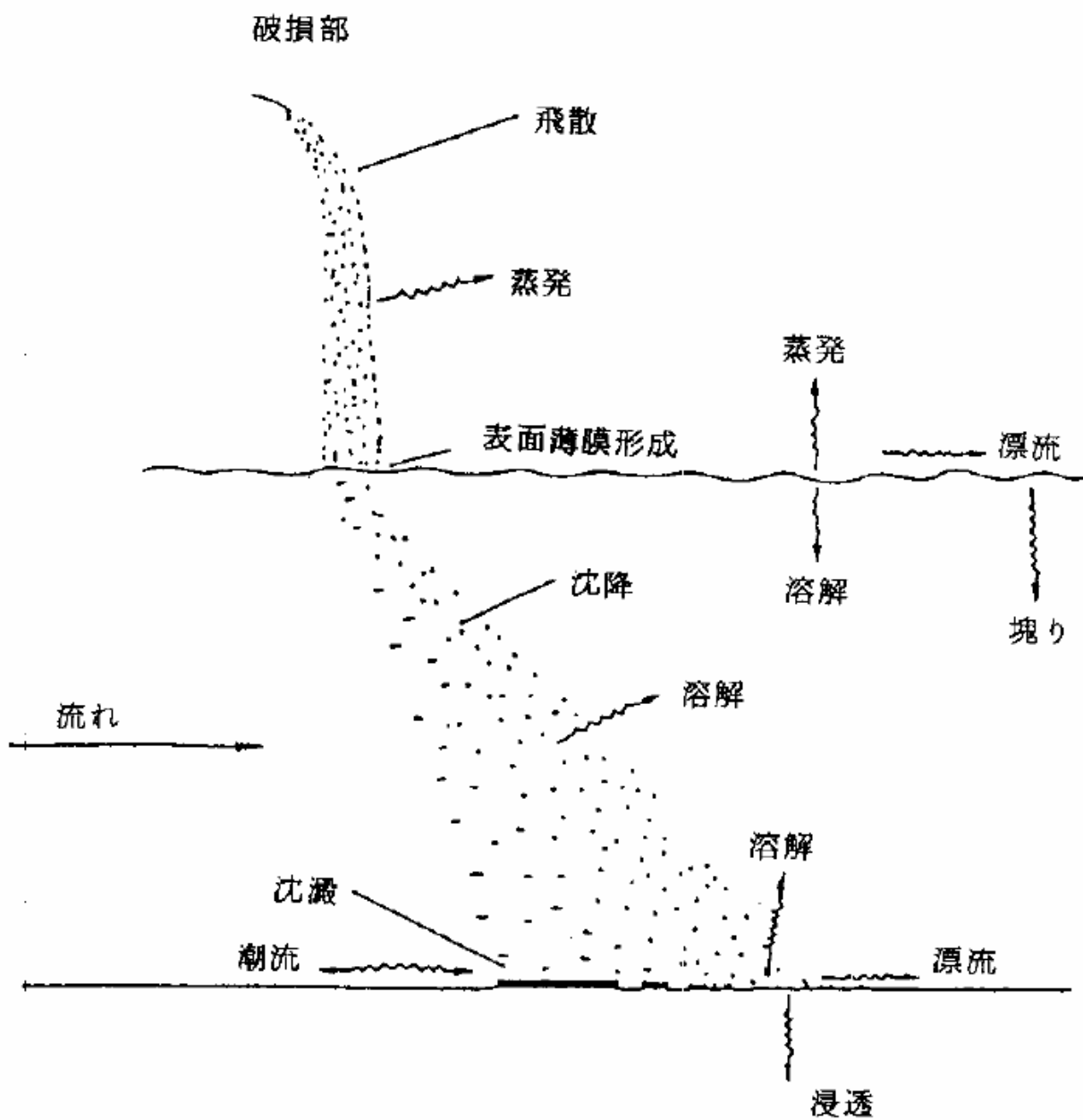
資料18 有害液体物質の挙動による分類

挙動による分類		物質名
蒸発性物質	短時間で大気中に蒸発する物質 (比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg以上の物質)	ベンゼン、メタノール(メチルアルコール)、トルエン、シクロヘキサン、アクリロニトリル、メタクリル酸メチル、エタノール(エチルアルコール)、アセトン、酢酸ビニル、酢酸エチル、メチルエチルケトン、プロパノール(プロピルアルコール)、ヘキサン、アクリル酸メチル、ジメチルアミン
海面浮遊性物質	長時間にわたって海上に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg未満のもの)	キシレン、スチレン、プロピルベンゼン、オクタノール(オクチルアルコール)、オクテン、ジイソプロピルベンゼン、アルキルベンゼン、フタル酸ジオクチル、アクリル酸2エチルヘキシル、ノナノール(ノニアルアルコール)、プロピレン四量体、アクリル酸エチル、アルファメチルスルホン酸、ヘプタン、ブチルアルデヒド、メタクリル酸ブチル、エチルベンゼン、ジイソブチレン、ウンデカノール(ウンデシアルコール)、パーム油脂脂肪酸(ヤシ油脂脂肪酸)、ジペンテン、塩化アリル、イソホロン
海中漂流性物質	長時間にわたって海中に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水と同じもの)	1,3-シクロペンタジエン二量体
沈降性物質	長時間にわたって海底に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より重いもの)	ジクロロエタン(1,3-ジクロロエタン)、ジフェニルメタンジイソシアネート、エピクロロヒドリン、クロロホルム、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、オルトクロロニトロベンゼン
溶解性物質	短時間で海水中へ溶解する物質 (蒸発性物質に該当しない可溶性物質)	ブタノール(ブチルアルコール)、酢酸、フェノール、水酸化カリウム溶液、エチレングリコール、シクロヘキサノール、アクリル酸、アニリン、酢酸ブチル、ブチレングリコール、メチルブチルケトン、無水酢酸、アセトンシアノヒドリン、ジクロロメタン、ソルビトール溶液、クレゾール、トルエンジイソシアネート、アリルアルコール、ヘキサメチルジアミン溶液、ジメチルホルムアミド、メタクリル酸、ジエチレングリコール、ノン、ホルムアルデヒド溶液、エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート、キシレノール、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート、トリエタノールアミン、水酸化ナトリウム、ジエタノールアミン、エチレングリコールジアセテート、ジプロピレングリコール、燐酸、エタノールアミン、硫化水素ナトリウム水溶液、酢酸2エトキシエチル、ヘプタノール(ヘプチルアルコール)、ジアセトンアルコール、アルキルベンゼンスルホン酸

資料 1 9 有害液体物質の分類・品目別取扱量（輸送量上位 1 0 品目）

物質 順位	X類物質		Y類物質		Z類物質	
	取扱品目	取扱量（t）	取扱品目	取扱量（t）	取扱品目	取扱量（t）
1	コールタール	714,438	キシレン	2,805,279	ブタノール〔ブチルアルコール〕	302,484
2	クレオソート（コールタールより得られたものに限る。）	491,191	ベンゼン（濃度が10重量%以上の粗製ベンゼンを含む。）	1,978,547	酢酸	263,329
3	ジイソプロピルベンゼン	46,251	スチレン	1,328,604	エタノール〔エチルアルコール〕	252,413
4	フタル酸ジオクチル	41,619	メタノール〔メチルアルコール〕	760,825	アセトン	216,907
5	ナフタレン	36,106	トルエン	695,212	酢酸エチル	141,813
6	アルキルベンゼン（炭素数が4から8）	29,072	シクロヘキサン	466,084	メチルエチルケトン	106,230
7	プロピレン四量体	26,248	アクリロニトリル	370,367	ブチレングリコール	46,238
8	アルファオレフィン	17,407	メタクリル酸メチル	274,474	アルキルベンゼン（炭素数が9以上）	42,651
9	フタル酸ジアルキル（炭素数が7から13）	16,909	フェノール	243,702	無水酢酸	40,947
10	ヘプタン	15,482	水酸化カリウム溶液	241,855	ポリプロピレングリコール	16,147

資料 2 0 流出後の物質の分散経路



資料21 排出油防除資材等保有状況

(1) 油回収船

平成19年10月1日現在

担当部署	船名	機関名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	回収方式	回収能力 (kL/h)	貯油能力 (kL)	保有資機材						消火設備			備考	
									オイルフェンス (m)		油処理剤 (L)		油吸着材 (Kg)		油ゲル化剤 (Kg、L)		放水量 (L/分×基)		泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)
門司	仁徳	南仁徳海運	99	14	沿海	吸引式	50	0	B	720	G	2,700	M	20	0	12,000×1	12,000×1 5,400	45×1 2,000	
門司	防災1号	西部マリン・サービス㈱ (海上災害防止センター)	150	非自航		堰式	70	50	B	2,000	G	14,310	M	3,788					搭載資機材については海上災害防止センター所有
門司	かいゆう2	日新タンカー㈱	10	8	平水	スター	13	9			G	360	M	50					
宇部	有帆	西部石油㈱ 山口製油所 (西部マリンサービス)	127	12	沿海	導入 (傾斜板)	58	30			G	1,860	M	60		6,000	6,000 4,950		
門司	海翔丸	国土交通省 九州地方整備局 関門航路工事事務所	4663	13.3	近海(国際)	遠心分離 堰式	500×2 200×2	1500											同時使用不可
門司	がんにゅう	国土交通省 九州地方整備局 関門航路工事事務所	195	14.5	沿海	吸引	25	20								1,000×2			
大分	スター	九州石油㈱ 大分製油所	65	10	平水	導入 (傾斜板)	60	4	A	100	G	180	M	120		10,000	10,000 7,500		

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(ℓ)

(2) 油回収装置

平成19年10月1日現在

担当 部署	機関名	装置名	製造者	基 数	回収方式	回収 能力 (KL/h)	船舶 積載の 可否	装置を積載する船舶			備考
								船名	装置の 固定方法	回収油貯蔵タンク 容量(kl×基)	
門司	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD ガテリス株式会社	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×2 (ファスタンク・ラビット)	
門司	海上保安庁	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング株式会社 (日本パベル株式会社)	1	堰式	7	可	巡視船艇		0.75×1	
門司	海上災害防止センター	TRANSREC_250	FRAMO (Frank Mohn Flatoy A/S)	1	堰式、付着式	250	可	航洋丸	甲板上固定	可搬式10×1 船内100×1	
門司	海上災害防止センター (西部マリン・サービス)	TDS-200	FOILEX 株式会社	1	堰式	70	可	防災1号	クレーンによる 吊下げ	50	(回収能力は回収船に計上)
門司	出光興産株式会社	SLURP	AMBLER ENGINEERING 株式会社	1	吸引式	12	否				
大分	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD ガテリス株式会社	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×2 (ファスタンク・ラビット)	
大分	九州石油株式会社	カッパー・フオートサクション	日本カッパー工業 (山水商事株式会社)	2	フオートサクション式	27	可	ストーク	甲板上固定	船内2×2	
大分	九州石油株式会社	YD-40LS	株式会社ケミカル	1	フオートサクション式	6	可	ストーク	甲板上固定	船内2×2	

(3) 高粘度油回収ネット

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	ネット名称	製造者	網目の大きさ (mm)	ネット個数 (個)	本体個数 (個)	備考
門司	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
門司	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	30	3	
宇部	西部マリンサービス(株)	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
若松	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
大分	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	1	1	
大分	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	4	1	
大分	海上災害防止センター	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	大分基地

(4) オイルフェンス展張船

平成19年10月1日現在

担当 部署	船名	機関名	総トン数又 は大きさ (全長×型幅 型深(m))	自航 能力	速力 (ノット)	航行 区域	保有資機材							展張 速度 (m/分)	巻揚 装置	備考
							オイルフェンス			油処理剤 (ℓ)	油吸着材 (Kg)	油ゲル化 剤 (Kg、ℓ)				
							名称	型	長さ (m)							
門司	M116	海上保安庁	45	非自航				B	600					40	有	
門司	仁徳	(有)仁徳海運	99	自航	14	沿海	KF-3B	B	720	G	2,700	M	20	500	無	
門司	第7仁徳	(有)仁徳海運	11	自航	10	沿海		A	200	G	180	M	20	600	無	
門司	博丸	福島海運(株)	19	自航	13	沿海		A	200					50	無	
門司	くぼて	九州電力(株) 豊前発電所	100	自航	12	沿海		B	300	G	2,500	M	117	45	有	西部マリンサービス(株)
門司	彦油丸	西部マリンサービス(株)	12	自航	9	平水	KF-2A	A	120	G	900	M	175	50	無	
							MF-30S-4	B	120							
宇部	高千帆	西部マリンサービス(株)	19	自航	12	沿海		A	200	G	500	M	100	30	無	
門司	防災1号	海上災害防止センター	150	非自航				B	2,000	G	8,010	M	3,208		無	非自航式防災艇 資機材は防災センター
宇部	防災2号	海上災害防止センター	150	非自航				B	2,000	G	8,010	M	3,200		無	非自航式防災艇 資機材は防災センター
宇部	江汐	西部マリンサービス(株) (西部石油(株)山口製油所)	199	自航	13	沿海		B	500	G	3,250	M	700	30	無	
宇部	赤崎	西部マリンサービス(株) (西部石油(株)山口製油所)	101	自航	11	沿海		B	600	G	3,900	M	50	40	有	
若松	楢山丸	三菱化学(株) 黒崎事業所	240	自航	14	沿海		C	240	G	220	M	68		無	
大分	ストーク	九州石油(株) 大分製油所	65	自航	10	平水		A	100	G	180	M	120	40	有	
大分	つるさき	海上災害防止センター	30×6× 2.58m	非自航				B	3,000	G	5,400	M	2,602	30	無	非自航式防災艇 資機材は防災センター

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(ℓ)

(5) オイルフェンス、油処理剤、油吸着材、油ゲル化剤等

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルネット	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg, L)	
門司	海上保安庁	B	600	G	1,314	23	M	272			
門司	海上保安庁			D	1,062		O	180			
門司	海上保安庁			S	360						
門司	海上保安庁			G	180		M	20			
門司	海上保安庁	B	900	G	396			85			
門司	山口県消防防災課	A	3,420	G	4,990		M	6,491			
門司	山口県消防防災課	B	2,340								
門司	山口県下関水産振興局	A	340	G	549		M	221			
門司	下関市生活安全課	B	860	G	9,972		M	4,929			
門司	福岡県	A	380	G	360		M	150			
門司	福岡県	B	1,120								
門司	北九州市港湾局	A	300	G	2,880		M	830			
門司	京築広域圏消防本部			G	600		M	306			
門司	遠賀郡消防本部	A	40	G	225		M	180			
門司	出光興産(株)門司油槽所	A	720	G	756		M	442			
門司	三井物産エネルギー物流(株)門司油槽所	B	660	G	2,500		M	1,000			
門司	三井物産エネルギー物流(株)小倉油槽所	A	360	G	690		M	170			
門司	東西オイルターミナル(株)北九州油槽所	B	820	G	990		M	306			
門司	シヤンオイルネットワーク(株)小倉油槽所	B	560	G	1,056		M	260			
門司	兼松油槽(株)小倉油槽所	B	660	G	2,412		M	965			
門司	東西オイルターミナル(株)小倉油槽所	B	540	G	1,944		M	642			
門司	港南(株)下関油槽所	A	300	G	300						
門司	日新タンカー(株)	B	1,620	G	5,364		M	2,715			
門司	日興石油(株)	B	400	G	450		M	150			
門司	林兼石油(株)下関支店彦島油槽所	A	300	G	900		M	250			
門司	中国精油(株)新門司工場	B	40	G	540		M	30			
門司	丸紅エネックス(株)門司ターミナル	B	200	G	234		M	85			
門司	(株)住友金属小倉	B	1,200	G	1,700		M	549			
門司	麻生ファージメント(株)苅田工場	A	280	G	360		M	200			
門司	麻生ファージメント(株)苅田工場	B	140								
門司	宇部興産(株)建設資材カンパニー生産技術本部苅田セメント工場	B	400	G	550		M	259			
門司	九州電力(株)苅田発電所	B	460	G	540		M	500			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルシート	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg, L)	
門司	九州電力(株)豊前発電所	B	1,650	G	5,506		M	711			
門司	中国電力(株)下関発電所	B	660	G	756		M	314			
門司	中国電力(株)新小野田発電所	B	460	G	396		M	390			
門司	(株)ブリヂストン下関工場	A	260	G	720		M	40			
門司	三菱マテリアル(株)九州工場	B	200	G	450		M	200		100	
門司	(株)神戸製鋼所長府製造所	A	300	G	500		M	400			
門司	下関三井化学(株)	A	360	G	756		M	200			
門司	彦島製錬(株)	A	200	G	342		M	130			
門司	日本ゲリース(株)下関工場	A	200	G	486		M	67			
門司	三菱重工業(株)下関造船所	A	1,050	S	100		M	50			
門司	太平洋マテリアル(株)小野田工場	A	300	G	360		M	170			
門司	協和発酵工業(株)宇部工場	A	300				M	360			
門司	日本サルヴェージ(株)門司支店	B	880	G	5,500		M	440			
門司	深田サルヴェージ建設(株)九州支店	A	400	G	1,800		M	350			
門司	(株)仁徳海運	B	500	G	540		M	150			
門司	吉浦海運(株)	A	20	G	100						
門司	製鉄曳船(株)			G	540						
門司	西部マリンサービス(株)下関事業所	B	2,340	G	12,510		M	3,788			
門司	(株)中野油脂研究所	A		G	1,000		M	300			
門司	福島海運(株)	B	200	G	2,000		M	30			
門司	(株)エケルヤマミズ 西日本支社	A		G	1,800						
門司	(株)オース北九州営業所	A			16,000		M	5,100			
宇部	西部石油(株)山口製油所	B	2,200	G	10,816		M	3,102			
宇部	山口県宇部港湾管理事務所		770	G	700		M	355			
宇部	山陽地区消防本部	B	200	G	9		M	22			
宇部	山陽小野田市消防本部	A	80	G	1,175		M	110			
宇部	宇部マテリアルズ(株)宇部工場	A	400	G	300		M	232			
宇部	戸田工業(株)小野田事業所	A	200	G	54		M	187			
宇部	セントラル硝子(株)宇部工場	A	400	G	810		M	400			
宇部	宇部アンモニア工業(株)	B	580	G	900		M	86			
宇部	UMG ABS(株)宇部工場	B	400	G	702		M	153			
宇部	チカ工業(株)宇部工場	A	200	G	126		M	420			
宇部	宇部興産(株)宇部ケガル工場	B	560	G	540		M	191			
宇部	宇部興産(株)宇部ケガル工場	B	570	G	360		M	260		36	
宇部	宇部興産(株)宇部セメント工場	B	780	G	900		M	60			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルシート	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg, L)	
宇部	西部特アス(株)	B	300	G	2,016		M	34		20	
宇部	西部マリンサービス(株)	B	2,000	G	9,810		M	3,200			
門司・宇部	小計		39,880		125,554	23		44,189		156	
若松	海上保安庁	A		G	1,026	5	M	140			
若松	海上保安庁			S	180		O	36			
若松	海上保安庁						R	17			
若松	北九州市	B	620								
若松	北九州市	A	280	G	2,826		M	785			
若松	北九州エル・エヌ・シー(株)	B	700	G	550		M	220			
若松	新日本製鐵(株)八幡製鉄所	B	200	G	1,100		M	320			
若松	三菱化学(株)黒崎事業所	A	500	G	1,710		M	391			
若松	三菱化学(株)黒崎事業所	B	1,140								
若松	三菱マテリアル(株)九州工場	B	1,260	G	432		M	250			
若松	黒崎播磨(株)	B	520	G	540		M	150	L	270	
若松	新日鐵化学(株)九州製造所	B	1,080	G	1,800		M	204			
若松	電源開発(株)若松総合事業所	B	160	G	162		M	68			
若松	(株)トカイ	A	300	G	270		M	213			
若松	東京製鐵(株)九州工場	A	300	G	972		M	34			
若松	光和製鋼(株)戸畑製造所	A	300	G	378		M	150			
若松	関門海運(株)戸畑油槽所	A	300	G	378		M	170			
若松	東海カーボン(株)九州若松工場	A	360	G	300		M	310			
若松	西部ガス(株)北九州工場			G	90		M	32			
若松	(株)近藤海事	B	400	G	500		M	500			
若松	製鐵曳船(株)			G	540						
若松	小計		8,420		13,754	5		3,990		270	
大分	海上保安庁	B	600	G	1,008	5	M	196			
大分	海上保安庁			D	342		O	108			
大分	海上保安庁			S	378						
大分	海上保安庁			G	270		M	20			
大分	海上保安庁			D	90		O	54			
大分	海上保安庁			S	180						
大分	海上保安庁			G	216		M	57			
大分	海上保安庁			D	90		O	54			
大分	大分県生活環境部消防防災課						M	2,000			
大分	大分県大分土木事務所	A	300	G	500		M	400			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルシート	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg, L)	
大分	大分県大分土木事務所	B	180								
大分	大分県大分土木事務所		240		1,188			175			
大分	大分県農林水産部漁港漁村整備課	A	300		396			620			
大分	大分市消防局			G	1,400		M	195	L	2,800	
大分	九州石油(株)大分製油所	A	100	G	11,040		M	2,208			
大分	九州石油(株)大分製油所	B	2,460								
大分	住友化学工業(株)大分工場	B	1,080	G	738		M	275			
大分	昭和電工(株)大分事業所	B	1,120	G	2,200		M	507			
大分	新日本製鐵(株)大分製鐵所	B	1,910	G	648		M	255			
大分	新日鐵化学(株)化学品事業部大分製造所	B	820	G	720		M	390			
大分	王子製紙(株)大分工場	A	300	G	430		M	150			
大分	三井造船(株)大分事業所	B	240	G	105		M	78			
大分	ニチレキ(株)大分営業所	A	300	G	720		M	153			
大分	大分液化ガス共同備蓄(株)大分事業所			G	375		M	150			
大分	大分エル・エヌ・ジー(株)	A	300	G	450		M	200			
大分	日鉱金属(株)佐賀関精錬所	B	600	G	234		M	285			
大分	大分臨海興業(株)			G	4,390						
大分	鶴崎海陸運輸(株)	A	100	G	2,600		M	3,180			
大分	鶴崎海陸運輸(株)	B	800								
大分	佐伯広域消防本部			G	150		M	1,207			
大分	大分県佐伯土木事務所	B	300				M	100			
大分	太平洋セメント(株)大分工場(佐伯)	A	230	G	320		M	350			
大分	太平洋セメント(株)大分工場(佐伯)	B	600								
大分	松井アスファルト(株)	A	200		630			50			
大分	大分漁業共同組合保戸島支店	A	300		324			377			
大分	興国物産運送(株)	A	380	G	414		M	165			
大分	太平洋セメント(株)大分工場(津久見)	A	520		1,260			1,276			
大分	(株)興人佐伯工場	A	300	G	576		M	320			
大分	(株)三浦造船所	A	100	G	288		M	75			
大分	(株)三浦造船所	B	50								
大分	共栄船渠(株)	B	75	G	200		M	1,209			
大分	(株)山作	A	300	G	216		M	115			
大分	小計	A	15,105		35,086	5		16,954		2,800	
合計			63,405		174,394	33		65,133		3,226	

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

(6) 作業船

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
門司	北九州市消防局	ひまわり	41	21	沿海	17	21000	21000 3600		
門司	出光興産(株)門司油槽所	第2周光丸	6.9	10	限定沿海	4				
門司	東西オイルターミナル(株)北九州油槽	ひびき	1.42	13	平水	6				
門司	ジャパンオイルネットワーク(株)小倉油槽所	ふじ丸	1.15	13	平水	9				
門司	東西オイルターミナル(株)小倉油槽所	末広丸	0.8	3	平水	4				
門司	北九州小野田セメント(株)	せいりゅう丸	4.25m	8	沿海	4				
門司	日本サルヴェージ(株)門司支店	第二静波丸	1449	14	遠洋	14				
門司	日本サルヴェージ(株)門司支店	第2早潮丸	276	12	近海	5				
門司	(株)仁徳海運	仁徳	99	14	沿海	5	6000×2	6000×2 5400	45×40×1 2000	
門司	(株)仁徳海運	第7仁徳	11	10	沿海	2	500×2			
門司	(株)仁徳海運	清幸	7.9	28	沿海	7				
門司	(株)仁徳海運	にとく12	5	12	限定沿海	2				
門司	福島海運	かんだ	4.7	10	限定沿海	2				
苅田	福島海運	かんだ	4.9	11	限定沿海	2				
苅田	麻生セメント(株)苅田工場	麻生丸	0.6	15	平水	5				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
荻田	九州電力(株)豊前発電所	しんえい	4.9	7	沿海	3				
荻田	九州電力(株)豊前発電所	第2かたまつ	3.68m	7	沿海	4				
荻田	宇部興産(株)荻田セメント工場	豊丸	0.65	7	沿海	3				
下関	日新タンカー(株)六連油槽所	にっしん3	18	16	平水	3	1524×1	1424×1		
下関	彦島精錬(株)	彦丸	0.92	12	平水	4				
下関	中国電力(株)下関発電所	日出丸	16.1	8	沿海	2				
下関	下関警察署	ながと	41	40	沿海	7				
下関	下関警察署	はやとも	12	30	沿海	5				
下関	下関消防局	下関消防I	0.3	6	限定沿海	6				
宇部	(株)ジャパンエナジー宇部油槽所	共石丸	0.89	8	平水	4				
宇部	日興石油(株)	やよい丸	3.27m	6	平水	2				
宇部	日興石油(株)	第一日興丸	99	9	限定沿海	3				
宇部	日興石油(株)	第二日興丸	99	9	限定沿海	3				
宇部	西部石油(株)山口製油所	第3西部丸	18.63	10	限定沿海	2				
宇部	西部石油(株)山口製油所	第二もとやま	33	14	限定沿海	3				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗 組 員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
宇部	協和醗酵工業(株)宇部工場	協和丸	5.10m	5	沿海	3				
宇部	宇部興産(株)宇部ケミカル工場	いそしぎ	5.11m	5	限定沿海	5				
宇部	宇部興産(株)宇部ケミカル工場	はと001	3.79m	5	限定沿海	4				
宇部	西部マリンサービス(株)	マリン1号	9.82m	30	沿海	1				
宇部	西部マリンサービス(株)	マリン8号	6.66	20	沿海	1				
若松	三菱化学(株)黒崎事業所	城山	16	12	平水	2				
若松	三菱化学(株)黒崎事業所	第1桜丸	0.6	9	平水	2				
若松	三菱化学(株)黒崎事業所	第2桜丸	0.6	9	平水	2				
若松	新日本製鐵(株)八幡製鉄所	竹吉丸	13	25	平水	3				
若松	北九州エル・エヌ・ジー(株)	はつたか	11	8	平水	3				
若松	北九州エル・エヌ・ジー(株)	はつかり	8	8	平水	3				
若松	北九州エル・エヌ・ジー(株)	2号竹吉丸	14	30	平水	3				
若松	東京製鐵(株)九州工場	東鐵丸	3.13m	10	平水	3				
若松	(株)近藤海事	よしつね	4.9	7	平水	3				
若松	(株)近藤海事	べんけい	4.9	7	平水	3				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
若松	㈱近藤海事	くらま	4.9	7	平水	3				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	くじゅう	18	11	沿海	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	つるみ	18	12	沿海	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	いちのす	3	8	平水	1				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	28しま	19	8	平水	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	31しま	9	8	平水	1				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	やまなみ	10	20	平水	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	21島丸	13	14	平水	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	ゆふ	19	11	沿海	2				
大分	鶴崎海陸運輸㈱	きじま	16	12	沿海	2				
大分	住友化学工業㈱大分製造所	2住丸	1	5	平水	3				
大分	九州石油㈱大分製油所	ストーク	64	10	平水	2				

(7) タグボート

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
門司	西日本海運(株) (関門タグ協会)	周豊丸	198.85	13.5	沿海	5	4000×2 2000×2	4000×2 2000×2 10000	40 2000	090-3026-1413
門司	西日本海運(株) (関門タグ協会)	関豊丸	198	14	沿海	5	4000×2 2000×2	4000×2 2000×2 10000	40 2000	090-3023-4522
門司	グリーンシップ(株) (関門タグ協会)	みやこ丸	181	14.6	沿海	4	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 6000	40 2000	090-3022-8933
門司	グリーンシップ(株) (関門タグ協会)	相模丸	182	14.3	沿海	4	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 6000	40 2000	090-3026-1285
門司	住友金属物流(株)小倉事業所 (関門タグ協会)	かいせい	194	14.5	沿海	4	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 5400	38 2000	090-3022-5763
門司	住友金属物流(株)小倉事業所 (関門タグ協会)	かいしん丸	293	13.5	沿海	4	3000×2	3000×2 5400	40 2000	090-3022-5053
門司	(株)シーゲートコーポレーション (関門タグ協会)	碧鳳丸	198	14	沿海	5	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 5000	40 2000	090-3026-7161
門司	(株)シーゲートコーポレーション (関門タグ協会)	大鳳丸	190	14	沿海	6	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 5000	40 2000	090-3024-5114
門司	宇土海運(株)	浅生丸	159	13	沿海	4	6000	6000	40	
門司	春風海運(株) (関門タグ協会)	春風	178	13.63	近海	5				090-3022-7351
門司	春風海運(株) (関門タグ協会)	安藝	188.89	13.75	沿海	5				090-3022-9551
門司	日本サウヰン(株) 門司支店	航洋丸	2061	17	遠洋	68	2000	12000 10800	30 2000	090-3026-0066
門司	日本サウヰン(株) 門司支店	第2静波丸	1039	14	遠洋	39				090-3023-2503

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
門司	日本カウエージ(株) 門司支店	第2早潮丸	276	12	近海	5	3000	3000 7770		090-3022-2838
門司	深田カウエージ建設	第2周防丸	198	11	近海	15	7000	7000 6000		090-3022-9879
門司	仁徳海運	仁徳	111	14	沿海	6	6000×2	6000×2 5400	45 2000	090-3024-3581
門司	仁徳海運	清華	7.9	28	沿海	7	750×2			
門司	吉浦海運(株)	第35明神丸	178	12	近海	5				090-3024-5367
門司	吉浦海運(株)	第37明神丸	168	12	近海	5				090-3023-1546
苅田	福島海運(株)	博隆丸	185	13	沿海	4	2000			090-3023-7520
苅田	九州電力(株)豊前発電所	くぼて	100	12	沿海	3	3000×2	3000×2 5400		090-3022-2953
下関	関門港湾建設(株)	まんじゅ	135	12	沿海	6	1000			090-3023-8873
宇部	西部石油(株)山口製油所 (西部マリンサービス(株))	江汐	199	13	沿海	18	27000	25600 16200		090-3026-2204
宇部	西部石油(株)山口製油所 (西部マリンサービス(株))	赤崎	101	11	沿海	14	9000	6 500	40 2000	090-3026-6469
宇部	西部石油(株)山口製油所 (西部マリンサービス(株))	有帆	127	12	沿海	15	6000	6000 4950		090-3022-2980
宇部	宇部ポートサービス(株)	飛鳥丸	192	13	沿海	4	3000×2	3000×2 5400		090-3023-6762

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
宇部	宇部ボートサービス㈱	かいた丸	194	16	沿海	4	3000×1 1500×2	3000×1 1500×2 6700		090-3023-3576
宇部	内海曳船㈱ 宇部出張所	わかしお	208	14	沿海	4	3000	1000	40	090-3023-6984
若松	製鉄曳船㈱	八豊丸	199	14.5	沿海	4	6000	6000 5400	35 2000	090-3025-8202
若松	製鉄曳船㈱	筑豊丸	197	14.5	平水	4	12000	12000 7000	45 2000	090-4992-6394
若松	製鉄曳船㈱	松豊丸	199	14.5	平水	4	12000	12000 6000	45 2000	090-4999-8154
若松	製鉄曳船㈱	第一八幡丸	198	14.3	沿海	4	6000	6000 5400	35 2000	090-3023-1191
若松	製鉄曳船㈱	新豊丸	199	14.5	平水	4	12000	12000 6000	45 2000	090-4996-9628
若松	製鉄曳船㈱	山豊丸	198	14.3	沿海	4	6000	6000 5400	35 2000	090-3026-0303
若松	洞海マリンシステムズ㈱	日本丸	248	11.5	近海	6	6000	3000 5600	40 2000	090-3022-2351
若松	洞海マリンシステムズ㈱	富士山丸	297	11.5	近海	6	8000	8000 5600	35 2000	090-3023-5315
若松	洞海マリンシステムズ㈱	はりおV	146	13.6	沿海	4	1000	1000		090-3026-3733
若松	矢野海運㈱	竜山丸	274	13	平水	3	4000	4000	40	090-4991-5487
若松	矢野海運㈱	竜昇丸	199	13	沿海	4	6000	6000 2000	30 2000	090-3025-8197

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
若松	矢野海運(株)	竜光丸	62	13	平水	3				090-2718-8364
若松	(株)近藤海事	韋駄天	498	11	近海	7				090-3022-6555
若松	(株)近藤海事	五十猛	177	10	平水	3				090-3026-2041
若松	(株)近藤海事	不捨丸	124	10	沿海	4				090-3023-5092
若松	(株)近藤海事	雄昌	98	10	沿海	4				090-3024-6177
若松	(株)近藤海事	栄光丸	98	10	沿海	3				090-3026-2081
若松	(株)近藤海事	自在天	48	10	平水	3				090-3023-3635
若松	(株)近藤海事	くろしお丸	98	10	沿海	4				090-3023-7723
大分	大分臨海興業(株)	早吸	199	14.6	沿海	4	6000	6000 5500	30 2000	090-3022-5886
大分	大分臨海興業(株)	雄飛丸	198	14.2	沿海	5	10000	10000 11000	30 2000	090-3022-5701
大分	大分臨海興業(株)	第二日豊丸	192	14.3	沿海	4	6000	6000 5400	40 2000	090-302-21445
大分	大分臨海興業(株)	高豊丸	198	14.3	沿海	4	6000	6000 5400	340 2000	090-3026-0222
大分	大分臨海興業(株)	はやしお	207	13.2	沿海	4	3000	3000 7450	30 2000	090-302-35067

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
大分	大分臨海興業株	有田丸	276	14.1	沿海	5	6000	6000 5400	40 2000	090-3022-6441
大分	大分臨海興業株	高見丸	196	13.3	平水	4	6000	6000 5000	40 2000	090-3022-2968
大分	大分臨海興業株	第2疋田丸	199	14.5	沿海	5	6000	6000 5400	30 2000	090-3023-8726

(8) 集油船(集油タンク容量10KL未満のものを除く。)

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	集油タンク容量 (KL)	備考
下関	漁連石油(株)	関丸	74	9	平水	2	125	
宇部	日興石油(株)	第1日興丸	99	9	限定 沿海	3	270	
宇部	日興石油(株)	第3日興丸	99	9	限定 沿海	3	270	
大分	鶴崎海陸運輸(株)	おおのがわ	99	11	平水	3	300	大分港周辺
大分	鶴崎海陸運輸(株)	第3こうのとり	99	12	平水	3	330	大分港周辺
大分	西部タンカー	弘和丸	99	8	平水	2	215	大分港周辺
大分	昭栄石油	第7昭栄丸	96	9	平水	2	200	大分港周辺
大分	岸鋳油	岸丸	97	9	平水	2	283	大分港周辺
大分	岸鋳油	第12岸丸	97	9	平水	2	171	大分港周辺
大分	東九州運輸	第8ハト丸	86	10	平水	2	170	佐賀関港周辺
大分	東九州運輸	第7ハト丸	99	11	沿海	2	245	佐賀関港周辺

(9) グラブ船、ガット船等

平成19年10月1日現在

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
門司	太刀の浦	(株)ヤナイ	晃昇丸	砂利採取運搬船	748	自航	-	
門司	太刀の浦	(有)和田海運	住吉丸	砂利採取運搬船		自航	-	
門司	太刀の浦	(有)昭和海運	第8明和	砂利採取運搬船	409	自航	-	332-3537
門司	太刀の浦	潟岡英行	清福丸	砂利採取運搬船	408	自航	-	
門司	太刀の浦	(株)明和海運	第一長栄丸	砂利採取運搬船	196	自航	-	
門司	太刀の浦	恵祥海運	第二恵祥丸	砂利採取運搬船	499	自航	-	
門司	太刀の浦	河口昭夫	第一八昭洋丸	砂利採取運搬船	653	自航	-	
門司	太刀の浦	平田汽船(株)	第5勇進丸	砂利採取運搬船	498	自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	なみよし	砂利採取運搬船	499	自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	青海	砂利採取運搬船		自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	第8正和丸	砂利採取運搬船	499	自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	しんよう	砂利採取運搬船	499	自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	栄丸	砂利採取運搬船	1583	自航	-	
門司	太刀の浦	平松商会	栄雄丸	砂利採取運搬船	1599	自航	-	
門司	太刀の浦	関門航路工事事務所	海翔丸	砂利採取運搬船	4663	自航	-	

(10) タンクローリー車

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
門司	松光運輸(株)	12.0	2	24.0	093-481-1157
門司	明光運輸	20.0	13	260.0	093-481-0775
門司	明光運輸	16.0	5	80.0	093-481-0775
門司	明光運輸	14.0	8	112.0	093-481-0775
門司	明光運輸	12.0	4	48.0	093-481-0775
門司	松藤商事(株)	18.0	10	180.0	093-571-4431
門司	松藤商事(株)	14.0	10	140.0	093-571-4431
門司	松藤商事(株)	12.0	18	216.0	093-571-4431
門司	ツハメ運輸(株)	20.0	5	100.0	093-331-9058
門司	ツハメ運輸(株)	14.0	3	42.0	093-331-9058
門司	(有)穴吹商店	2.0	1	2.0	093-321-1381
門司	岸鉦油(株)門司支店	3.0	1	5.0	093-331-1522
門司	岸鉦油(株)門司支店	2.0	1	2.0	093-331-1522
門司	シーエルシーカハシ(株)	4.0	1	4.0	093-483-2101
門司	コスモ石油サービス(株)	24.0	1	24.0	093-321-3437
門司	コスモ石油サービス(株)	20.0	1	20.0	093-321-3437
門司	コスモ石油サービス(株)	14.0	4	56.0	093-321-3437
門司	(株)福石	4.0	1	4.0	093-341-0885

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
門司	日松運輸(株)	14.0	3	42.0	093-582-0070
門司	日松運輸(株)	12.0	6	72.0	093-582-0070
門司	林兼石油(株)	12.0	1	12.0	093-332-2043
門司	林兼石油(株)	4.0	1	4.0	093-332-2043
門司	ニヤクコーホ [®] レーション(株)	20.0	6	120.0	093-561-1531
門司	ニヤクコーホ [®] レーション(株)	18.0	2	36.0	093-561-1531
門司	ニヤクコーホ [®] レーション(株)	16.0	4	64.0	093-561-1531
門司	ニヤクコーホ [®] レーション(株)	14.0	11	154.0	093-561-1531
門司	ニヤクコーホ [®] レーション(株)	12.0	2	24.0	093-561-1531
門司	シーエルシータカハシ(株)	4.0	1	4.0	093-321-2961
門司	シーエルシータカハシ(株)	2.0	1	2.0	093-321-2961
下関	(株)福石	4.0	1	4.0	0832-31-2914
下関	(株)福石	2.0	1	2.0	0832-31-2914
下関	岸鉦油(株)	4.0	1	4.0	0832-67-3636
下関	岸鉦油(株)	1.0	1	1.0	0832-67-3636
下関	漁連石油(株)	4.0	1	4.0	0832-67-2021
下関	漁連石油(株)	3.0	1	3.0	0832-67-2021
宇部	日興石油(株)	4.0	1	4.0	0836-21-8141
宇部	日興石油(株)	2.0	1	2.0	0836-21-8141

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
宇部	富士運輸(株)	16.0	1	16.0	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	12.0	6	72.0	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	11.0	2	22.0	0836-88-0153
宇部	日興石油(株)	1.0	1	1	0836-21-8141
宇部	日興石油(株)	2.0	6	12	0836-21-8141
宇部	日興石油(株)	3.0	2	6	0836-21-8141
宇部	日興石油(株)	6.0	1	6	0836-21-8141
宇部	富士運輸(株)	10.0	2	20	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	12.0	3	36	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	14.0	3	42	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	16.0	9	144	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	18.0	1	18	0836-88-0153
宇部	富士運輸(株)	20.0	8	160	0836-88-0153
若松	(株)新光	3.0	4	12.0	093-791-1831
若松	(株)新光	4.0	1	4.0	093-791-1831
若松	キョクレイ(株)	4.0	1	4.0	093-771-7802
若松	キョクレイ(株)	2.0	1	2.0	093-771-7802
大分	荷役コーポレーション	20.0	6	120.0	0975-27-3265
大分	荷役コーポレーション	18.0	1	18.0	0975-27-3265

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
大分	荷役コーポレーション	14.0	21	294.0	0975-27-3265
大分	荷役コーポレーション	12.0	3	36.0	0975-27-3265
大分	荷役コーポレーション	4.0	1	4.0	0975-27-3265
大分	平和興業	20.0	12	240.0	0975-56-4117
大分	平和興業	18.0	12	216.0	0975-56-4117
大分	平和興業	14.0	12	168.0	0975-56-4117
大分	平和興業	12.0	1	12.0	0975-56-4117
大分	平和興業	6.0	1	6.0	0975-56-4117
大分	大分運送	20.0	5	100.0	0975-51-5376
大分	大分運送	14.0	14	196.0	0975-51-5376
大分	大分運送	12.0	3	36.0	0975-51-5376
大分	日本通運	20.0	2	40.0	0975-35-1118
大分	日本通運	14.0	5	70.0	0975-35-1118

(11) 強力吸引車、バキュームカー

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
門司	九州清掃事業センター(株)	バキューム	2.0	4	8.0	093-581-0150
門司	九州清掃事業センター(株)	バキューム	4.0	2	8.0	093-581-0150
門司	九州清掃事業センター(株)	バキューム	10.0	2	20.0	093-581-0150
門司	環境開発興業(株)	バキューム	3.0	2	6.0	093-602-2500、汚泥処理等
門司	環境開発興業(株)	バキューム	8.0	1	8.0	093-602-2500、汚泥処理等
門司	松光運輸(株)	バキューム	9.0	4	36.0	093-481-1157、汚泥等産廃収集
門司	松光運輸(株)	バキューム	10.0	5	50.0	093-481-1158、汚泥等産廃収集
門司	松光運輸(株)	強力吸引車 (ダンパー)	8.0	2	16.0	093-481-1159、汚泥等産廃収集
宇部	山口興産(株)	バキューム	5.00	1	5.00	0836-34-1140
宇部	山口興産(株)	バキューム	7.00	1	7.00	0836-34-1140
宇部	山口興産(株)	強力吸引車 (ダンパー)	4.00	1	4.00	0836-34-1140
宇部	山口興産(株)	強力吸引車 (ダンパー)	6.00	1	6.00	0836-34-1140
宇部	山口興産(株)	強力吸引車 (ダンパー)	7.00	1	7.00	0836-34-1140
宇部	山口興産(株)	強力吸引車 (ダンパー)	10.00	1	10.00	0836-34-1140
宇部	三共運輸(株)	バキューム	2.70	1	2.70	0836-83-3455

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
宇部	三共運輸(株)	強力吸引車 (ダンパー)	6.50	1	6.50	0836-83-3455
宇部	三共運輸(株)	強力吸引車 (ダンパー)	6.65	1	6.65	0836-83-3455
宇部	三共運輸(株)	強力吸引車 (ダンパー)	6.80	1	6.80	0836-83-3455
宇部	三共運輸(株)	強力吸引車 (ダンパー)	8.68	1	8.68	0836-83-3455
若松	(株)環境システム若松営業所	強力吸引車 (ダンパー)	3.0	1	3.0	093-771-7600
若松	(株)環境システム若松営業所	強力吸引車 (ダンパー)	8.0	2	16.0	093-771-7600
若松	喜楽鉱業(株)北九州工場	強力吸引車 (ダンパー)	8.0	1	8.0	093-751-0090
若松	同上	ハキューム	12.0	3	36.0	093-751-0090
若松	同上	ハキューム	9.0	1	9.0	093-751-0090
若松	岩野礦油(株)	強力吸引車 (ダンパー)	6.2	1	6.2	093-642-2528
若松	同上	強力吸引車 (ダンパー)	6.0	1	6.0	093-642-2528
若松	同上	強力吸引車 (ダンパー)	3.0	1	3.0	093-642-2528
若松	同上	ハキューム	11.1	1	11.1	093-642-2528
若松	同上	ハキューム	8.6	1	8.6	093-642-2528
若松	同上	ハキューム	5.6	1	5.6	093-642-2528
若松	同上	ハキューム	3.1	2	6.1	093-642-2528

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
若松	(株)ダイセキ九州事業所	強力吸引車 (タンパー)	10.0	1	10.0	093-701-2016
若松	同上	バキューム	10.0	1	10.0	093-701-2016
若松	玄洋(株)	バキューム	15.0	3	45.0	093-691-2961
若松	玄洋(株)	強力吸引車 (タンパー)	7.0	1	7.0	093-691-2961
大分	ニューテクノファースト(株)	強力吸引車	7.5	4	37.5	097-592-5000
大分	(有)T.Iコーポレーション	強力吸引車	7.0	3	7.0	0972-82-0878

(12) 廃油等処理施設

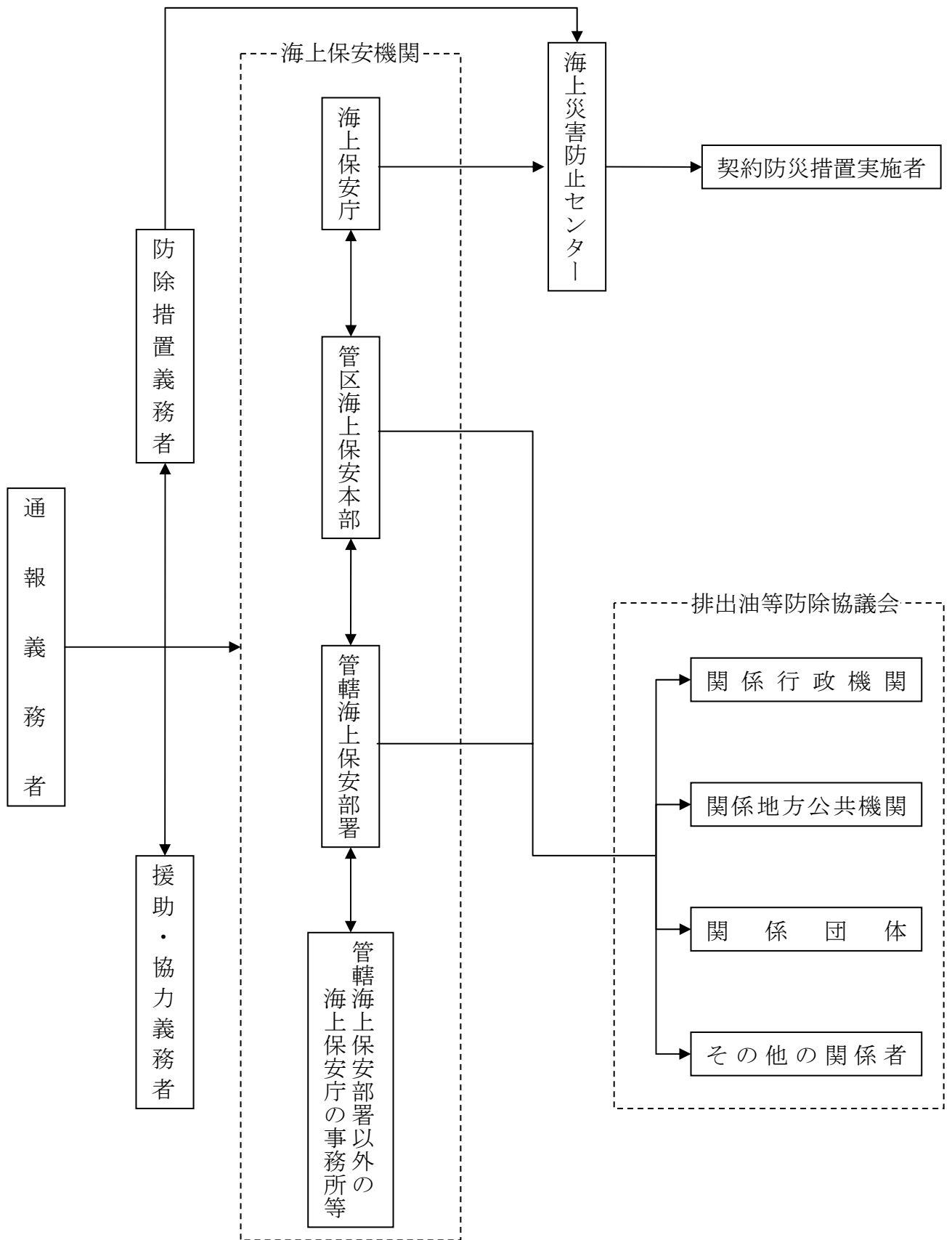
平成19年10月1日現在

担当部署	事業者名	所在	対象船舶	係留施設		廃油の種類	処理能力 (KL/h)	焼却設備	備考
				棧橋延長(m)	能力				
門司	北九州市廃油処理場	北九州市小倉北区赤坂1-1	3,000DWT以下	75	3,000DWT以下	水ハラスト、ヒールジ	50	無	093-551-0909
宇部	西部石油㈱ 山口製油所	小野田市西沖	5,000DWT以下	80×1 115×6	1,000DWT×1 3500DWT×9 5000DWT×3	スラッジ、ヒールジ、タンク洗 浄水	600	無	0836-88-1111
若松	光和精鉱㈱	北九州市戸畑区 大字中原46-93	2,000GT以下	97×1	2,000GT以下	水ハラスト、ヒールジ	300	有	093-872-2100

(13) その他

担当部署	機関名	器材名	性能等
門司	海上保安庁	油処理剤散布装置	KI-A1型(五十嵐) ×1
門司	海上保安庁	油処理剤散布装置	カネヤK-3型、3基
門司	日新タンカー	油回収枠	YS式オイルスキミングウエル ×1 (株式会社イーコーポレーション)
若松	海上保安庁	油処理剤散布装置	カネヤK-3型 × 2 基
大分	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤ) ×1

資料 2 2 - 1 連絡系統図



資料22-2 関係機関の連絡先

平成19年10月1日現在

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
海上保安機関			
海上保安庁	第七管区海上保安部	093-321-2931	同 左
海上保安庁	門司海上保安部	093-321-3215	同 左
海上保安庁	下関海上保安署	0832-67-1711	093-321-3215
海上保安庁	宇部海上保安署	0836-21-2410	093-321-3215
海上保安庁	門司海上保安部小倉分室	093-571-6091	093-321-3215
海上保安庁	荻田海上保安署	093-436-3356	093-321-3215
海上保安庁	若松海上保安部	093-761-4353	同 左
海上保安庁	福岡海上保安部	092-281-5865	同 左
海上保安庁	三池海上保安部	0944-53-0521	同 左
海上保安庁	唐津海上保安部	0955-74-4321	同 左
海上保安庁	壱岐海上保安署	09204-7-0508	0955-74-4321
海上保安庁	伊万里海上保安署	0955-28-3388	0955-74-4321
海上保安庁	長崎海上保安部	095-827-5133	同 左
海上保安庁	五島海上保安署	0959-72-3999	095-827-5133
海上保安庁	佐世保海上保安部	0956-31-4842	同 左
海上保安庁	平戸海上保安署	0950-22-3997	0956-31-4842
海上保安庁	対馬海上保安部	09205-2-0640	同 左
海上保安庁	比田勝海上保安署	09208-6-2113	09205-2-0640
海上保安庁	大分海上保安部	097-521-0112	同 左
海上保安庁	大分海上保安部津久見分室	0972-82-2886	097-521-0112
海上保安庁	佐伯海上保安署	0972-22-4999	097-521-0112
海上保安庁	仙崎海上保安部	0837-26-0241	同 左
海上保安庁	萩海上保安署	0838-22-4999	0837-26-0241
海上保安庁	関門海峡海上交通センター	093-381-6699	同 左
海上保安庁	福岡航空基地	092-441-8315	同 左
関門・宇部海域排出油等防除協議会			
関係行政機関	門司海上保安部	093-321-3215	同 左
関係行政機関	門司海上保安部小倉分室	093-571-6091	093-321-3215
関係行政機関	荻田海上保安署	093-436-3356	093-321-3215
関係行政機関	下関海上保安署	0832-67-1711	093-321-3215
関係行政機関	宇部海上保安署	0836-21-2410	093-321-3215
関係行政機関	若松海上保安部	093-761-4353	同 左
関係行政機関	九州地方整備局北九州港湾空港整備事務所	093-321-4631	
関係行政機関	九州地方整備局関門航路事務所	093-331-7500	
関係行政機関	九州地方整備局荻田港湾事務所	093-436-0581	
関係行政機関	九州地方整備局下関港湾事務所	0832-66-3291	
関係行政機関	中国地方整備局宇部港湾事務所	0836-21-5191	
関係地方公共団体	山口県	083-933-2367	
関係地方公共団体	下関市	0832-31-9333	
関係地方公共団体	宇部市（消防本部）	0836-21-6113	
関係地方公共団体	山陽小野田市（消防本部）	0836-83-0232	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	下関市消防局	0832-33-9119	
関係地方公共団体	下関警察署	0832-31-0110	
関係地方公共団体	福岡県	092-641-4734	
関係地方公共団体	北九州市	093-582-2110	
関係地方公共団体	北九州市港湾空港局	093-321-5932	
関係地方公共団体	北九州市消防局	093-582-3817	
関係地方公共団体	行橋市	0930-25-1111	
関係地方公共団体	豊前市	0979-82-1111	
関係地方公共団体	苅田町	093-434-0120	
関係地方公共団体	芦屋町	093-223-0881	
関係地方公共団体	築上町	0930-56-0300	
関係地方公共団体	吉富町	0979-24-1122	
関係地方公共団体	京筑広域圏消防本部	0979-82-0119	
関係地方公共団体	遠賀郡消防本部	093-293-1231	
関係地方公共団体	福岡県警察本部	092-641-4141	
関係地方公共団体	北九州市警察部	093-583-1110	
関係地方公共団体	北九州水上警察署	093-332-0110	
関係地方公共団体	岡垣町	093-282-1211	
関係団体	西部海難防止協会	093-321-4496	
関係団体	福岡県水難救済会小倉地区救難所	093-521-1093	
関係団体	山口県漁業協同組合	0832-31-2212	
関係団体	北九州地区漁業協同組合長会	092-713-1162	
関係団体	豊前海区漁業協同組合長会	093-434-1704	
関係事業者等	西邦海運(株)	093-321-5061	門司エーゼント会
関係事業者等	門菱港運(株)	093-331-3038	門司エーゼント会
関係事業者等	興和運輸(株)	093-321-8031	門司エーゼント会
関係事業者等	東海運(株)九州事業部	093-321-1834	門司エーゼント会
関係事業者等	(株)ホームリンガー商会	093-331-1311	門司エーゼント会
関係事業者等	門司港運(株)	093-321-3261	門司エーゼント会
関係事業者等	山九(株)門司支店	093-321-3999	門司エーゼント会
関係事業者等	(株)ジェネック	093-331-3456	門司エーゼント会
関係事業者等	ナンセイ SHIPPING(株)	093-331-2861	門司エーゼント会
関係事業者等	昭和マリン(株)	093-331-0687	門司エーゼント会
関係事業者等	日本通運(株)門司海運支店	093-331-1516	門司エーゼント会
関係事業者等	セントラル SHIPPING(株)九州営業所	093-332-3232	門司エーゼント会
関係事業者等	住友金属物流(株)九州事業部	093-583-8830	門司エーゼント会
関係事業者等	(株)MOL JAPAN 九州支店	092-262-0701	門司エーゼント会
関係事業者等	日本通運(株)下関海運支店	0832-35-0202	門司エーゼント会
関係事業者等	グリーン SHIPPING(株)	093-321-4261	門司エーゼント会
関係事業者等	(株)シーゲートコーポレーション門司支社	093-331-2163	九州水曜会
関係事業者等	日本郵船(株)九州支店	092-483-1530	九州水曜会
関係事業者等	(株)商船三井九州支店	092-262-0701	九州水曜会
関係事業者等	関門水先区水先人会	093-332-2384	
関係事業者等	全日本海員組合九州関門地方支部	093-331-3600	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係事業者等	全国内航タンカー海運組合西部支部	0832-23-8425	
関係事業者等	北九州消防設備協同組合	093-681-0119	
関係事業者等	出光興産(株)門司油槽所	093-481-0196	
関係事業者等	九州ベニー(株)	093-331-2261	
関係事業者等	三井物産エネルギー物流(株)門司油槽所	093-321-5068	
関係事業者等	三井物産エネルギー物流(株)小倉油槽所	093-571-4237	
関係事業者等	東西オイルターミナル(株)北九州油槽所	093-591-8112	
関係事業者等	ジャパンオイルネットワーク(株)小倉油槽所	093-581-1408	
関係事業者等	兼松油槽(株)小倉油槽所	093-521-4234	
関係事業者等	東西オイルターミナル(株)小倉油槽所	093-521-6046	
関係事業者等	港南(株)下関油槽所	0832-66-3024	
関係事業者等	日新タンカー(株)	0832-66-4241	
関係事業者等	日興石油(株)沖の山油槽所	0836-31-1141	
関係事業者等	西部石油(株)山口製油所	0836-88-1111	
関係事業者等	林兼石油(株)下関支店	0832-66-1175	
関係事業者等	北九州エル・エヌ・ジー(株)	093-882-8969	
関係事業者等	中国精油(株)新門司工場	093-481-3077	
関係事業者等	白島石油備蓄(株)北九州事業所	093-752-1461	
関係事業者等	丸紅エネックス(株)門司ターミナル	093-331-3200	
関係事業者等	新日本製鉄(株)八幡製鐵所	093-872-6601	
関係事業者等	三菱化学(株)黒崎事業所	093-643-2613	
関係事業者等	三菱マテリアル(株)九州工場黒崎地区	093-641-4111	
関係事業者等	黒崎播磨(株)	093-622-7243	
関係事業者等	新日鐵化学(株)九州製造所	093-884-1786	
関係事業者等	旭硝子(株)北九州工場	093-871-1151	
関係事業者等	(株)住友金属小倉	093-561-2544	
関係事業者等	九州電力(株)新小倉発電所	093-591-4060	
関係事業者等	電源開発(株)若松総合事業所	093-741-0931	
関係事業者等	(株)トーカイ	093-752-1634	
関係事業者等	東海カーボン(株)九州若松工場	093-791-0731	
関係事業者等	西部ガス(株)北九州工場	093-751-0911	
関係事業者等	三井鉱山(株)北九州事業所	093-751-9237	
関係事業者等	三菱マテリアル(株)九州工場	093-434-0081	
関係事業者等	麻生ラファージュセメント(株)苅田工場	093-434-0885	
関係事業者等	宇部興産(株)苅田セメント工場	093-434-2111	
関係事業者等	九州電力(株)豊前発電所	0979-82-3370	
関係事業者等	中国電力(株)下関発電所	0832-45-1154	
関係事業者等	(株)ブリヂストン下関工場	0832-45-1251	
関係事業者等	(株)神戸製鋼所長府製造所	0832-46-1231	
関係事業者等	下関三井化学(株)	0832-66-1125	
関係事業者等	彦島製錬(株)	0832-66-3134	
関係事業者等	三菱重工業(株)下関造船所	0832-66-5984	
関係事業者等	太平洋マテリアル(株)小野田工場	0836-83-3335	
関係事業者等	協和醗酵工業(株)宇部工場	0836-22-5512	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係事業者等	宇部マテリアルズ(株)宇部工場	0836-31-2178	
関係事業者等	セントラル硝子(株)宇部工場	0836-22-5028	
関係事業者等	宇部アンモニア工業(有)	0836-31-5852	
関係事業者等	UMG ABS(株)宇部工場	0836-22-4530	
関係事業者等	チタン工業(株)宇部工場	0836-31-4155	
関係事業者等	宇部興産(株)宇部ケミカル工場	0836-31-3111	
関係事業者等	宇部興産(株)宇部セメント工場	0836-35-2870	
関係事業者等	日本アルコール販売(株)福岡支店門司営業所	093-481-1213	
関係事業者等	小野田化学工業株門司工場	093-321-5231	
関係事業者等	ニッカウイスキー(株)門司工場	093-381-1431	
関係事業者等	辰己商会彦島出張所	0832-67-2081	
関係事業者等	キャボットジャパン(株)下関工場	0832-66-4928	
関係事業者等	光和精鉱(株)戸畑製造所	092-872-5078	
関係事業者等	(株)サニックスひびき工場	093-771-4711	
関係事業者等	日華油脂(株)若松工場	093-761-2635	
関係事業者等	三井化学(株)西沖工場	0836-44-3172	
関係事業者等	宇部ケミラ株式会社	0836-35-3000	
関係事業者等	小野田化学工業(株)小野田工場	0836-84-2221	
関係事業者等	戸田工業株式会社小野田事業所	0836-89-0007	
関係事業者等	明和化成株式会社宇部工場	0836-22-9211	
関係事業者等	日本サルヴェージ(株)門司支店	093-321-0937	
関係事業者等	深田サルベージ建設(株)九州支店	093-321-4164	
関係事業者等	関門タグ協会(シーケートコーポレーション・SKK物流・西日本海運・九州曳船)	093-331-3434	
関係事業者等	(有)仁徳海運	093-321-7431	
関係事業者等	吉浦海運(株)	093-571-3650	
関係事業者等	製鉄曳船(株)	093-882-3551	
関係事業者等	(株)近藤海事	093-761-1111	
関係事業者等	響灘・洞海タグ協会	093-771-8518	
関係事業者等	西部マリン・サービス(株)	0836-88-1173	
関係事業者等	西部マリン・サービス(株)下関事業所	0832-22-3411	
関係事業者等	宇部ポートサービス(株)	0836-31-3710	
関係事業者等	(株)イマナガ	093-481-5097	
関係事業者等	(株)中野油脂研究所	0832-56-2222	
関係事業者等	九船建設(株)	093-871-1217	
関係事業者等	福島海運(株)	093-434-2939	
関係事業者等	(株)エッセ/ヤマミズ 西日本支店	078-334-7801	九州流出油処理剤懇話会
関係事業者等	(株)ネオス北九州営業所	093-551-1581	九州流出油処理剤懇話会
関係事業者等	(株)タイホーコーザイ大阪第一支店	06-6385-5611	九州流出油処理剤懇話会
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会			
海上保安庁	大分海上保安部	097-521-0114	同 左
関係行政機関	九州運輸局大分運輸支局	097-521-2010	
関係地方公共団体	大分県生活環境部防災危機管理課	097-536-1111	
関係地方公共団体	大分県土木建築部港湾課	097-536-1111	
関係地方公共団体	大分県警察本部	097-536-2131	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	大分県土木事務所大分港振興室	097-558-5111	
関係地方公共団体	大分市土木建築部	097-537-5632	
関係地方公共団体	大分市消防局	097-532-2199	
関係地方公共団体	中津市	0979-22-1111	
関係地方公共団体	宇佐市	0978-32-1111	
関係地方公共団体	豊後高田市	0978-22-3100	
関係地方公共団体	国東市	0978-72-1111	
関係地方公共団体	姫島村	0978-87-2111	
関係地方公共団体	杵築市	0978-62-3131	
関係地方公共団体	日出町	0977-73-3111	
関係地方公共団体	別府市	0977-21-1111	
関係地方公共団体	臼杵市	0972-63-1111	
関係地方公共団体	津久見市	0972-82-4111	
関係事業者等	西部海難防止協会大分支部	097-556-8791	
関係事業者等	全日本海員組合九州関門地方支部	093-331-3600	
関係事業者等	大分県漁業協同組合	093-532-6611	
関係事業者等	大分県漁業協同組合大分支店	093-532-3292	
関係事業者等	九州石油(株)大分製油所	093-523-2241	
関係事業者等	住友化学工業(株)大分工場	093-523-1156	
関係事業者等	昭和電工(株)大分事務所	093-521-5131	
関係事業者等	新日本製鐵(株)大分製鐵所	093-553-2296	
関係事業者等	新日鐵化学(株)化学品事業部大分製造所	093-527-5211	
関係事業者等	王子板紙(株)大分工場	093-527-6510	
関係事業者等	三井造船(株)大分事業所	093-593-3111	
関係事業者等	大分液化ガス共同備蓄(株)大分事業所	093-593-1101	
関係事業者等	大分エル・エヌ・ジー(株)	093-522-1900	
関係事業者等	(株)臼杵造船所	0972-63-8158	
関係事業者等	南日本造船(株)	0972-67-2116	
関係事業者等	日鉦製鍊(株)佐賀製鍊所	093-575-3600	
関係事業者等	ニチレキ(株)大分営業所	097-536-7531	
関係事業者等	大分臨海興業(株)	097-558-9588	
関係事業者等	鶴崎海陸運輸(株)	097-521-1135	
関係事業者等	日本通運(株)大分支店	097-535-1110	
関係事業者等	大分港運(株)	097-558-9611	
関係事業者等	九石マリン(株)大分支店	097-521-5500	
関係事業者等	グリーン SHIPPING(株)大分支店	097-521-3015	
関係事業者等	親和内航海運(株)大分営業所	097-558-9236	
関係事業者等	日鐵物流(株)大分支店	097-558-7188	
関係事業者等	田淵海運(株)大分出張所	097-521-5411	
関係事業者等	山九(株)大分物流事業所	097-558-3984	
関係事業者等	東海運(株)九州事業部大分物流部大分営業所	097-558-4488	
関係事業者等	(株)ダイヤモンドフェリー	097-536-5500	
関係事業者等	関西汽船(株)別府支社	0977-22-1314	
関係事業者等	宇和島運輸(株)	0977-21-2364	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
大分県南部沿岸海域排出油等防除協議会			
海上保安庁	佐伯海上保安署	0972-22-4999	097-521-0112
関係行政機関	九州地方整備局佐伯河川国道事務所	0972-22-1880	
関係地方公共団体	佐伯市消防本部	0972-22-3301	
関係地方公共団体	佐伯警察署	0972-22-2131	
関係地方公共団体	大分県佐伯土木事務所	0972-22-3171	
関係地方公共団体	大分県佐伯南郡地方振興局	0972-22-0390	
関係地方公共団体	大分県佐伯県民保健福祉センター	0972-22-0562	
関係地方公共団体	佐伯市	0972-22-3111	
関係地方公共団体	上浦振興局	0972-32-3111	
関係地方公共団体	鶴見振興局	0972-33-1111	
関係地方公共団体	蒲江振興局	0972-42-1111	
関係地方公共団体	米水津振興局	0972-35-6111	
関係事業者等	(株)興人佐伯工場	0972-23-5963	
関係事業者等	(株)ジェネック佐伯支店	0972-27-8611	
関係事業者等	太平洋セメント(株)佐伯工場	0972-27-8812	
関係事業者等	(株)山作	0972-22-3561	
関係事業者等	管政建設(株)	0972-23-5050	
関係事業者等	大入島観光フェリー(株)	0972-23-2880	
関係事業者等	大分県海運組合佐伯支部	0972-22-1446	
関係事業者等	吉田港運(株)	0972-23-5555	
関係事業者等	興国物産運送(株)	0972-23-2280	
関係事業者等	(株)佐伯魚市場	0972-22-0361	
関係事業者等	(株)三浦造船所	0972-22-2033	
関係事業者等	共栄船渠(株)	0972-22-8646	
関係事業者等	日本通運(株)佐伯営業所	0972-22-2721	
関係事業者等	大分曳船(株)	0972-22-1812	
関係事業者等	佐伯重工業(株)	0972-22-3331	
関係事業者等	(株)南九建設	0972-23-8567	
関係事業者等	(株)森崎海事	0972-32-2188	
関係事業者等	蒲江土建(株)	0972-42-0011	
関係事業者等	東豊海事建設(株)	0972-32-3038	
関係事業者等	佐伯建工(株)	0972-25-8990	
関係団体	大分県漁業協同組合佐伯支店	0972-22-0034	
関係団体	大分県漁業協同組合鶴見支店	0972-33-1121	
関係団体	大分県漁業協同組合上浦支店	0972-32-2004	
関係団体	大分県漁業協同組合米水津支店	0972-35-6311	
関係団体	大分県漁業協同組合上入津支店	0972-45-0877	
関係団体	大分県漁業協同組合下入津支店	0972-42-1611	
関係団体	大分県漁業協同組合蒲江支店	0972-42-0004	
関係団体	大分県漁業協同組合名護屋支店	0972-44-0013	
海水油濁処理協力機構加盟会社			
関係事業者等	西部石油(株)山口製油所	0836-88-1111	
関係事業者等	白島石油備蓄(株)北九州事業所	093-752-1461	

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係事業者等	出光興産(株)門司油槽所	093-481-0196	
関係事業者等	東西オイルターミナル(株)北九州油槽所	093-591-8112	
関係事業者等	ジャパンオイルネットワーク(株)小倉油槽所	093-581-1408	
関係事業者等	東西オイルターミナル(株)小倉油槽所	093-521-6046	
関係事業者等	九州石油(株)大分製油所	097-523-2241	
関係事業者等	ニチレキ(株)大分営業所	097-536-7531	

資料 2 3 防災相互通信用無線局保有状況一覧

平成19年10月1日現在

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 711	F3E	158.35	10	門司海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 763	F3E	158.35	10	門司海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 740	F3E	158.35	10	門司海上保安部 くにさき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 764	F3E	158.35	10	門司海上保安部 くにさき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7345～7353	F3E	158.35	1	門司海上保安部 くにさき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7055	F3E	158.35	1	門司海上保安部 くにさき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 765	F3E	158.35	10	門司海上保安部 きくち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7017～7018	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きくち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7486～7487	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きくち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7327～7328	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きくち
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 766	F3E	158.35	10	門司海上保安部 はやなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7019～7020	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はやなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7488	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はやなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7300	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はやなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7822	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はやなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 782	F3E	158.35	10	門司海上保安部 きよたき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7320	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きよたき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7323	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きよたき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7329～7330	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きよたき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 767	F3E	158.35	10	門司海上保安部 もじかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7301	F3E	158.35	1	門司海上保安部 もじかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7356～7357	F3E	158.35	1	門司海上保安部 もじかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 739	F3E	158.35	10	門司海上保安部 はたかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7808～7811	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はたかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 744	F3E	158.35	10	門司海上保安部 きよかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7404～7405	F3E	158.35	1	門司海上保安部 きよかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 780	F3E	158.35	10	門司海上保安部 さとざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7305	F3E	158.35	1	門司海上保安部 さとざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7354～7355	F3E	158.35	1	門司海上保安部 さとざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 781	F3E	158.35	10	門司海上保安部 はやぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7295	F3E	158.35	1	門司海上保安部 はやぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7231～7232	F3E	158.35	1	下関海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 748	F3E	158.35	10	下関海上保安署 ひこかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7416～7417	F3E	158.35	1	下関海上保安署 ひこかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 747	F3E	158.35	10	下関海上保安署 おさかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7418～7419	F3E	158.35	1	下関海上保安署 おさかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7233	F3E	158.35	1	宇部海上保安署

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 757 7059	F3E	158.35	10	宇部海上保安署 ときなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7426~7429	F3E	158.35	1	宇部海上保安署 ときなみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 783	F3E	158.35	10	宇部海上保安署 やまぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7021 7060	F3E	158.35	1	宇部海上保安署 やまぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7209 7498	F3E	158.35	1	荇田海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 784	F3E	158.35	10	荇田海上保安署 みやぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7022~7024	F3E	158.35	1	荇田海上保安署 みやぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7126~7128	F3E	158.35	1	若松海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7224	F3E	158.35	1	若松海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 750	F3E	158.35	10	若松海上保安部 わかかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7402~7403	F3E	158.35	1	若松海上保安部 わかかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 774	F3E	158.35	10	若松海上保安部 やまざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7011~7012	F3E	158.35	1	若松海上保安部 やまざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 786	F3E	158.35	10	若松海上保安部 たかぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7025 7307	F3E	158.35	1	若松海上保安部 たかぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 787	F3E	158.35	10	若松海上保安部 もくれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7027~7028	F3E	158.35	1	若松海上保安部 もくれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 713 7932	F3E	158.35	10	福岡海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7360~7361	F3E	158.35	1	福岡海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 779	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 ちくぜん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7922~7923	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 ちくぜん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7029~7031	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 ちくぜん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7458~7469	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 ちくぜん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 773 7909	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 はかた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7436~7445	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 はかた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7820	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 はかた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7827	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 はかた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7940	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 あそ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7446~7451	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 あそ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 778	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7000~7003	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7097~7098	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 みずき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 771	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 こちかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7432~7433	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 こちかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 789	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 ふよう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7260~7261	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 ふよう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7911	F3E	158.35	10	福岡海上保安部 とびうめ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7331~7332	F3E	158.35	1	福岡海上保安部 とびうめ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 714 7917	F3E	158.35	10	三池海上保安部

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7039～7040	F3E	158.35	1	三池海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7316～7317	F3E	158.35	1	三池海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 746	F3E	158.35	10	三池海上保安部 いけかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7414～7415	F3E	158.35	1	三池海上保安部 いけかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 788	F3E	158.35	10	三池海上保安部 すいれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7258～7259	F3E	158.35	1	三池海上保安部 すいれん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 715 7913	F3E	158.35	10	唐津海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7212 7217	F3E	158.35	1	唐津海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 760	F3E	158.35	10	唐津海上保安部 まつうら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7061～7062	F3E	158.35	1	唐津海上保安部 まつうら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7392～7395	F3E	158.35	1	唐津海上保安部 まつうら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 770	F3E	158.35	10	唐津海上保安部 おきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7422～7424	F3E	158.35	1	唐津海上保安部 おきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7434～7435	F3E	158.35	1	唐津海上保安部 おきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 748	F3E	158.35	10	壱岐海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7499 7815	F3E	158.35	1	壱岐海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7914	F3E	158.35	10	壱岐海上保安署 にじぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7310	F3E	158.35	1	壱岐海上保安署 にじぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7420～7421	F3E	158.35	1	壱岐海上保安署 にじぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7942	F3E	158.35	10	伊万里海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7494	F3E	158.35	1	伊万里海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 749	F3E	158.35	10	伊万里海上保安署 ゆみかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7412～7413	F3E	158.35	1	伊万里海上保安署 ゆみかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 716 7915	F3E	158.35	10	長崎海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7043 7044	F3E	158.35	1	長崎海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7919～7920	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 ごとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7032～7035	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 ごとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7054	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 ごとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7364～7367	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 ごとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7398	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 ごとう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7904	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 いなさ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7041～7042	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 いなさ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7274～7277	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 いなさ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7941	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 ほうおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7452～7455	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 ほうおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 745	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 のもかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7410～7411	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 のもかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 791	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 こうばい
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7264～7265	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 こうばい

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 743	F3E	158.35	10	長崎海上保安部 いきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7343～7344	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 いきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7816～7817	F3E	158.35	1	長崎海上保安部 いきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7045～7046	F3E	158.35	1	五島海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7085～7086	F3E	158.35	1	五島海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 729	F3E	158.35	10	五島海上保安署 ふくえ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7004～7009	F3E	158.35	1	五島海上保安署 ふくえ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 742	F3E	158.35	10	五島海上保安署 みねかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7341～7342	F3E	158.35	1	五島海上保安署 みねかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7812～7814	F3E	158.35	1	五島海上保安署 みねかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 717 7925	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7204～7205	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7214	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7309	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 709	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 あまみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7047～7049	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 あまみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7281～7286	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 あまみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7908	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7094～7095	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7303	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7306	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7315	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7325	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ちくご
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 790	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 つばき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7262～7263	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 つばき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 792	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 むらかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7266～7267	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 むらかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 793	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 あいかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7268～7269	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 あいかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7926	F3E	158.35	10	佐世保海上保安部 ことざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7425 7484	F3E	158.35	1	佐世保海上保安部 ことざくら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 730	F3E	158.35	10	平戸海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 775	F3E	158.35	10	平戸海上保安署 かいどう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7013～7014	F3E	158.35	1	平戸海上保安署 かいどう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 718 7927	F3E	158.35	10	対馬海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7308	F3E	158.35	1	対馬海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7368～7369	F3E	158.35	1	対馬海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 728	F3E	158.35	10	対馬海上保安部 むらくも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7090～7093	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 むらくも

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7485	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 むらくも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7929	F3E	158.35	10	対馬海上保安部 やえぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7075～7076	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 やえぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7376～7378	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 やえぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7930	F3E	158.35	10	対馬海上保安部 なつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7077～7078	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 なつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7373～7375	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 なつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7931	F3E	158.35	10	対馬海上保安部 たつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7079～7080	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 たつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7379～7381	F3E	158.35	1	対馬海上保安部 たつぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7907	F3E	158.35	10	比田勝海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 727	F3E	158.35	10	比田勝海上保安署 はやぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7081～7082	F3E	158.35	1	比田勝海上保安署 はやぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7291～7294	F3E	158.35	1	比田勝海上保安署 はやぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7385～7387	F3E	158.35	1	比田勝海上保安署 はやぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7934	F3E	158.35	10	比田勝海上保安署 あきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7083～7084	F3E	158.35	1	比田勝海上保安署 あきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7382～7384	F3E	158.35	1	比田勝海上保安署 あきぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 719 762	F3E	158.35	10	大分海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7935	F3E	158.35	10	大分海上保安部 やまくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7333～7338	F3E	158.35	1	大分海上保安部 やまくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7821 7824	F3E	158.35	1	大分海上保安部 やまくに
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 756	F3E	158.35	10	大分海上保安部 わかぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7063～7065	F3E	158.35	1	大分海上保安部 わかぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7406～7409	F3E	158.35	1	大分海上保安部 わかぐも
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7937	F3E	158.35	10	大分海上保安部 みのお
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7313	F3E	158.35	1	大分海上保安部 みのお
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7322	F3E	158.35	1	大分海上保安部 みのお
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7339～7340	F3E	158.35	1	大分海上保安部 みのお
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 738	F3E	158.35	10	大分海上保安部 せきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7804～7807	F3E	158.35	1	大分海上保安部 せきかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7936	F3E	158.35	10	大分海上保安部 ひめつばき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7050～7051	F3E	158.35	1	大分海上保安部 ひめつばき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7311	F3E	158.35	1	大分海上保安部 ひめつばき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 772	F3E	158.35	10	佐伯海上保安署 さちかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7430～7431	F3E	158.35	1	佐伯海上保安署 さちかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 737	F3E	158.35	10	津久見分室 とよかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7800～7803	F3E	158.35	1	津久見分室 とよかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 720 7938	F3E	158.35	10	仙崎海上保安部

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7939	F3E	158.35	10	仙崎海上保安部 かつら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7362~7363	F3E	158.35	1	仙崎海上保安部 かつら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7484~7481	F3E	158.35	1	仙崎海上保安部 かつら
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 776	F3E	158.35	10	仙崎海上保安部 さざんか
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7015~7016	F3E	158.35	1	仙崎海上保安部 さざんか
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7399~7400	F3E	158.35	1	仙崎海上保安部 さざんか
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7193~7194	F3E	158.35	1	萩海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7229~7230	F3E	158.35	1	萩海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 733	F3E	158.35	10	萩海上保安署 しづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7052~7053	F3E	158.35	1	萩海上保安署 しづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7227~7228	F3E	158.35	1	萩海上保安署 しづき
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 7482~7483	F3E	158.35	1	萩海上保安署 しづき
九州整備局	陸上携帯局	ぼうさいよんけん 101	F3E	158.35	5	油回収船がなりゅう
九州整備局	陸上携帯局	ぼうさいよんけん 102	F3E	158.35	10	油回収船海翔丸
福岡県警	陸上移動局	ふくおかけいさつ 1~5	F3E	158.35	10	福岡県警察本部
大分県警	陸上移動局	おおいたけいさつ 1~3	F3E	158.35	10	大分県警察本部
福岡県	陸上移動局	ぼうさいふくおか 51~55	F3E	158.35	5	福岡県消防防災課
福岡県	基地局	ぼうさいごんげんやま	F3E	158.35	25	権現山中継所
福岡県	基地局	ぼうさいきよみずやま	F3E	158.35	25	清水山中継所
福岡県	基地局	ぼうさいさんぐんやま	F3E	158.35	25	三郡山中継所
福岡県	基地局	ぼうさいおおさかやま	F3E	158.35	25	大坂山中継所
山口県	携帯局	ぼうさいそうごやまぐちけん 1	F3E	158.35	10	山口県庁
山口県	携帯局	ぼうさいそうごやまぐちけん 101~104	F3E	158.35	1	山口県庁
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいた 5	F3E	158.35	10	大分県庁
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 104	F3E	158.35	10	大分市消防局
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 105	F3E	158.35	10	大分市中央消防署
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 106	F3E	158.35	10	大分市東消防署
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 107	F3E	158.35	10	大分市南消防署
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 108	F3E	158.35	10	目赤大分県支部
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 109	F3E	158.35	10	大分市
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 110	F3E	158.35	10	大分海上保安部
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 123	F3E	158.35	1	九州石油(株)大分精油所
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 124	F3E	158.35	1	新日本製鐵(株)大分製鐵所
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 125	F3E	158.35	1	住友化学工業(株)大分工場
大分県	陸上移動局	ぼうさいおおいたそうご 126	F3E	158.35	1	昭和電工(株)大分事業所
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 1~12	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 201~208	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 210~219	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 301~306	F3E	158.35	10	北九州市消防局

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 308	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 310~323	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 325~326	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 401~405	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 501~503	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 505~514	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 601~614	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 701~721	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 801~810	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 812~813	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 815	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 91	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	もじ 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	こくらきた 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	こくらみなみ 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	わかまつ 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	やはたひがし 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	やはたにし 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	とばた 1	F3E	158.35	10	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 41~50	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 62、63	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 67~79	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 92~111	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 121~130	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 184~192	F3E	158.35	5	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 51~54	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 56~58	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 64~66	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 112~114	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 117~119	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 132~146	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 149~156	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 158~165	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 167~176	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 178、179	F3E	158.35	1	北九州市消防局

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 182	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	陸上移動局	ほくしょう 196~199	F3E	158.35	1	北九州市消防局
北九州市	携帯局	ほくしょうヘリ 1	F3E	158.35	1	北九州市消防局
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 102~103	F3E	158.35	1	深田サルベージ建設(株)北九州支店
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 104~105	F3E	158.35	1	西部マリンサービス(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 124~125	F3E	158.35	1	
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 107~109	F3E	158.35	1	九州電力(株)豊前発電所
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 110	F3E	158.35	1	三菱化学(株)黒崎工場
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 111	F3E	158.35	1	電源開発(株)若松総合事業所
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 112	F3E	158.35	1	日本サルヴェージ(株)門司支店
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 113	F3E	158.35	1	日新タンカー(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 128	F3E	158.35	1	日新タンカー(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 114	F3E	158.35	1	(有)仁徳海運
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 119~120	F3E	158.35	1	(有)仁徳海運
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 115	F3E	158.35	1	響灘・洞海タグボート(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 117~118	F3E	158.35	1	製鉄曳船(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 121	F3E	158.35	1	旭硝子(株)北九州工場
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 122~123	F3E	158.35	1	新東運輸(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 126~127	F3E	158.35	1	(株)近藤海事
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 129~130	F3E	158.35	1	(株)住友金属小倉
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 131~132	F3E	158.35	1	新日鐵化学(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 133	F3E	158.35	1	三菱化学(株)黒崎事業所
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 134~135	F3E	158.35	1	新日本製鐵(株)八幡製鐵所
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 136	F3E	158.35	1	三菱マテリアル(株)九州工場(黒崎地区)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 137	F3E	158.35	1	北九州エル・エヌ・ジー(株)
関門・宇部海域油災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいかんもんうべ 138~140	F3E	158.35	1	白島石油備蓄基地(株) 北九州事業所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 101~102	F3E	158.35	1	住友化学(株)大分工場
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 103	F3E	158.35	1	鶴崎海陸運輸(株)
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 104	F3E	158.35	1	昭和電工(株)大分事業所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 107~108	F3E	158.35	1	大分臨海工業(株)
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 109	F3E	158.35	1	昭和電工(株)大分事業所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 110~111	F3E	158.35	1	九州石油(株)大分製油所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 112	F3E	158.35	1	ニチレキ(株)大分営業所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 113	F3E	158.35	1	王子製紙(株)大分工場
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいだ 116	F3E	158.35	1	三井造船(株)大分事業所

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいた 117	F3E	158.35	1	大分液化ガス協同備蓄(株)大分事業所
大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	携帯局	ぼうさいきょうぎかいおおいた 117	F3E	158.35	1	大分エル・エヌ・ジー(株)

資料 2 4 海上災害防止センターの契約防災措置実施者一覧

平成 1 9 年 1 0 月 1 日現在

地区	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関門	有限会社仁徳海運	093-332-3285	
関門	深田サルベージ建設株式会社 九州支店	093-321-4164	
関門	日本サルヴェージ株式会社 門司支店	093-321-0937	093-321-0937
関門	株式会社シーゲート コーポレーション 門司支社	093-331-2168	
関門	西日本海運株式会社	093-321-0486	
関門	グリーン SHIPPING 株式会社	093-332-3187	
関門	住友金属物流株式会社 九州事業部	093-583-8830	
関門	製鉄曳船株式会社 工務部	093-882-3551	
関門	株式会社近藤海事	093-761-1111	
関門	洞海マリンシステムズ株式会社	093-771-2551	
関門	西部マリン・サービス株式会社 下関事業所	0832-22-3411	
宇部	西部マリン・サービス株式会社 防災部	0836-88-1173	
大分	鶴崎海陸運輸株式会社	097-521-1135	097-521-1135
大分	大分臨海興業株式会社	097-558-9588	097-558-9537
佐伯	吉田港運株式会社	0972-23-5555	

海上災害防止センター	TEL 045-224-4311 FAX 045-224-4312
------------	--------------------------------------

資料 2 5 排出油の防除に関する協議会等一覧表

平成 1 9 年 1 0 月 1 日現在

担当部署	協議会等名称	対象地域	設立年月日	会長	会員の概要	備考
門司保安部	関門・宇部海域排出油等防除協議会	関門港及宇部港並びにその周辺海域	昭和51年10月28日	門司部長	国の機関11、地方公共団体22、民間108、計141	
大分保安部	大分県中北部沿岸海域災害対策協議会	大分県中北部沿岸海域	昭和47年3月10日	民間会社	国の機関2、地方公共団体16、民間32、計49	
佐伯保安署	大分県南部沿岸海域排出油等防除協議会	大分県南部沿岸海域	昭和54年2月27日	佐伯署長	国の機関2、地方公共団体10、民間28、計40	

参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況

平成20年3月末現在

資 機 材 名	数量	単位	荷 姿	個 数	総重量	保 管 地	備 考
高粘度油回収装置(ブラシ式)	10	式	コンテナ	一式各2	7.5t+2.5t	稚内、紋別、塩釜、横浜、高知、福岡、三国、伏木、鹿児島、那覇	
高粘度油回収装置(真空ポンプ)	1	式	コンテナ	2	10t+8.5t	網走	
油回収装置(GT-185)	2	台	コンテナ	2	2.8t	横浜、福岡	
外洋型オイルフェンス (ユニブーム1000R)	300	m	専用カバー	1	12.0t	函館、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (補助船使用時)
集油用オイルフェンス (Vスweep)	135 (45×3)	m	コンテナ	1	4.2t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
アウトリガー	3	個	コンテナ	1	1.0t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
ローラーユニット	3	個	コンテナ	1	0.5t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
高粘度油回収ネット	119	式				各管区に5～19	単船使用タイプ
高粘度油専用捕獲材 (オイルスネアー)	330	袋	袋			各管区約30	

参考2 海上保安庁以外の主な排出油等防除資材保有状況

平成20年3月末現在

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
日本サルベージ株式会社 門司支店 (海上災害防止センター 所有分を委託管理) 北九州市門司区田ノ浦 15-73	油回収装置 トランスレック250	専用コンテナ(1式/2)	2.8 × 2.44 × 6.06 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	13.0 5.0
	大型オイルフェンス 自己膨張式 NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.44 × 6.06	1	10.9
	大型オイルバッグ200	専用コンテナ(1式/1)	1.7 × 1.7 × 2.3	2	2.5
石油連盟 第一号東京湾基地 極東石油工業㈱ 千葉精油所内 市原市千種海岸1	油回収装置 トランスレック250	専用コンテナ(1式/2)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	15.0 5.0
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1) 専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4 2.5 × 2.35 × 3.7	1 2	15.0 5.7
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	50	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 200 t 50t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		2 1	— —
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
	ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0
	移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5
	油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9
石油連盟 第2号瀬戸内基地 ㈱ジャパンエナジー 水島精油所内 倉敷市潮通2-1	油回収装置 TARANTURA GT-185-8	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.44 × 6.06 2.3 × 2.2 × 2.8	1 2	5.5 2.8
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	RO-BOOM2200	専用コンテナ(250m/1)	2.35 × 2.2 × 4.0	1	6.4
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	25	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 200 t 50t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		2 1	— —
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
	ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第3号伊勢湾基地 コスモ石油㈱ 霞地区保有地内 四日市市霞1-22	油回収装置 GT-185-8	専用コンテナ(1式/1)	2.3 × 2.2 × 2.8	2	2.8
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	2.7
	DIP402	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.59 × 4.27	1	3.5
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
	ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0
	移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5
回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5	
大型オイルバッグ 50 t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		1	—	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
石油連盟 第4号日本海基地 昭和シェル石油㈱ 新潟精油所内 新潟市平和町21	油回収装置 トランズレック250	専用コンテナ(1式/2)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	15.0 5.0
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4	1	15.0
	RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシープーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
大型オイルバッグ 200t 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	2 1	— —	
ピーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0	
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ピーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第5号北海道基地 日石三菱精製㈱ 室蘭精油所内 室蘭市陣屋町1-172	油回収装置 トランズレック250	専用コンテナ(1式/3)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 2	14.2 12.9
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4	1	15.0
	RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシープーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	1	6.0
	Hdスプリントプーム	専用コンテナ(250m/1)	2.75 × 2.44 × 4.27	1	7.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5	
100t	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 2.0 × 2.0	2	0.8	
大型オイルバッグ 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	1	—	
ピーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0	
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ピーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第6号沖縄基地 沖縄石油精製㈱ 精油所内 中頭郡与那城町平安座2	油回収装置 GT-185-6	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	2.8
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	DIP402	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.59 × 4.27	1	3.5
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	Hdスプリントプーム	専用コンテナ(250m/1)	2.75 × 2.44 × 4.27	2	7.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	1	—
ピーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0	
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ピーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	

参考 3 大型油回収船一覧

平成20年3月末現在

船名	配備港	総トン数	速力(ノット)	能力(kl/h)
清龍丸	名古屋港	3,526	10.5	1,000
海翔丸	門司港門司区	4,663	13	1,000(渦流式)
				400(投込み式)
白山	新潟港	4,184	12	1,000(渦流式)
				250(投込み式)